

CIAS Discussion Paper No.18

# ポスト社会主義諸国 政党・選挙ハンドブックⅢ

ポスト社会主義諸国の政党・選挙データベース作成研究会 編



京都大学地域研究統合情報センター

CIAS Discussion Paper No.18

**A Handbook of Political Party and Election in the Post-socialist Countries III**

---

© Center for Integrated Area Studies, Kyoto University  
46 Shimoadachi-cho, Yoshida Sakyo-ku, Kyoto-shi,  
Kyoto, 606-8501, Japan

TEL: +81-75-753-9603

FAX: +81-75-753-9602

E-mail: [ciasjimu@cias.kyoto-u.ac.jp](mailto:ciasjimu@cias.kyoto-u.ac.jp)

<http://www.cias.kyoto-u.ac.jp>

December, 2010

# 目次

はしがき	4
------	---

<b>ユーゴスラヴィア政党・選挙データ</b>	久保慶一	5
1. 選挙制度		6
2. 主要政党の概要		8
3. 歴代大統領		8
4. 歴代内閣		9
5. 資料		9

<b>セルビア政党・選挙データ</b>	久保慶一	17
1. 政治制度と選挙制度		18
2. 主要政党の概要		19
3. 歴代大統領		25
4. 歴代内閣		26
5. 資料		27

<b>モンテネグロ政党・選挙データ</b>	久保慶一	39
1. 政治制度と選挙制度		40
2. 主要政党の概要		42
3. 歴代大統領		47
4. 歴代内閣		48
5. 資料		49

<b>クロアチア政党・選挙データ</b>	石田信一	57
1. 政治制度と選挙制度		58
2. 主要政党の概要		60
3. 独立後の歴代大統領(公選制によるもの)		68
4. 1990年の選挙後の歴代内閣		69
5. 資料		70

<b>ルーマニア政党・選挙データ</b>	藤嶋亮	79
1. 政治制度と選挙制度		80
2. 主要政党の概要		81
3. 体制転換後の歴代大統領		89
4. 1989年12月以降の歴代内閣		90
5. 資料		91

<b>ロシア政党・選挙データ</b>	溝口修平	107
1. 政治制度と選挙制度		108
2. 主要政党の概要		110
3. 歴代大統領		114
4. 1992年2月以降の歴代内閣		114
5. 資料		116

## はしがき

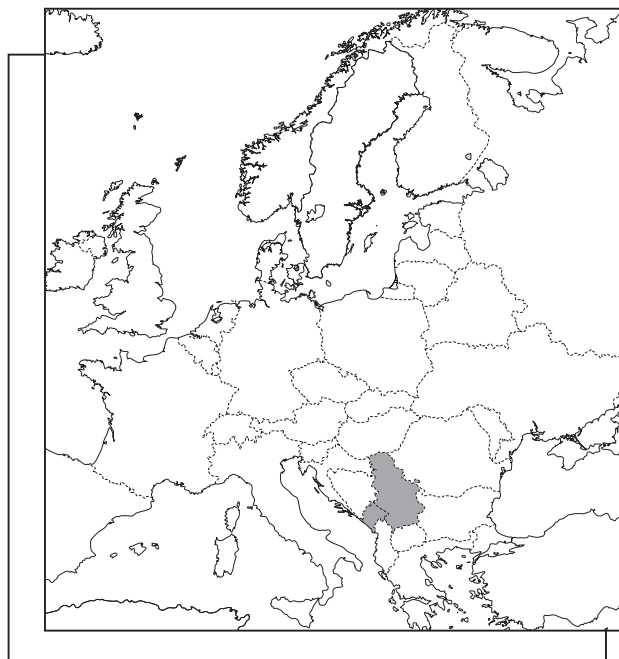
本『ポスト社会主義諸国 政党・選挙ハンドブックⅢ』は、京都大学地域研究統合情報センター（以下、地域研）の共同研究会「ポスト社会主義諸国の選挙・政党データベース」（研究期間：2007～2008年度。以下、選挙・政党DB研究会）での議論およびデータ収集の副産物である選挙・政党データの一部を、研究会の外に開かれた利用に供するために資料集として提供するものです。ポーランド、スロヴァキア、エストニアのデータが掲載された『政党・選挙ハンドブックⅠ』（2009年3月刊）ならびにチェコ、ラトヴィア、リトアニアを扱った同Ⅱ（2009年11月刊行）の続編にあたり、今回は、ユーゴスラヴィア、セルビア、モンテネグロ、クロアチア、ルーマニア、ロシアのデータを所収しました。

選挙・政党DB研究会は、選挙関連データの収集に特化した研究会でしたが、科学研究費補助金「EU加盟後の中東欧諸国の政策変容の比較分析」（2006－2008年度、研究代表者：仙石学・西南学院大学教授）、ならびに「旧ソ連・東欧地域における体制転換の総合的比較研究」（2005－2008年度、研究代表者：林忠行・北海道大学教授）との密接な研究協力により、収集されたデータの利用方法や分析方法について議論を深めてきました。したがって、本冊子も上記2科学研究費補助金によるプロジェクトの成果でもあります。

こうした複数の研究プロジェクトを架橋する形で実施してきた選挙・政党データの収集および分析の継続を目的として、2009年度は、「ポスト社会主義国における選挙データの体系的整理」（代表：仙石学。北海道大学スラブ研究センター平成21年度「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる共同研究の公募事業）において研究を実施しました（2010年度も継続。成果は、[http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/election\\_europe/index.html](http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/election_europe/index.html)にて公開）。

なお、選挙・政党DB研究会で収集した旧ユーゴスラヴィアも含め17か国を対象とする全データについては、<http://www.seinan-gu.ac.jp/~sengoku/database/>で利用できます。さらに、検索可能なデータベースとして地域研のホームページ [http://area.net.cias.kyoto-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/G0000003Post](http://area.net.cias.kyoto-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000003Post)で公開されています。

編 者



## ユーゴスラヴィア政党・選挙データ

1. 政治制度と選挙制度
  - 1-1 議会制度と議会選挙
  - 1-2 大統領選挙と大統領・議会関係
2. 主要政党の概要
3. 歴代大統領
4. 歴代内閣
5. 資料

# 1 選挙制度

## 1-1 議会制度と議会選挙

### 議会制度のあらまし

ユーゴスラヴィア連邦議会は市民院(下院)と共和国院(上院)の二院制を採用している。1992年の連邦憲法では、連邦下院議員は直接選挙により選出され、定数は有権者65,000人につき1人、ただし各共和国で最低30名の議員定数を持つと定められている。上院議員は1共和国につき20名の議員により構成される。いずれも任期は4年である。法案の採択には、上下両院の過半数の賛成が必要とされるが、国旗・国章・国歌、連邦下院議員選挙、連邦大統領選挙、連邦裁判所、連邦検察庁、連邦憲法裁判所等に関する連邦制定法の採択については上下両院で3分の2の賛成が必要である。法案について上下両院の意思に相違が見られる場合は、両院協議会を設置して法案の調整が図られるが、1か月が経過しても両院の間で合意が見られない場合、原則として下院の法案が暫定的に採択され施行される。ただし、単一市場や通貨・為替・通商政策、地域開発や地域間格差是正政策、通信、環境、海上交通等の政策領域については、上院の法案が暫定的に採択され施行される。これらの暫定施行は、最長で1年間を限度として、上下両院により正式な法案が採択されるまでの間継続される。

2000年に憲法修正が行われ、大統領や上院議員の選挙方法のほか、憲法規定の一部が修正された。この変更により、上下両院で3分の2の賛成を要する法案は国旗・国章・国歌に関するものに限られるようになった。

2003年にユーゴスラヴィア連邦共和国は2つの共和国からなる国家連合「セルビア・モンテネグロ」へと改組され、これに伴って連邦議会は消滅し、かわってセルビア・モンテネグロ議会が設置された。この議会は、セルビア共和国議会およびモンテネグロ共和国議会からの間接選挙により議員が選出されるため、直接選挙は一度も実施されていない。2006年6月にモンテネグロが独立を宣言し、その後セルビアも独立を宣言したため、国家連合は消滅し、セルビアが国家連合の継承国家となった。

### 選挙制度

連邦下院議員選挙は連邦法によって規定され、連邦上院議員選挙は各共和国の法によって規定される。選挙権・被選挙権はいずれも18歳以上である。これまでに1992年5月、1992年12月、1996年、2000年と4回の連邦下院選挙が実施され、選挙制度は毎回変更されている。

連邦上院議員は、1992年憲法の規定によれば、連邦を構成する共和国より選出され、その選出方法は共和国法により規定される。この規定に基づく1996年までの連邦上院議員選挙は間接選挙であったが、2000年の連邦憲法修正により、連邦上院議員も直接選挙により選出され、その選出方法は連邦法によって規定されることになった。そのため、2000年のみ直接選挙が実施されている。

### 1992年5月連邦下院選挙

選挙制度は小選挙区・比例代表並立制で、小選挙区の選挙形式は単純多数決制、比例区の選挙形式は拘束名簿式比例代表制(ヘア・ニーマイヤー式)。定数配分は原則として小選挙区と比例が半分ずつとなるが、共和国の選挙法で別途定められる場合はこの限りでないとして、

実際、セルビアで108議席が小選挙区と比例区に半分(54議席)ずつ割り振られたのに対し、モンテネグロでは小選挙区に6議席、比例区に24議席が割り振られた。比例区は、セルビアでは全国一区、モンテネグロでは小選挙区制が採用されていない13の自治体がまとまって1つの比例選挙区を形成した。比例区については、各選挙区内で5%の阻止条項が設定されている。

### 1992年12月連邦下院選挙

選挙制度は(部分的)拘束名簿式比例代表制(ヘア・ニーマイヤー式)。セルビアでは、獲得議席の3分の1は選挙リストの掲載順に配分される(拘束名簿式)が、残りの3分の2はリストを提示した政党の裁量で配分することができるとされた。セルビアは9の選挙区に分割され、合計108議席を選出した。モンテネグロは全国一区で30議席を選出した。各選挙区内で5%の阻止条項が設定されている。

### 1996年連邦下院選

選挙制度は拘束名簿式比例代表制(ドント式)。セルビアは29の選挙区に分割され、合計108議席を選出した。モンテネグロは7の選挙区に分割され、合計で30議席を選出した。各選挙区内で5%の阻止条項が設定されている。

### 2000年連邦議会選

連邦下院の選挙制度は拘束名簿式比例代表制(ドント式)。セルビアは26の選挙区に分割され、合計108議席を選出した。モンテネグロは全国一区で30議席を選出した。各選挙区内で5%の阻止条項が設定されている。

連邦上院の選挙制度は連邦下院と同様に拘束名簿式比例代表制(ドント式)である。上院議員選挙では、セルビア、モンテネグロとも全国一区を形成し、各共和国から20名の議員が選出された。選挙区内で5%の阻止条項が設定されている。

## 1-2 大統領選挙と大統領・議会関係

1992年の連邦憲法では、連邦大統領は連邦議会から選出され、任期は4年である。また、原則として、連邦大統領と連邦首相は同一の共和国から選出されてはならないと規定されており、大統領の再選は禁止されている。執行権の大部分は連邦首相に属するが、連邦軍の統帥権、連邦首相候補の指名権、連邦憲法裁判所判事の推薦権は連邦大統領が有する。連邦議会は、連邦大統領が憲法違反を犯した場合には連邦大統領を解任することができる。連邦議会は、両院の過半数の賛成によって、連邦大統領により指名された候補を連邦首相に選出する。連邦首相は連邦議会に対して責任を負っており、連邦議会両院における過半数の賛成により不信任決議が採択された場合には連邦首相は辞任しなければならない。連邦政府は連邦議会の解散権を有する(ただし、議会において連邦政府に対する不信任案が審議されている間、および戦争事態や非常事態の際は、議会を解散することができない)。

2000年7月に連邦議会により憲法修正案が採択され、連邦大統領は直接選出、3選禁止に変更された。また、連邦上院議員も直接選挙により選出されることになった。これに伴い、2000年10月、連邦大統領・連邦議会の同時選挙が実施された。また、2000年の憲法修正で大統領の解任に関する規定も修正され、連邦憲法裁判所が大統領の憲法違反を認定した場合に



限り、連邦議会は両院での3分の2以上の賛成によって連邦大統領を解任することができる  
とされた。

2003年に連邦が国家連合「セルビア・モンテネグロ」に改組されたことにより、連邦大統領  
職は消滅し、かわってセルビア・モンテネグロ大統領が設置された。この大統領はセルビア・  
モンテネグロ議会によって選出されたため、国家連合への改組後、大統領選挙は実施されてい  
ない。国家連合の首相職は存在せず、執行権は大統領が有し、大統領が閣議を主催する。しかし  
国家連合の省庁は外務省、国防省、対外経済関係省、対内経済関係省、人権・少数民族権利省  
の5つに限定されており、国家連合の大統領や政府は実権をほとんど持たなかった。2006年  
にモンテネグロとセルビアが独立を宣言したことにより、国家連合の大統領職は消滅した。

## 2 主要政党の概要

ユーゴスラヴィアはセルビアとモンテネグロという2つの共和国から成る連邦国家であ  
り、共和国レベルの政党システムしか存在しない。両共和国の主要政党の概要については、  
以下のセルビアとモンテネグロの項目を参照されたい。

## 3 歴代大統領

1992年6月15日～1993年6月1日

- ドブリツァ・チョシッチ Dobrica Ćosić

1993年6月1日～1993年6月25日

- ミロシュ・ラドゥロヴィッチ Miloš Radulović  
(連邦議会によるチョシッチ大統領の解任に伴う代行)

1993年6月25日～1997年6月25日

- ゴラン・リリッチ Zoran Lilić

1997年6月25日～1997年7月23日

- スルジャ・ボジョヴィッチ Srđa Božović  
(リリッチ大統領の任期満了に伴う代行)

1997年7月23日～2000年10月7日

- スロボダン・ミロシェヴィッチ Slobodan Milošević

2000年10月7日～2003年3月7日

- ヴォイスラフ・コシュトウニツァ Vojislav Koštunica

2003年3月7日～2006年6月4日

- スヴェトザル・マロヴィッチ(Svetozar Marović)  
(国家連合「セルビア・モンテネグロ」大統領、国家連合議会より選出)



## 4 歴代内閣

1992年7月14日～1993年2月9日

- ミラン・パニッチ(Milan Panić)

1993年2月9日～1998年5月19日

- ラドイェ・コンティッチ(Radoje KONTIĆ)

1998年5月19日～2000年11月4日

- モミル・ブラトヴィッチ(Momir Bulatović)

2000年11月4日～2001年7月24日

- ゾラン・ジジッチ(Zoran ŽIŽIĆ)

2001年7月24日～2003年3月7日

- ドラギシャ・ペシッチ(Dragiša Pešić)

## 5 資料

### ユーゴスラヴィア連邦議会下院選挙結果

**1992**年選挙  
(5月31日)

#### セルビア選出

登録有権者	6,848,247
投票用紙発行数	
投票数	3,833,878
投票率	55.98
有効投票数	3,385,809
有効投票率	88.31

政党	比例区			小選挙区	合計	
	得票数	得票率	議席数	議席数	議席数	議席率
SPS	1,665,485	43.44	31	43	74	68.52
SRS	1,166,933	30.44	23	7	30	27.78
DZVM	106,813	2.79	0	2	2	1.85
Narodna Stranka	167,739	4.38	0	0	0	0.00
Srpska demokratska stranka	87,589	2.28	0	0	0	0.00
Jugoslovenska izborna koalicija	63,898	1.67	0	0	0	0.00
Savez Komunistički pokret za Jugoslaviju	44,672	1.17	0	0	0	0.00
Radnička partija Jugoslavije	36,000	0.94	0	0	0	0.00
Jugoslovenska demokratska stranka	18,324	0.48	0	0	0	0.00
Socijal-demokratska partija Jugoslavije	17,078	0.45	0	0	0	0.00
Novi komunistički pokret za Jugoslaviju	10,558	0.28	0	0	0	0.00
無所属				2	2	1.85
合計	3,385,089		54	54	108	

**1992**年選挙  
(5月31日)

### モンテネグロ選出

登録有権者	433,363
投票用紙発行数	
投票数	243,898
投票率	56.28
有効投票数	231,345
有効投票率	94.85

政党	比例区			小選挙区 議席数	合計	
	得票数	得票率	議席数		議席数	議席率
DPS	140,216	70.17	19	4	23	76.67
SRS	20,519	10.27	3		3	10.00
Savez komunista - pokret za Jugoslaviju	10,784	5.40	2		2	6.67
Demokratska stranka	9,289	4.65	0		0	0.00
Demohrišćanska (pravoslavna) stranka	5,075	2.54	0		0	0.00
Ekološki pokret Crne Gore	3,932	1.97	0		0	0.00
Komunistička partija Jugoslavije	2,660	1.33	0		0	0.00
Novi komunistički pokret Jugoslavije	1,732	0.87	0		0	0.00
Demokratski savez samost. pivrednika	1,116	0.56	0		0	0.00
Demokratski pedagoški pokret za Jugoslaviju	805	0.40	0		0	0.00
無所属	3,687	1.85	0	2	2	6.67
合計	199,815		24	6	30	

**1992**年選挙  
(12月20日)

### セルビア選出

登録有権者	6,967,857
投票用紙発行数	
投票数	4,694,969
投票率	67.4
有効投票数	4,435,218
有効投票率	94.47

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
SPS	1,478,918	33.3	47	43.5
SRS	1,024,983	23.1	30	27.8
DEPOS	809,731	18.3	20	18.5
DS	280,183	6.3	5	4.6
DZVM	106,036	2.4	3	2.8
Koalicija DS i Reformske demokratske stranke Vojvodine	101,234	2.3	2	1.9
Koalicija DS, Reformska demokratska stranka i Građanska stranka	58,505	1.3	1	0.9
Srpska opozicija - Srpska demokratska stranka Srbije - Narodna stranka	200,044	4.5	0	0.0
Srpska narodna obnova	112,912	2.5	0	0.0
Socijaldemokratska partija	71,229	1.6	0	0.0
Savez Komunista - Pokret za Jugoslaviju	43,564	1.0	0	0.0
Liga socijaldemokrata Vojvodine - Narodna seljačka stranka	35,943	0.8	0	0.0
Seljačka stranka Srbije	29,915	0.7	0	0.0
Jugoslovenska demokratska stranka dobre volje	17,401	0.4	0	0.0
SDA	14,954	0.3	0	0.0
Demokratski savez Hrvata u Vojvodini	13,725	0.3	0	0.0
Nova zelena stranka	7,450	0.2	0	0.0
Demokratska reformska strana Muslimana	6,534	0.1	0	0.0
Novi komunistički pokret	5,678	0.1	0	0.0
Radnička partija Jugoslavije	4,222	0.1	0	0.0
Pokret za zaštitu ljudskih prava	3,427	0.1	0	0.0
Demokratska politička partija "Roma" Srbije i Jugoslavije	2,496	0.1	0	0.0
Jugoslovenska demokratska stranka	2,105	0.0	0	0.0
無所属 (2)	4,029	0.1	0	0.0
合計	4,435,218		108	

**1992**年選挙  
(12月20日)

### モンテネグロ選出

登録有権者	426,915
投票用紙発行数	
投票数	288,637
投票率	67.6
有効投票数	274,704
有効投票率	95.17

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
DPS	130,431	47.5	17	56.7
Socijalistička partija Crne Gore	36,390	13.2	5	16.7
NS	34,436	12.5	4	13.3
SRS	31,556	11.5	4	13.3
SDA	11,706	4.3	0	0.0
Savez komunista - pokret za Jugoslaviju	7,643	2.8	0	0.0
Narodna demokratska stranka i Sprska demokratska stranka	6,548	2.4	0	0.0
Udruženje ratnika 1991/92	4,349	1.6	0	0.0
Demokratska stranka Crne Gore	4,214	1.5	0	0.0
Demohrišćanska (pravoslavna) stranka	2,850	1.0	0	0.0
Srpska narodna obnova za Crnu Goru i Hercegovinu	2,643	1.0	0	0.0
Srpski otadžbinski pokret	983	0.4	0	0.0
Savezna stranka Jugoslovena	955	0.3	0	0.0
合計	274,704		30	

**1996**年選挙  
(11月3日)

### セルビア選出

登録有権者	7,141,484
投票用紙発行数	
投票数	4,308,502
投票率	60.33
有効投票数	4,070,907
有効投票率	94.49

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
SPS-YUL-ND	1,848,669	45.41	64	59.26
Zajedno	969,296	23.81	22	20.37
SRS	764,430	18.78	16	14.81
Savez Vojvodanskih Mađara	81,311	2.00	3	2.78
KLzS	62,111	1.53	1	0.93
KV	57,645	1.42	2	1.85
Radikalna stranka "Nikola Pašić"	47,598	1.17	0	0.00
DZVM	46,809	1.15	0	0.00
Ujedinjena radikalna stranka Srbije	26,223	0.64	0	0.00
Saborna narodna stranka	25,156	0.62	0	0.00
Nova komunistička partija Jugoslavije	21,602	0.53	0	0.00
Partija prirodnog zakona	11,856	0.29	0	0.00
Vojvodina	11,024	0.27	0	0.00
Stranka zaštite državljana Republike Srbije	7,650	0.19	0	0.00
Radnička stranka Jugoslavije	6,964	0.17	0	0.00
Pokret za zaštitu ljudskih prava	6,629	0.16	0	0.00
Demokratska politička partija zajednice Roma Srbije i Jugoslavije	5,638	0.14	0	0.00
Stranka deviznih štediša	5,161	0.13	0	0.00
Univerzalistički pokret Srbije	5,153	0.13	0	0.00

**1996**年選挙  
前ページからのつづき

政党（政党連合）	得票数	得票率	議席数	議席率
Demokratski savez Hrvata u Vojvodini	4,947	0.12	0	0.00
Stranka samostalnih demokrata Srbije	4,817	0.12	0	0.00
SSJ	4,326	0.11	0	0.00
Demokratska reformska stranka Muslimana	4,131	0.10	0	0.00
Savez komunista Jugoslavije	3,454	0.08	0	0.00
Udruženje deviznih i dinarskih štedina Jugoslavije	2,219	0.05	0	0.00
Bošnjačka lista Sandžaka	1,420	0.03	0	0.00
Jugoslovenska radnička klasa "Josip Broz Tito"	1,174	0.03	0	0.00
Napredna stranka - Naprednjaci	856	0.02	0	0.00
Univerzarni pokret - Novi Poredak Raške	557	0.01	0	0.00
無所属	32,081	0.79	0	0.00
合計	4,070,907		108	

**1996**年選挙  
(11月3日)

モンテネグロ選出

登録有権者	450,303
投票用紙発行数	
投票数	299,278
投票率	66.46
有効投票数	287,407
有効投票率	96.03

政党（政党連合）	得票数	得票率	議席数	議席率
DPS	146,221	50.88	20	66.67
NS	66,165	23.02	8	26.67
SDP	26,128	9.09	1	3.33
SDA	12,327	4.29	1	3.33
SRS	14,829	5.16	0	0.00
Srpski savez	8,287	2.88	0	0.00
Komunisti Crne Gore	5,140	1.79	0	0.00
JUL	3,380	1.18	0	0.00
SKJ - Savez komunista Crne Gore	1,292	0.45	0	0.00
Srpska demokratska stranka	1,091	0.38	0	0.00
Stranka deviznih štediša Crne Gore	1,005	0.35	0	0.00
Srpska narodna obnova	918	0.32	0	0.00
Stranka srpskog jedinstva	624	0.22	0	0.00
合計	287,407		30	

**2000**年選挙  
(9月24日)

セルビア選出

登録有権者	6,396,606
投票用紙発行数	
投票数	4,743,650
投票率	74.16
有効投票数	4,529,303
有効投票率	95.48

政党（政党連合）	得票数	得票率	議席数	議席率
DOS	2,040,646	45.05	58	53.70
SPS-JUL	1,532,841	33.84	44	40.74
SRS	401,093	8.86	5	4.63
Savez Vojvodanskih Mađara	47,768	1.05	1	0.93
SPO	238,343	5.26	0	0.00
KLzS	35,821	0.79	0	0.00

**2000**年選挙  
前ページからのつづき

政党（政党連合）	得票数	得票率	議席数	議席率
Nova komunistička partija Jugoslavije	35,742	0.79	0	0.00
DSVM	35,585	0.79	0	0.00
Radikalna stranka levice “Nikola Pašić”	35,107	0.78	0	0.00
SSJ	33,680	0.74	0	0.00
Radikalna stranka Srbije	22,829	0.50	0	0.00
Radnički pokret	12,192	0.27	0	0.00
Savez građana Subotice-Vojvođanska opozicija	7,176	0.16	0	0.00
Koalicija “Narodni pokret Sandžaka”	6,574	0.15	0	0.00
Koalicija “Narodni pokret Sandžaka” - Džemail Suljević	5,265	0.12	0	0.00
Koalicija “Vojvodina za Jugoslaviju”	4,614	0.10	0	0.00
DEMOS-Pokret za Evropu	4,182	0.09	0	0.00
Jugoslovenski komunisti	3,911	0.09	0	0.00
“Savez za mir”	3,603	0.08	0	0.00
Partija prirodnog zakona	2,977	0.07	0	0.00
Ekološka stranka Vojvodine	2,888	0.06	0	0.00
Savez komunista Jugoslavije u Srbiji Komunisti Subotice	2,278	0.05	0	0.00
“Savez za mir” (Kosovska demokratska inicijativa i Reformska partija Albanaca)	2,212	0.05	0	0.00
Radikali Srbije	2,054	0.05	0	0.00
Partija prirodnog zakona	1,260	0.03	0	0.00
無所属（2）	8,662	0.19	0	0.00
合計	4,529,303		108	

**2000**年選挙  
(9月24日)

モンテネグロ選出

登録有権者	433,858
投票用紙発行数	
投票数	126,066
投票率	29.06
有効投票数	123,080
有効投票率	97.63

政党（政党連合）	得票数	得票率	議席数	議席率
SNP	104,198	84.66	28	93.33
SNS	8,048	6.54	2	6.67
SRS	5,103	4.15	0	0.00
Savez komunista Jugoslavije -Komunisti Crne Gore	1,946	1.58	0	0.00
JUL	1,627	1.32	0	0.00
Jugoslovenski komunisti	1,194	0.97	0	0.00
Stranka deviznih štediša Crne Gore	964	0.78	0	0.00
合計	123,080		30	

## ユーゴスラヴィア議会上院選挙結果

**2000**年選挙  
(9月24日)

### セルビア選出

登録有権者	6,395,862
投票用紙発行数	
投票数	4,759,030
投票率	74.41
有効投票数	4,527,239
有効投票率	95.13

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
DOS	2,092,799	46.23	10	50.00
SPS-JUL	1,479,583	32.68	7	35.00
SRS	472,820	10.44	2	10.00
SPO	281,153	6.21	1	5.00
Partija prirodnog zakona	102,062	2.25	0	0.00
Radikalna stranka levice "Nikola Pašić"	98,822	2.18	0	0.00
合計	4,527,239		20	

**2000**年選挙  
(9月24日)

### モンテネグロ選出

登録有権者	437,876
投票用紙発行数	
投票数	126,307
投票率	28.85
有効投票数	124,196
有効投票率	98.32

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
SNP	103,425	83.28	19	95.00
SNS	9,494	7.64	1	5.00
SRS	5,586	4.50	0	0.00
JUL	1,928	1.55	0	0.00
Savez komunista Jugoslavije - Komunisti Crne Gore	1,243	1.00	0	0.00
Stranka deviznih štediša Crne Gore-Herceg Novi	1,025	0.83	0	0.00
Jugoslovenski komunisti	797	0.64	0	0.00
Strpska stranka	698	0.56	0	0.00
合計	124,196		20	

## ユーゴスラヴィア連邦大統領選挙結果

**2000**年選挙  
(9月24日)

登録有権者	6,871,595
投票用紙発行数	
投票数	4,916,920
投票率	71.55
有効投票数	4,777,099
有効投票率	97.19

候補者名	政党	得票数	得票率
Vojislav Koštunica	DOS	2,470,304	50.24
Slobodan Milošević	SPS	1,826,799	37.15
Tomislav Nikolić	SRS	289,013	5.88
Vojislav Mihailović	SPO	145,019	2.95
Miodrag Vidojković	Afirmativna stranka	45,964	0.93
合計		4,777,099	

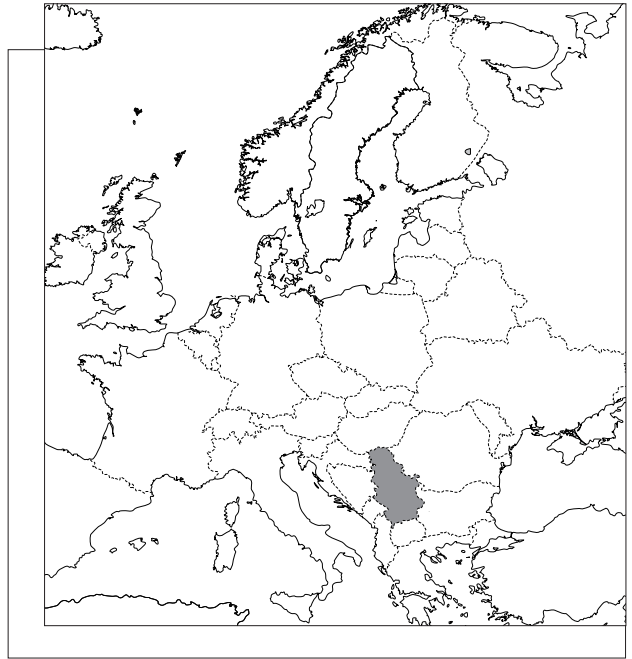
## データの出典

### 選挙結果

- 1992年5月 連邦議会下院選  
Republički zavod za statistiku, *Izbori 1992. - Konačni rezultati* - (Beograd, 1992)
- 1992年12月 連邦議会下院選  
Savezni zavod za statistiku, *Izbori za Savezne poslanike u Veća građana Savezne Skupštine SR Jugoslavije* (Beograd, 1993)
- 1996年 連邦議会下院選  
Savezni zavod za statistiku, *Izbori '96: Veće građana Savezne Skupštine* (Beograd, 1996)
- 2000年 連邦大統領選  
Savezni zavod za statistiku, *Izbori 2000: Predsednik SR Jugoslavije* (Beograd, 2000)
- 2000年 連邦議会選  
Savezni zavod za statistiku, *Izbori 2000: Veće Građana i Veće Republika* (Beograd, 2000)







## セルビア政党・選挙データ

1. 政治制度と選挙制度
  - 1-1 議会制度と議会選挙
  - 1-2 大統領選挙
2. 主要政党の概要
  - 2-1 BLES
  - 2-2 DA
  - 2-3 DEPOS
  - 2-4 DOS
  - 2-5 DS
  - 2-6 DSS
  - 2-7 DZVM
  - 2-8 G17 plus
  - 2-9 GSS
  - 2-10 JUL
  - 2-11 KLzS
  - 2-12 KV
  - 2-13 LDP
  - 2-14 MK
  - 2-15 ND
  - 2-16 NS
  - 2-17 SDA
  - 2-18 SPO
  - 2-19 SPS
  - 2-20 SRS
  - 2-21 SSJ
  - 2-22 ZES
3. 歴代大統領
4. 歴代内閣
5. 資料

# 1 政治制度と選挙制度

## 1-1 議会制度と議会選挙

### 議会制度のあらまし

セルビア議会は一院制を採用しており、1990年に制定された憲法により、議員定数は250議席と定められている。任期は4年である。議会は内閣に対して不信任決議を行うことができ、過半数の賛成によって不信任決議が採択された場合には内閣は辞職しなければならない。大統領は、内閣の提案に従って、議会を解散することができる。議会は、大統領が憲法違反を犯していると判断する場合に議員定数の3分の2の賛成をもって大統領に対する解任請求を決定することができる。議会によって大統領の解任請求が決定された場合、国民投票が実施され、投票者の過半数の賛成によって解任が決定される。国民投票によって解任請求が否決された場合は、議会は解散される。また大統領は、議会が採択した法案について、これを議会に再送付する権利を有する。ただし議会が再度その法案を採択した場合は、大統領はこれを必ず公布しなければならない。

2006年11月に新憲法が制定された。新憲法による主な変更点としては、大統領による憲法違反があった場合には議会の3分の2の賛成により大統領を罷免できるが、大統領による憲法違反の有無について憲法裁判所が決定しなければならないと規定されており、解任請求の可否を決めるための国民投票は廃止された。

### 選挙制度

#### 1990年議会選

1990年の議会選挙では小選挙区・多数決二回投票制が採用された。第一回投票で過半数を獲得した候補がない場合、上位の二人の候補により決選投票が行われ、獲得票数の多い方が当選となる。

#### 1992～1993年議会選

1992年～1993年の議会選挙では、拘束名簿式比例代表制（ドント式）が採用された。9つの選挙区が設定され、各選挙区から22～46名の議員が選出される。各選挙区内で5%の阻止条項が設定されている。

#### 1997年議会選

1997年議会選は、選挙制度は基本的に1992～1993年と同一であるが、選挙区設定が変更され、29の選挙区が設定され、各選挙区から6～14名の議員が選出された。各選挙区内で5%の阻止条項が設定されている。

#### 2000年～2003年議会選

2000年以降の議会選挙では、全国一区の拘束名簿式比例代表制（ドント式）が採用されている。以前と同様、5%の阻止条項が設定されている。

## 2004年以降の議会選

2004年以降の議会選では、選挙制度はそれ以前と同じであるが、少数民族に対する特別措置が導入された。これにより、選挙委員会が少数民族を代表すると認めた政党リストに関しては、5%条項の適用を受けない(得票が投票総数の5%に満たなくても、ドント式にもとづく議席配分に参加することができる)。

## 1-2 大統領選挙

大統領は直接選挙によって選出され、任期は5年である。憲法規定により、大統領の再選は一度のみ可能であり、三選が禁止されている。任期および三選禁止の規定は、2006年の新憲法においても維持されている。選挙制度は多数決2回投票制で、第一回投票で過半数を超える票を獲得する候補がいなかった場合、上位2候補による決選投票が行われる。2002年大統領選挙までの選挙法では、第1回、第2回投票とも、有権者総数の過半数の投票がなければ選挙は成立せず、不成立の場合には再選挙(選挙やり直し)が必要であると規定されていたが、投票率が50%に達せず選挙不成立となる事態が続いたため、選挙法が改正されて選挙成立要件が緩和された。2002年再選挙ならびに2003年選挙の大統領選挙法では、第1回投票においては投票率が50%を越えなければ選挙が不成立となるが、決選投票においては投票率にかかわらず選挙が成立し得票数の多いほうが当選者となると定められた。ところが、2003年の大統領選挙(再・再選挙)では、第1回投票の投票率が50%に達せず、またも選挙が不成立になる事態が生じたため、大統領選挙法がさらに改正され、2004年の大統領選挙法では、選挙成立のための投票率要件はすべて削除された。

## 2 主要政党の概要

### 2-1 BLES (Bošnjačka lista za Evropski Sandžak): 欧州のサンジャクのためのボシュニャク人リスト

SDAを中心として結成されたボシュニャク人政党の選挙連合。2008年選挙に際して結成され、2議席を獲得した。選挙後、民主党(DS)が主導する連立政権に入り、2010年現在、政権与党の一つとなっている。

### 2-2 DA (Demokratska alternativa): 民主的選択

SPSを追放されたNebojša Čovićが1997年に結成した政党。1997年議会選ではSSS、PPSと連合を形成した。2000年はDOSに参加。2003年議会選では議席を獲得できなかった。

### 2-3 DEPOS (Demokratski pokret Srbija): セルビア民主運動

SPO、SLS、ND、SSSにより1992年に結成された選挙連合。その後、DSから分離した

DSSもDEPOSに参加した。1992年議会選で50議席を獲得し、ミロシェヴィッチが主導する体制に反対する民主派勢力の中心となったが、SPOとDSSの間で主導権争いが生じ、1993年選挙ではDSSが単独で選挙に参加するなど、徐々に求心力を失っていった。

## 2-4 DOS (Demokratska opozicija Srbije): セルビア民主野党連合

DS、DSSを中心に2000年に結成された選挙連合。構成政党は以下の通り。DS、DSS、GSS、NS、KV、Saveza Vojvodanskih Mađara、DZVM、DA、ND、Socijaldemokratska unija、Liga socijaldemokrata Vojvodine、Socijaldemokratija、Demohrišćanska stranka Srbije、Pokret za demokratsku Srbiju、Reformisti Vojvodine、Demokratski centar、Sandžačka demokratska partija、Liga za Šumadiju、Srpski pokret otpora、Asocijacija slobodnih i nezavisnih sindikata。2000年9月のユーゴ連邦大統領選挙において、DOSのコシュトウニツァ候補が現職ミロシェヴィッチ大統領を破り、1990年の共産主義からの体制転換以来初めてとなる政権交代を実現した。その後、ミロシェヴィッチ前大統領の旧ユーゴ国際戦犯法廷への引き渡しなどをめぐってDSとDSSの間で対立が深刻化し、DSSは2001年8月にDOSからの離脱を決定した(正式なDOSからの追放は2002年7月)。このような諸政党間の内部対立の表面化から、2003年11月、DOSは解体された。

## 2-5 DS (Demokratska Stranka): 民主党

1990年にミチュノヴィッチ (Dragoljub Mićunović) やチャヴォスキ (Kosta Čavoški) といった知識人を中心に結成された政党。ボイコットした1997年議会選を除いて、すべての選挙において議席を獲得している。初代党首のミチュノヴィッチの指導下では党勢が衰退し、DEPOSへの参加の是非をめぐって意見が対立したコシュトウニツァらを中心とする勢力がDSを離脱して新党のDSSを結成するなど、党の危機が続いた。1994年にジンジッチが第二代党首に選出されると、党勢を盛り返し、1996年の地方選挙ではSPO、DSS、GSSと野党連合「ザイエドノ (Zajedno)」を結成して大都市部などを中心にミロシェヴィッチ大統領率いるSPSを破って政権を奪取した。1997年選挙はDSSとともにボイコットした。2000年のユーゴ連邦大統領選・議会選において反体制勢力の連合DOSを主導し、ミロシェヴィッチ体制の打破と政権交代を実現すると、ジンジッチはセルビア首相に就任して改革を進めた。しかし、旧体制とつながりの深い組織犯罪網を摘発しようとしたことから、2003年3月にジンジッチは暗殺された。2004年にDSの第三代党首に選出されたタディッチは、2004年の大統領選挙でセルビア大統領に選出された。2003年の議会選後に組閣されたコシュトウニツァ政権下では野党に転じたが、2007年選挙後に政権与党に復帰し、2008年選挙ではG17plusなどの政党とともにZES連合を形成して選挙に臨み、102議席を獲得して議会の最大勢力になった。

## 2-6 2-6. DSS (Demokratska stranka Srbije): セルビア民主党

DS内のDEPOS支持派がDSを分離して1992年に結成した政党。初代党首にはコシュトウ

ニツァが就任した。1992年議会選ではDEPOS連合に参加し、DEPOSが獲得した50議席中18議席を獲得した。その後SPOとの路線対立からDEPOSを離脱し、1993年議会選は単独で選挙に臨んで7議席を獲得した。1996年の地方選挙ではSPO、DS、GSSと野党連合「ザイエドノ(Zajedno)」を結成し、大都市部などで勝利を取めた。1997年議会選ではDSとともにボイコットした。2000年のユーゴ連邦大統領選挙ではDOSの統一候補としてコシュトゥニツァが出馬し、現職のミロシェヴィッチ大統領に対して勝利を取めて同大統領を退陣に追い込み、政権交代を実現した。DOS政権成立後、コシュトゥニツァ大統領は、欧米からの支援を得るために旧ユーゴ国際戦犯法廷へのミロシェヴィッチ前大統領の身柄引き渡しに積極的なDSのジンジッチ首相と対立し、セルビア政府が身柄引き渡しを行うと、DSSはDOSからの離脱を決定した。

2003年にユーゴ連邦が消滅し国家連合「セルビア・モンテネグロ」へと改組されると、ユーゴ連邦大統領職も消滅し、コシュトゥニツァ大統領は失職するが、2003年末の議会選でDSSはSRSに次ぐ第二党となり、G17 Plus、SPO、NSと連立政権を形成し、コシュトゥニツァは首相に就任した。2007年議会選ではDSに第二党の座を奪われ、DSSはNSとの連合で47議席を獲得するにとどまったが、SRSとDSの間でキャスティングボートを握ったことからコシュトゥニツァは首相の座を維持した。2008年2月にコソヴォが一方向的に独立宣言を行うと、コシュトゥニツァはコソヴォを国家承認した欧米諸国を強く批判するようになり、欧米諸国との協調路線を支持するDSとの対立が深刻化し、議会の解散と前倒し選挙の実施に至った。右傾化の傾向を強めたコシュトゥニツァ率いるDSSは2008年選挙で党勢をさらに衰退させ、獲得議席はNSとの連合で30議席にとどまり、野党に転落した。選挙後はSRSとともに右派的な立場から政権批判を続けている。

2-7

#### **DZVM (Demokratska zajednica Vojvođanskih Mađara):**

##### **ヴォイヴォディナ・ハンガリー人民同盟**

1990年に結成されたヴォイヴォディナ自治州のハンガリー人を代表する少数民族政党。1990年、1992年、1993年の選挙では単独で議席を獲得した。2000年選挙ではDOSに参加。2008年はMKに参加した。

2-8

#### **G17 plus (G17 plus):**

##### **G17プラス**

ラブス (Miroslav Labus) やディンキッチ (Mladen Dinkić) など著名な経済学者らを中心に1997年に結成された同名のNGOを母体として、2002年に結成された政党。DSを離脱したラブスが初代党首となった。結成後はDOS連合に参加していたが、2003年7月にDOSから離脱。2003年、2007年は単独で選挙に参加し、議会で第四党の地位を獲得した。2008年はDSとともにZES連合に参加した。2006年、ディンキッチが第二代党首に就任した。G17 Plusは結党以来つねに政権与党であり続け、ディンキッチは2000年からセルビア中央銀行総裁、財務大臣、経済・地域発展大臣などを歴任。ミロシェヴィッチ政権崩壊後のセルビアの経済改革路線を定めるうえで主導的役割を果たしている。



**2-9****GSS (Građanski savez Srbije):****セルビア市民同盟**

ユーゴスラビア改革勢力同盟 (SRSJ) の後継政党を中心に1992年に結成された政党。1993年はDEPOS、2000年はDOSに参加した。2007年選挙ではLDP等との連合に参加し、2007年4月、LDPと統一した。

**2-10****JUL (Jugoslovenska udružena levica / Jugoslovenska levica) :****ユーゴスラヴィア左翼**

1990年に軍関係者が中心となって創設した政党、「共産主義者同盟－ユーゴスラヴィアのための運動」(Savez komunista-pokret za Jugoslaviju) を中心に、20以上の共産主義的な小政党を合併して1994年に創設された政党。初代党首には著名な舞台演出家のリスティッチ (Ljubiša Ristić) が就任したが、党を事実上支配したのはミロシェヴィッチ大統領の夫人で社会学の教授でもあったマルコヴィッチ (Mirjana Marković) である。創設後、政権与党のセルビア社会党と緊密な関係を形成し、1996年の地方選挙においてNDとともにSPSと連合を形成、1997年の議会選でもSPS-JUL-NDの連合で選挙に臨み110議席を獲得して政権入りした。2000年のミロシェヴィッチ体制崩壊と政権交代後、JULの党勢は急激に衰退した。

**2-11****KLzS (Koalicija Lista za Sandžak):****サンジャク・リスト連合**

SDA を中心として結成されたボシュニャク人政党の選挙連合。1997年と2007年に議席を獲得した。

**2-12****KV (Koalicija “Vojvodina”) :****「ヴォイヴォディナ」連合**

ヴォイヴォディナのハンガリー人政党の選挙連合。1997年議会選で議席を獲得した。2000年の議会選ではDOSに参加した。

**2-13****LDP (Liberalno demokratska partija):****自由民主党**

2004年末にDSを離党したヨヴァノヴィッチ (Čedomir Jovanović) を中心に、2005年に結成された政党。2007年、GSS、Socijaldemokratska unija、Liga socijaldemokrata Vojvodine との選挙連合に参加し、全体で15議席を獲得した。2007年4月にGSSと合併し、2008年選挙では単独で13議席を獲得した。

**2-14****MK (Mađarska koalicija):****ハンガリー人連合**

DZVM、Saveza Vojvodanskih Mađara等を中心とするハンガリー人政党の選挙連合。2008



年の議会選挙で議席を獲得した。

**2-15** ND (**Nova Demokratija**):  
**新民主主義**

ヴァリエヴォ市の有力者ミハイロヴィッチ (Dušan Mihajlović) が中心となり、セルビア社会主義青年同盟を母体として1990年に結成された政党。当初は「新民主主義－セルビアのための運動」という名称であったが、1993年に名称変更され「新民主主義」となった。1992年はDEPOSに参加して議席を獲得した。1993年もDEPOSに参加して議席を獲得するが、選挙後にDEPOSを脱退し与党SPSとの連立政権を形成する。1997年にはSPS、JULとの統一リストで選挙に臨んだ。1998年3月にSPSとJULがSRSとの連立政権を形成すると、SRSとの協力を拒否して下野した。2000年はDOSに参加し、政権交代後、ミハイロヴィッチは副首相や内相を務めた。2003年、Liberali Srbijeに党名を変更し、同年の選挙には単独で参加したが議席を獲得できなかった。2007年にはSPOと連合を形成したが議席を獲得できなかった。2010年に消滅。

**2-16** NS (**Nova Srbija**):  
**新セルビア**

1998年にチャチャク市長(当時)のイリッチ (Velimir Ilić) が結成した政党。2000年はDOSに参加。2003年はSPO、2007年と2008年にはDSSと連合を形成した。2000年の政権交代から2008年のDS主導によるツヴェトコヴィッチ内閣発足までの間、一貫して与党であり続け、イリッチは資本投資大臣やインフラ整備担当大臣を歴任した。ツヴェトコヴィッチ内閣発足に伴い、DSSとともに下野した。

**2-17** SDA (**Stranka demokratske akcije Sandžaka**):  
**民主行動党**

1990年に結成された、サンジャク地域に居住するムスリム人(ボシュニャク人)を代表する民族政党。同年にボスニアで結成された同名の政党の姉妹政党であり、党首のウグリヤニン (Sulejman Ugljanin) はボスニアの民主行動党の幹部でもあった。1990年選挙において単独で選挙に臨み議席を獲得した。1997年、2007年はKLzS、2008年はBLESに参加して議席を獲得した。2008年、DSを中心とする連立政権に参加し、ウグリヤニンは無任所大臣を務めている。

**2-18** SPO (**Srpski pokret obnove**):  
**セルビア再生運動**

1990年にジャーナリスト・作家のドラシュコヴィッチ (Vuk Drašković) が創設した政党。創設当初は大セルビア主義、反共産主義、王政復古等を掲げ、第二次大戦中にユーゴ王国軍の残党が結成した抵抗組織「チェトニク」の指導者ミハイロヴィッチの名誉回復を主張するなど、民族主義色の強い政党であった。ミロシェヴィッチが主導する政権との対決姿勢を前面に打ち出し、1992年～のDEPOSや1996年の「ザイエドノ」といった野党連合において主導的な役

割を果たしたが、ミロシェヴィッチ政権との協力を模索した時期もあった。1992年、1993年はDEPOSに参加して議席を獲得した。1997年議会選では、DS、DSSがボイコットする中、単独で選挙に参加して45議席を獲得した。2000年選挙においては、野党勢力がDOSを形成する中で、当初は選挙ボイコットを表明していたが、その後態度を変え、DOSへの参加を拒否して単独で選挙に参加することを決定した。しかし、2000年選挙では議席を獲得することができなかった。2003年選挙ではNSと連合を形成して22議席を獲得、第一次コシュトウニツァ内閣で連立政権入りし、ドラシュコヴィッチは外務大臣に就任した。2007年選挙では単独で選挙に参加したが、議席を獲得できず、その後党勢は衰退の一途をたどっている。

## 2-19 SPS (Socijalistička partija Srbije): セルビア社会党

1990年、旧共産党(セルビア共産主義者同盟)とセルビア勤労人民社会主義同盟(Socijalistički savez radnog naroda Srbije)の統一によって結成された政党。ミロシェヴィッチが初代党首に就任し、ミロシェヴィッチ政権における政権与党として1990年代のセルビアを支配した。1996年の統一地方選において主要都市で野党連合「ザイエドノ」に敗北するなど、1990年代後半には国民の支持が低下し始め、2000年のユーゴ連邦大統領選挙におけるミロシェヴィッチの敗北とその後のセルビア議会選における惨敗によって政権与党の座から転落した。2001年にミロシェヴィッチがハーグの旧ユーゴ国際戦犯法廷に移送されると、ヨヴァノヴィッチ(Živadin Jovanović)、マリヤノヴィッチ(Mirko Marjanović)、ビェリツァ(Bogoljub Bjelica)、ダチッチ(Ivica Dačić)らが党首代行を務めた。この間、2003年の選挙後にはDSS主導の少数政府(第一次コシュトウニツァ内閣)への閣外協力を決定するなど、ミロシェヴィッチ路線からしだいに距離を置くようになった。2006年3月にミロシェヴィッチが獄中で死去すると、同年12月にダチッチが第二代党首に就任した。SPSは2007年選挙では単独で16議席、2008年選挙では2つの小政党と連合を形成して20議席を獲得し、選挙後はDS主導の連立政権に加わって政権与党に復帰、ダチッチは第一副首相・内相に就任した。ダチッチ党首の主導下でSPSは旧来の民族主義的な共産主義路線と決別し、西欧的な社民党路線への転換を図っており、2008年7月にはアテネで開催された社会主義インターナショナルの第23回大会において加盟申請を行った。2009年の党大会でも党の改革と、現代的左派・社会民主主義志向の政党としての再出発がうたわれている。

## 2-20 SRS (Srpska radikalna stranka): セルビア急進党

元サラエヴォ大学の政治学部講師のシェシェリ(Vojislav Šešelj)を中心として、ニコリッチ(Tomislav Nikolić)率いる国民急進党(Narodna radikalna stranka)とシェシェリ率いるセルビア・チェトニク運動(Srpski četnički pokret)が合併して1991年に結成された極右政党。1992年以降、すべての選挙に参加し、議席を獲得している。1990年代はミロシェヴィッチ政権と協力して戦争遂行を支え、1997年選挙後はSPS、JULとの連立政権にも参加した。2000年代に入ると、SPSが党勢を衰退させたことに伴い、反欧米・民族主義的な右派層の支持の受け皿となり、2003年、2007年議会選では議会の第一党となり、2004年、2008年の大統領選でも同党候補のニコリッチが決選投票に進み45%以上の票を獲得している。シェシェリは戦争犯罪容疑で旧

ユーゴ戦犯法廷から訴追を受け、2003年に自首した。その後はニコリッチが党首代行を務めていたが、2008年、ニコリッチがEUとのSAAの批准に賛成することを表明すると、シェシェリとの意見対立が表面化し、ニコリッチは2008年9月に急進党を離脱して翌10月に新党「セルビア進歩党 (Srpska napredna stranka, SNS)」を創設した。2010年6月の世論調査によれば、国民からの支持率はSRSが5.3%であるのに対しSNSは31%であり、SNSがSRSを大幅に上回る支持を得ており、1990年の体制転換以来セルビア政治において一大勢力を形成してきた極右勢力が党勢を減少させ、穏健右派が勢力を拡大させる可能性が高まっている。

## 2-21 SSJ (Stranka srpskog jedinstva): セルビア統一党

民兵集団の指導者、アルカン (Željko Ražnatović – Arkan) が1993年に組織した極右政党。2000年の選挙で14議席を獲得したが、その後は党勢を衰退させている。

## 2-22 ZES (Za Evropsku Srbiju): 欧州的セルビアのために

2008年議会選に際し、DS、G17plus、SPO、LSV、Sandžacka demokratska partijaが結成した選挙連合。102議席を獲得して議会最大勢力となり、選挙後、SPS主導の左派連合、MK、BLESと連立を形成してツヴェトコヴィッチ内閣を発足させた。

# 3 歴代大統領

1990年9月28日～1997年7月23日

- スロボダン・ミロシェヴィッチ Slobodan Milošević

1997年7月23日～1997年12月29日

- ドラガン・トミッチ Dragan Tomić  
ミロシェヴィッチのユーゴスラヴィア連邦大統領就任に伴う代行

1997年12月29日～2002年12月29日

- ミラン・ミルティノヴィッチ Milan Milutinović

2002年12月30日～2004年2月4日

- ナタシャ・ミチッチ Nataša Mičić  
ミルティノヴィッチの任期満了と2002年大統領選挙の不成立による代行

2004年2月4日～2004年3月3日

- ドラガン・マルシチャニン Dragan Maršićanin  
議会選後に就任した新国会議長により大統領代行の継続

2004年3月3日～3月4日

- ヴォイスラフ・ミハイロヴィッチ Vojislav Mihailović  
国会議長交代による大統領代行の継続

2004年3月4日～7月11日

- プレドラグ・マルコヴィッチ Predrag Marković  
国会議長交代による大統領代行の継続

2004年7月11日～

- ボリス・タディッチ Boris Tadić

## 4 歴代内閣

1991年1月15日～1991年12月23日

- ドラグティン・ゼレノヴィッチ(Dragutin Zelenović)内閣〈SPS〉

1991年12月23日～1993年2月10日

- ラドマン・ボジョヴィッチ(Radoman Božović)内閣〈SPS〉

1993年2月10日～1994年3月18日

- ニコラ・シャイノヴィッチ(Nikola Šainović)内閣〈SPS〉

1994年3月18日～1998年3月24日

- 第一次ミルコ・マリヤノヴィッチ(Mirko Marjanović)内閣〈SPS、NDの連立〉

1998年3月24日～2000年10月24日

- 第二次ミルコ・マリヤノヴィッチ(Mirko Marjanović)内閣〈SPS、JUL、SRSの連立〉

2000年10月24日～2001年1月25日

- ミロミル・ミニッチ(Milomir Minić)内閣〈DOS、SPS、SPOによる選挙管理内閣〉

2001年1月25日～2003年3月12日

- ゾラン・ジンジッチ(Zoran Đinđić)内閣〈DOS〉

2003年3月12日～2003年3月17日

- ネボイシャ・チョヴィッチ(Nebojša Čović)内閣〈DOS〉  
ジンジッチ首相暗殺に伴う首相代行

2003年3月18日～2004年3月3日

- ゾラン・ジヴコヴィッチ(Zoran Živković)内閣〈DOS〉

2004年3月3日～2007年5月15日

- 第一次ヴォイスラフ・コシュトゥニツァ (Vojislav Koštunica) 内閣  
〈DSS、G17 Plus、SPO、NSの少数政府、SPSが閣外協力〉

2007年5月15日～2008年7月7日

- 第二次ヴォイスラフ・コシュトゥニツァ (Vojislav Koštunica) 内閣  
〈DSS、NS、DS、G17 Plusの連立〉

2008年7月7日～

- ミルコ・ツヴェトコヴィッチ内閣 (Mirko Cvetković) 内閣  
〈ZES、SPS-PUPS-JS、MK、BLESの連立〉

## 5 資料

### セルビア議会選挙結果

**1990**年選挙

(第一回 12月9日・  
第二回 12月23日)

	第一回	第二回
登録有権者	7,036,303	4,352,573
投票用紙発行数		
投票数	5,030,440	2,103,771
投票率	71.49	48.33
有効投票数	4,792,090	2,056,584
有効投票率	95.26	97.76

政党	第一回	第二回	議席数	議席率
SPS	87	107	194	77.60
SPO		19	19	7.60
DS		7	7	2.80
DZVM	5	3	8	3.20
SDA	3		3	1.20
Stranka reformskih snaga Jugoslavije za Vojvodinu		2	2	0.80
Narodna seljačka stranka		1	1	0.40
Stranka saveza seljaka Srbije		2	2	0.80
Srpska demokratska stranka		1	1	0.40
Udruženje za jugoslovensku demokratsku inicijativu		1	1	0.40
Demokratski savez Hrvata u Vojvodini		1	1	0.40
Partija za demokratsko delovanje	1		1	0.40
Stranka jugoslovena		1	1	0.40
Demokratska reformska stranka Muslimana		1	1	0.40
Liga socijaldemokrata Vojvodine-Jugoslavije			0	0.00
Narodna stranka			0	0.00
無所属		8	8	3.20
	96	154	250	

**1992**年選挙

(12月20日)

登録有権者	6,774,995
投票用紙発行数	
投票数	4,723,711
投票率	69.72
有効投票数	4,437,906
有効投票率	93.95

# 1992 年選挙

前ページからのつづき

政党(政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
SPS	1,359,086	30.62	101	40.40
SRS	1,066,765	24.04	73	29.20
DEPOS	797,831	17.98	50	20.00
DZVM	140,825	3.17	9	3.60
DS	196,347	4.42	6	2.40
Grupa građana-Željko Ražnatović	17,352	0.39	5	2.00
Seljačka stranka Srbije	128,240	2.89	3	1.20
DS, Reformska demokratska stranka Vojvodine	71,865	1.62	2	0.80
Demokratska reformska stranka Muslimana	6,336	0.14	1	0.40
Srpska opozicija-Narodna stranka	130,139	2.93	0	0.00
Srpska narodna obnova	84,568	1.91	0	0.00
Socijaldemokratska partija	47,404	1.07	0	0.00
LSV, NSS, RS, RK	36,780	0.83	0	0.00
Savez komunista-pokret za Jugoslaviju	32,346	0.73	0	0.00
Demokratski savez Hrvata u Vojvodini	17,622	0.40	0	0.00
Pokret za zaštitu ljudskih prava	17,495	0.39	0	0.00
Građanski savez Srbije	17,276	0.39	0	0.00
Partija za demokratsko delovanje	17,172	0.39	0	0.00
Građani nišavsko-moravskog i timoč	16,172	0.36	0	0.00
Demokratska partija Albanaca	10,242	0.23	0	0.00
Srpska demokratska stranka Srbije	9,771	0.22	0	0.00
Napredna stranka	9,569	0.22	0	0.00
Radnička partija Srbije	8,578	0.19	0	0.00
Demokratska Otadžbinska koalicija	8,291	0.19	0	0.00
Novi komunistički pokret Jugoslavije	5,042	0.11	0	0.00
Socijal-demokratska partija Roma RE	3,214	0.07	0	0.00
Jugoslovenska demokratska stranka Dobre Volje	3,037	0.07	0	0.00
Nova zelena stranka	3,016	0.07	0	0.00
Pokret vlahi i rumuna Jugoslavije	2,827	0.06	0	0.00
Demokratska politička partija Roma	2,673	0.06	0	0.00
Stranka Privr. i Priv. Inicijative	2,643	0.06	0	0.00
Zelena stranka	2,494	0.06	0	0.00
Velika Roken Rol Partija	2,295	0.05	0	0.00
Koal. Savez.str. Jugosl. i Bunj. Šok	2,051	0.05	0	0.00
Srpski otadžbinski savez	1,764	0.04	0	0.00
Demokratska unija centra	1,721	0.04	0	0.00
Soc.nar.str.Jugosl. i NKPJ	1,711	0.04	0	0.00
Ekonomsko radikalna stranka	1,558	0.04	0	0.00
Blok Radikala u komunista Jugoslavije	1,516	0.03	0	0.00
Stranka za mir i prosperitet	1,363	0.03	0	0.00
Jugoslovenska demokratska stranka	1,251	0.03	0	0.00
Beogradska stranka best	1,198	0.03	0	0.00
Republikanska stranka	1,037	0.02	0	0.00
Socijalistička narodna stranka	1,008	0.02	0	0.00
Kom. Part.Jug, Pok.Jug.Perc, NKPJ, SDPJ	781	0.02	0	0.00
Liberalna stranka	632	0.01	0	0.00
Partija savez porodica Srbije-SPAS	593	0.01	0	0.00
Partija prirodnog zakona	523	0.01	0	0.00
無所属(56)	143,884	3.24	0	0.00
合計	4,437,904		250	



**1993**年選挙  
(12月19日)

登録有権者	7,010,389
投票用紙発行数	
投票数	4,300,440
投票率	61.34
有効投票数	4,125,609
有効投票率	95.93

政党(政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
SPS	1,576,287	38.21	123	49.20
DEPOS	715,564	17.35	45	18.00
SRS	595,467	14.44	39	15.60
DS	497,582	12.06	29	11.60
DSS	218,056	5.29	7	2.80
DZVM	112,456	2.73	5	2.00
Koalicija Partije za demokratsku aktivnost i Dedmokratske partije Albanaca	29,342	0.71	2	0.80
Seljačka stranka Srbije	65,623	1.59	0	0.00
Narodna stranka	48,331	1.17	0	0.00
SSJ	41,362	1.00	0	0.00
Demokratska Koalicija za Vojvodinu (RDSV, LSV, SJ)	41,097	1.00	0	0.00
Udružena levica	34,366	0.83	0	0.00
Stranka deviznih štetiša	17,452	0.42	0	0.00
Srpska demokratska stranka Srbije	15,447	0.37	0	0.00
Srpska narodna obnova	15,187	0.37	0	0.00
Novi komunistički pokret Jugoslavije	9,854	0.24	0	0.00
Narodna stranka i Narodna radikalna stranka	8,590	0.21	0	0.00
Narodna radikalna stranka	8,347	0.20	0	0.00
Komun. Partija Jugoslavije u Srbiji	8,104	0.20	0	0.00
Socijaldemokratska partija	5,959	0.14	0	0.00
Reformska demokr. stranka Sandžaka	5,530	0.13	0	0.00
Udruženje deviznih štetiša	4,877	0.12	0	0.00
Demokratski savez Hrvata u Vojvodini	3,946	0.10	0	0.00
Srpski rojalistički pokret	3,627	0.09	0	0.00
Radnička partija Srbije	3,019	0.07	0	0.00
Pokret za zaštitu ljudskih prava	2,950	0.07	0	0.00
Zemljoradnička stranka	2,790	0.07	0	0.00
Demokratska Reformska stranka Muslimana	2,697	0.07	0	0.00
Srpski rojalistički blok	2,402	0.06	0	0.00
Napredna stranka-naprednjaci	2,216	0.05	0	0.00
Ujedinjena socijaldemokratija	2,041	0.05	0	0.00
Buljevačko-šokačka stranka	1,745	0.04	0	0.00
Nova zelena stranka - "Zeleni"	1,288	0.03	0	0.00
Zelena stranka	827	0.02	0	0.00
Jug. Radi. Klasa - Josip Broz Tito	816	0.02	0	0.00
Pokret Vlaha i Rumuna Jugoslavije	725	0.02	0	0.00
Komunistička partija Jugoslavije	544	0.01	0	0.00
Saveza stranka Jugoslovena	524	0.01	0	0.00
Pokret Vojvoda Vuk 1903-1991	509	0.01	0	0.00
Stranka za mir i prosperitet	420	0.01	0	0.00
Srpska oml. Pokret nove Srb	323	0.01	0	0.00
Jugosovenska demokratska stranka	277	0.01	0	0.00
Liberalna stranka Valjevo	275	0.01	0	0.00
Demokratska unija centra	180	0.00	0	0.00
Stranka višepartijskog socijalizma	149	0.00	0	0.00
Liberalna Str. i Beogr. Str. "Best"	134	0.00	0	0.00
Republikanska stranka	104	0.00	0	0.00
無所属 (36)	15,737	0.38	0	0.00
合計	4,125,145		250	



**1997**年選挙  
(9月21日)

登録有権者	7,210,386
投票用紙発行数	
投票数	4,139,080
投票率	57.40
有効投票数	3,974,773
有効投票率	96.03

政党(政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
SPS, JUL, ND	1,418,036	35.68	110	44.00
SRS	1,162,216	29.24	82	32.80
SPO	793,988	19.98	45	18.00
KV	112,589	2.83	4	1.60
DA, SSS, PPS	60,855	1.53	1	0.40
Savez Vojvođanskih Mađara	50,960	1.28	4	1.60
KLzS	49,486	1.25	3	1.20
Demokratska Koalicija Preševo-Bujanovac	14,179	0.36	1	0.40
合計			250	

**2000**年選挙  
(12月23日)

登録有権者	6,508,856
投票用紙発行数	
投票数	3,752,170
投票率	57.64
有効投票数	3,660,849
有効投票率	97.57

政党(政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
DOS	2,404,758	64.08	176	70.40
SPS	516,326	13.76	37	14.80
SRS	322,615	8.59	23	9.20
SSJ	200,052	5.33	14	5.60
SPO	141,401	3.76	0	0.00
Demokratska socijalistička partija	31,973	0.85	0	0.00
Srpska socijal-demokratska partija	29,400	0.78	0	0.00
JUL	14,324	0.38	0	0.00
合計	3,660,849		250	

**2003**年選挙  
(12月28日)

登録有権者	6,511,450
投票用紙発行数	
投票数	3,825,471
投票率	58.75
有効投票数	3,774,802
有効投票率	98.68

政党(政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
SRS	1,056,256	27.61	82	32.80
DSS	678,031	17.72	53	21.20
DS	481,249	12.58	37	14.80
G17 Plus	438,422	11.46	34	13.60
SPO, NS	293,082	7.66	22	8.80
SPS	291,341	7.61	22	8.80
Zajedno za toleranciju	161,765	4.22	0	0.00
DA	84,463	2.20	0	0.00
Za Narodno Jedinstvo (SSJ, NSS, NS, NDS, SS)	68,537	1.79	0	0.00
Otpor	62,545	1.63	0	0.00
Samostalna Srbija (DHSS, DSO, DPRS, SS, SP)	45,211	1.18	0	0.00
Socijalistička narodna stranka	27,596	0.72	0	0.00
Liberali Srbije	22,852	0.59	0	0.00
Reformisti - SDPV	19,464	0.50	0	0.00

**2003**年選挙  
前ページからの続き

政党(政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
Odbrana i Pravda (Socijaldemokratija, NSP, SRP, SDPZ)	18,423	0.48	0	0.00
Privredna snaga Srbije i dijaspora	14,113	0.36	0	0.00
Laburistička partija Srbije	4,666	0.12	0	0.00
JUL	3,771	0.09	0	0.00
Savez Srba Vojvodine	3,015	0.07	0	0.00
合計	3,774,802		250	

**2007**年選挙  
(1月21日)

登録有権者	6,653,851
投票用紙発行数	
投票数	4,029,286
投票率	60.56
有効投票数	3,963,087
有効投票率	98.36

政党(政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
SRS	1,152,105	29.07	81	32.40
DS	915,014	23.09	64	25.60
DSS, NS	666,889	16.83	47	18.80
G17 Plus	274,874	6.94	19	7.60
SPS	227,304	5.74	16	6.40
LDP, GSS, SDU, LSV	214,028	5.40	15	6.00
Savez Vojvođanskih Mađara	52,458	1.32	3	1.20
KLzS	33,819	0.85	2	0.80
Unija Roma Srbije	16,995	0.43	1	0.40
Koalicija Albanaca Preševske doline	16,972	0.43	1	0.40
Romska partija	14,568	0.37	1	0.40
SPO	134,023	3.38	0	0.00
Partija ujedinjenih penzionera Srbije, Socijaldemokratska partija	125,232	3.16	0	0.00
Pokret snaga Srbije	70,621	1.78	0	0.00
Branko Pavlović - "Zato što mora bolje"	15,709	0.40	0	0.00
Koalicija mađarska sloga	12,907	0.33	0	0.00
Koalicija "Vojvođanske partije"	7,349	0.19	0	0.00
Demokratska zajednica Srbije	5,438	0.14	0	0.00
Socijaldemokratija	4,903	0.12	0	0.00
Reformistička stranka	1,879	0.05	0	0.00
合計	3,963,087		250	

**2008**年選挙  
(5月18日)

登録有権者	6,749,688
投票用紙発行数	
投票数	4,141,176
投票率	61.35
有効投票数	4,051,236
有効投票率	97.83

政党(政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
ZES	1,590,200	39.25	102	40.80
SRS	1,219,436	30.10	78	31.20
DSS, NS	480,987	11.87	30	12.00
SPS, PUPS, JS	313,896	7.75	20	8.00
LDP	216,902	5.35	13	5.20
MK	74,874	1.85	4	1.60
BLES	38,148	0.94	2	0.80
Koalicija Albanaca Preševske doline	16,801	0.41	1	0.40
Pokret snaga Srbije	22,250	0.55	0	0.00
Da se selo pita - Narodna seljačka stranka	12,001	0.30	0	0.00
Reformistička stranka	10,563	0.26	0	0.00
Romska partija	9,103	0.22	0	0.00

## 2008年選挙

前ページからの続き

政党(政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
Pokret moja Srbija	8,879	0.22	0	0.00
Ujedinjeni vlasi Srbije	6,956	0.17	0	0.00
Građanska inicijativa Goranaca	5,453	0.13	0	0.00
Romi za roma	5,115	0.13	0	0.00
Unija Roma Srbije	4,732	0.12	0	0.00
Vojvođanska partija	4,208	0.10	0	0.00
Narodni pokret za Srbiju	3,795	0.09	0	0.00
Crnogorska partija	2,923	0.07	0	0.00
Savez Bačkih bunjevaca	2,023	0.05	0	0.00
Patriotska stranka dijaspore	1,991	0.05	0	0.00
合計	4,051,236		250	

## セルビア大統領選挙結果

### 1990年選挙

(12月9日)

登録有権者	7,033,610
投票用紙発行数	
投票数	5,029,123
投票率	71.50
有効投票数	4,853,497
有効投票率	96.51

候補者名	政党	得票数	得票率
Milošević Slobodan	SPS	3,285,799	65.34
Drašković Vuk	SPO	824,674	16.40
Đurić dr Ivan	SRSJ u Srbiji, UJDI	277,398	5.52
Ugljanin Sulejman	SDA iz Novog Pazara	109,459	2.18
Šešelj Dr Vojslav	無所属	96,277	1.91
Perović Dr Blažo	YU Blok	57,420	1.14
Mitić Slobodan	Savez svih Srba sveta	28,978	0.58
Jovanović Dragan	Zelena stranka	22,458	0.45
Aleksov Dr Ljuben-Alen	無所属	19,123	0.38
Grujić Dr Ljubomir	無所属	17,675	0.35
Lazarević Milan	無所属	11,034	0.22
Živanović Tihomir	無所属	9,892	0.20
Koprivica Jovan	無所属	9,677	0.19
Gojković Miodrag-Mile	Stranka sam. privredn. "ZAPIS"	9,262	0.18
Krsmanović Tomislav	PZLJP u Jugoslaviji i GG	8,095	0.16
Haravan Živan	Stranka socijalne pravde	7,791	0.15
Cvetić Velimir	無所属	6,575	0.13
Mladenović Milan	無所属	6,459	0.13
Veselinović Miroslav	無所属	6,180	0.12
Barović Nikola	無所属	5,355	0.11
Vuletić Predrag	Liberalna stranka	5,019	0.10
Vojvodić Ratomir	無所属	4,414	0.09
Čuić Ljiljana	無所属	3,764	0.07
Radović Milorad	無所属	3,425	0.07
Goranci Saša	無所属	3,409	0.07
Šećeroski Nikola	無所属	3,168	0.06
Nešić Čedomir	無所属	2,553	0.05
Ranković Slobodan	無所属	2,425	0.05
Šaranac Radivoje	Republikanska stranka	1,918	0.04
Stojković Jovan	無所属	1,154	0.02
Tošić Miomir	無所属	904	0.02
Radonjić Hercen	無所属	847	0.02
合計		4,852,581	

**1992**年選挙  
(12月20日)

登録有権者	6,723,995
投票用紙発行数	
投票数	4,723,711
投票率	70.25
有効投票数	
有効投票率	

候補者名	政党	得票数	得票率
Milošević Slobodan	SPS	2,515,047	57.46
Panić Milan	無所属	1,516,693	34.65
Paroški Milan	NP, SO	147,693	3.37
Vasiljković Dragan	無所属	87,847	2.01
Vasiljević Jezdimir	無所属	61,729	1.41
Milanović Miroslav	無所属	28,010	0.64
Perović dr Blažo	DOK	20,326	0.46
その他		346,366	7.91
合計		4,377,345	

**1997**年選挙

●第1回投票(1997年9月21日)

登録有権者	7,188,544
投票用紙発行数	
投票数	4,131,487
投票率	57.47
有効投票数	3,973,029
有効投票率	96.16

候補者名	政党	得票数	得票率
Zoran Lilić	SPS, JUL, ND	1,474,924	35.70
Dr Vojslav Šešelj	SRS	1,126,940	27.28
Vuk Drašković	SPO	852,808	20.64
Miodrag Mile Isakov	Koalicija "Vojvodina"	111,166	2.69
Vuk Obradović	Socijaldemokratija	100,523	2.43
Mr Nebojša Čović	DA, SSS	93,133	2.25
Dr Sulejman Ugljanin	KLzS	68,446	1.66
Milislav Banković	Radnička stranka Jugoslavije	49,158	1.19
Milan Paroški	Narodna stranka	27,100	0.66
Miodrag Vidojković	無所属	14,105	0.34
Mr Predrag Vuletić	Liberalno-demokratska stranka	11,463	0.28
Dragan Đorđević	Stranka državljana Srbije	10,684	0.26
Dr Milan Mladenović	Koalicija "Preporod"	10,112	0.24
Đorđe Drljačić	無所属	9,430	0.23
Branko Čičić	Partija prirodnog zakona	7,097	0.17
Gvozden Sakić	無所属	3,293	0.08
Radomir Tukmanović	Napredna stranka	2,647	0.06
合計		3,973,029	

**1997**年選挙\*

●第2回投票(1997年10月5日)\*

登録有権者	7,210,557
投票用紙発行数	
投票数	3,531,063
投票率	48.97
有効投票数	3,425,213
有効投票率	97.00

候補者名	政党	得票数	得票率
Dr Vojslav Šešelj	SRS	1,733,859	49.1
Zoran Lilić	SPS, JUL, ND	1,691,354	47.9
合計		3,425,213	

## 1997年再選挙

### ●第1回投票(1997年12月7日)

登録有権者	7,226,947
投票用紙発行数	
投票数	3,812,010
投票率	52.75
有効投票数	3,733,640
有効投票率	97.94

候補者名	政党	得票数	得票率
Milan Milutinović	SPS, JUL, ND	1,665,822	43.70
Dr Vojslav Šešelj	SRS	1,227,076	32.19
Vuk Drašković	SPO	587,776	15.42
Dr Vuk Obradović	Socijaldemokratija	115,850	3.04
Dr Dragoljub Mićunović	Demokratski centar	86,583	2.27
Miodrag Vidojković	無所属	29,180	0.77
Mr Predrag M Vuletić	LDP	21,353	0.56
合計		3,733,640	

## 1997年再選挙

### ●第2回投票(1997年12月21日)

登録有権者	7,220,060
投票用紙発行数	
投票数	3,679,279
投票率	50.56
有効投票数	3,561,243
有効投票率	96.79

候補者名	政党	得票数	得票率
Milan Milutinović	SPS, JUL, ND	2,177,462	59.18
Dr Vojslav Šešelj	SRS	1,383,781	37.61
合計		3,561,243	

## 2002年選挙

### ●第1回投票(2002年9月29日)

登録有権者	6,553,042
投票用紙発行数	
投票数	3,637,062
投票率	55.50
有効投票数	3,559,964
有効投票率	97.88

候補者名	政党	得票数	得票率
Vojslav Koštunica	DSS	1,123,420	30.89
dr Miroslav Labus	無所属	995,200	27.36
dr Vojslav Šešelj	SRS	845,308	23.24
Vuk Drašković	SPO	159,959	4.40
prof. Borislav Pelević	SSJ	139,047	3.82
Velimir-bata Živojinović	SPS	119,052	3.27
Nebojša Pavković	無所属	75,662	2.08
Prof. dr. Branislav-bane Ivković	無所属	42,853	1.18
dr Vuk Obradović	Socijaldemokrata	26,050	0.72
dr Tomislav Lalošević	無所属	25,133	0.69
dr Dragan Radenović	無所属	8,280	0.23
合計		3,559,964	

## 2002年選挙\*

### ●第2回投票(2002年10月13日)\*

登録有権者	6,553,042
投票用紙発行数	
投票数	2,979,254
投票率	45.46
有効投票数	2,913,041
有効投票率	97.78

候補者名	政党	得票数	得票率
Vojslav Koštunica	DSS	1,991,947	66.86
dr Miroljub Labus	無所属	921,094	30.92
合計		2,913,041	

## 2002年再選挙\*

### ●第1回投票(2002年12月8日)\*

登録有権者	6,525,760
投票用紙発行数	
投票数	2,947,748
投票率	45.17
有効投票数	2,866,320
有効投票率	97.24

候補者名	政党	得票数	得票率
Vojslav Koštunica	DSS	1,699,098	57.66
dr Vojslav Šešelj	SRS	1,063,296	36.08
prof. Borislav Pelević	SSJ	103,926	3.53
合計		2,866,320	

## 2003年 再・再選挙\*

### ●第1回投票(2003年11月16日)\*

登録有権者	6,506,505
投票用紙発行数	
投票数	2,524,522
投票率	38.80
有効投票数	2,437,711
有効投票率	96.56

候補者名	政党	得票数	得票率
Tomislav Nikolić	SRS	1,166,896	46.23
Prof dr. Dragoljub Mićunović	DOS	893,906	35.42
Velimir Ilić	Politička organizacija za demokratske promene Nova Srbija	229,229	9.08
Marijan Rističević	Narodna seljačka stranka	72,105	2.86
Dragan S. Tomić	Socijalistička narodna stranka	54,703	2.17
Radoslav Ablijaš	Demokratska stranka Otadžbina	20,872	0.83
合計		2,437,711	

## 2004年 再・再・再選挙

### ●第1回投票(2004年6月13日)

登録有権者	6,532,263
投票用紙発行数	
投票数	3,119,087
投票率	47.76
有効投票数	3,081,040
有効投票率	98.78

**2004**年  
再・再・再選挙  
前ページからの続き

候補者名	政党	得票数	得票率
Tomislav Nikolić	SRS	954,339	30.60
Boris Tadić	DS	853,584	27.37
Bogoljub Karić	無所属	568,691	18.23
Dragan Maršićanin	DSS, G17 plus, SPO, NS	414,971	13.30
Ivica Dačić	SPS	125,952	4.04
Jelisaveta Karađorđević	無所属	62,737	2.01
Milovan Drecun	Politička partija "Preporod Srbije"	16,907	0.54
Vladan Batić	Demohrišćanska stranka Srbije	16,795	0.54
Borislav Pelević	SSJ	14,317	0.46
Prof dr. Branislav Bane Ivković	Socijalistička narodna stranka	13,980	0.45
Ljiljana Arandžević	Jedinstvena Srbija	11,796	0.38
Marijan Rističević	Narodna seljačka stranka	10,198	0.33
Dragan Đorđević	Stranka državljana Srbije	5,785	0.19
Mirko Jović	Narodna radikalna stranka, Srbija i dijaspora, i Evropski blok	5,546	0.18
Zoran Milinković	Patriotska stranka dijaspore	5,442	0.17
合計		3,081,040	

**2004**年  
再・再・再選挙

●第2回投票(2004年6月27日)

登録有権者	6,532,940
投票用紙発行数	
投票数	3,159,194
投票率	48.36
有効投票数	3,115,596
有効投票率*	98.62

候補者名	政党	得票数	得票率
Boris Tadić	DS	1,681,528	53.24
Tomislav Nikolić	SRS	1,434,068	45.40
合計		3,115,596	

**2008**年選挙

●第1回投票(2008年1月20日)

登録有権者	6,708,697
投票用紙発行数	
投票数	4,116,844
投票率	61.38
有効投票数	4,038,382
有効投票率	98.09

候補者名	政党	得票数	得票率
Tomislav Nikolić	SRS	1,646,172	39.99
Boris Tadić	DS	1,457,030	35.39
Velimir Ilić	NS	305,828	7.43
Milutin Mrkonjić	SPS	245,889	5.97
Čedomir Jovanović	LDP	219,689	5.34
Ištvan Pastor	MK	93,039	2.26
Milanka Karić	Pokret snaga Srbije	40,332	0.98
Marijan Rističević	Koalicija Narodna seljačka stranka - Ujedinjena seljačka stranka	18,500	0.45
Jugoslav Dobričanin	Reformistička stranka	11,894	0.29
合計		4,038,373	

## 2008年選挙

### ●第2回投票(2008年2月3日)

登録有権者	6,723,762
投票用紙発行数	
投票数	4,580,428
投票率	68.12
有効投票数	4,501,622
有効投票率	98.28

候補者名	政党	得票数	得票率
Boris Tadić	DS	2,304,467	50.31
Tomislav Nikolić	SRS	2,197,155	47.97
合計		4,501,622	

※投票率が50%に達しなかったため選挙不成立

## データの出典

### 選挙結果

1990年大統領選 Republički zavod za statistiku, *Izbori 1990. Konačni rezultati izbora za Predsednika Republike i Narodne Poslanike* (Beograd, 1991)

1992年大統領選 Republički zavod za statistiku, *Izbori za Predsednika Republike Srbije, 1992. - Konačni Rezultati-* (Beograd, 1993)

1997年大統領選 Republički zavod za statistiku, *Izbori za Predsednika Republike Srbije, 1997. - Konačni Rezultati-* (Beograd, 1998)

### 2002年以降の大統領選

セルビア共和国選挙管理委員会ホームページ [http://www.rik.parlament.sr.gov.yu/latinica/propisi\\_frames.htm](http://www.rik.parlament.sr.gov.yu/latinica/propisi_frames.htm)

1990年議会選 Republički zavod za statistiku, *Izbori 1990. Konačni rezultati izbora za Predsednika Republike i Narodne Poslanike* (Beograd, 1991)

1992年議会選 Republički zavod za statistiku, *Prevmeni Izbori za Narodne Poslanike Narodne Skupštine Republike Srbije, 1992. - Konačni Rezultati-* (Beograd, 1993)

1993年議会選 Republički zavod za statistiku, *Prevmeni Izbori za Narodne Poslanike Narodne Skupštine Republike Srbije, 1993. - Konačni Rezultati-* (Beograd, 1994)

1997年議会選 Vladimir Goati, *Izbori u SRJ od 1990. do 1998.: Volja Građana ili Izborna Manipulacija, II dopunjeno Izdanje* (Beograd: Centar za Slobodne Izbore i Demokratiju, 2001)

2000年議会選 Republički zavod za statistiku, *Izbori za Narodne Poslanike Narodne Skupštine Republike Srbije održani 23.12.2000 i 10.1.2001.* (Beograd, 2001)

### 2003年以降の議会選

セルビア共和国選挙管理委員会ホームページ [http://www.rik.parlament.sr.gov.yu/latinica/propisi\\_frames.htm](http://www.rik.parlament.sr.gov.yu/latinica/propisi_frames.htm)

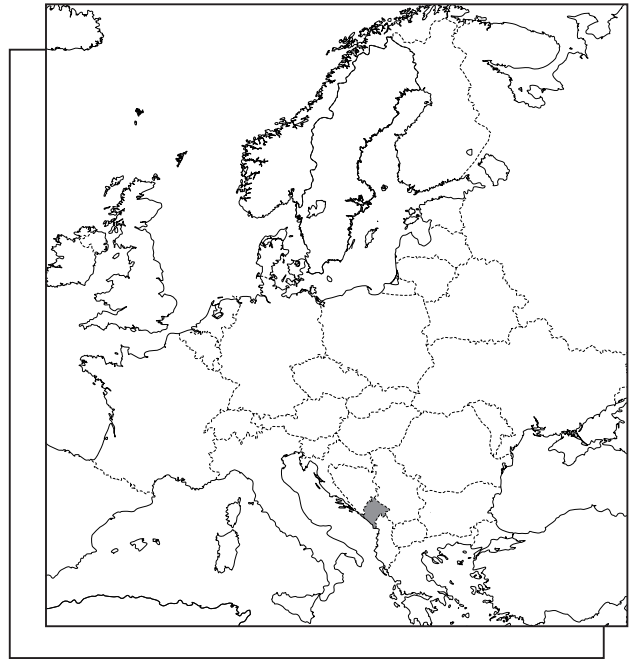
### 政党概要

Vladimir Goati, *Izbori u SRJ od 1990. do 1998.: Volja Građana ili Izborna Manipulacija, II dopunjeno Izdanje* (Beograd: Centar za Slobodne Izbore i Demokratiju, 2001)

Zoran Stojiljković, *Partijski Sistem Srbije* (Službeni Glasnik, 2006)







## モンテネグロ政党・選挙データ

### 1. 政治制度と選挙制度

- 1-1 議会制度と議会選挙
- 1-2 大統領選挙

### 2. 主要政党の概要

- |            |           |
|------------|-----------|
| 2-1 DK     | 2-16 NSI  |
| 2-2 DKAZ   | 2-17 PJCG |
| 2-3 DLZECG | 2-18 PZP  |
| 2-4 DPS    | 2-19 SDA  |
| 2-5 DS     | 2-20 SDP  |
| 2-6 DSS    | 2-21 SKCG |
| 2-7 DUA    | 2-22 SL   |
| 2-8 DŽB    | 2-23 SNP  |
| 2-9 ECG    | 2-24 SNS  |
| 2-10 KDSCG | 2-25 SRSJ |
| 2-11 KZECG | 2-26 ZZJ  |
| 2-12 LP    | 2-27 ZZP  |
| 2-13 LS    |           |
| 2-14 NS    |           |
| 2-15 NSD   |           |

### 3. 歴代大統領

### 4. 歴代内閣

### 5. 資料

# 1 政治制度と選挙制度

## 1-1 議会制度と議会選挙

### 議会制度のあらまし

1992年に制定されたモンテネグロ共和国憲法では、一院制の議会が設置され、定数は有権者6000人につき一議席と定められている。任期は4年である。首相候補は大統領が提案し、議会定数の過半数の賛成によって議会が選出する（首相候補は議会において施政方針演説と内閣構成案を提示し、議会がこれを承認しない場合は、大統領は10日以内に新しい首相候補を提案する）。大統領の首相候補提案から60日が経過しても議会が内閣を選出しない場合は、議会は解散される。内閣は議会の解散権を有するが、内閣に対する不信任決議が審議されている間は議会を解散することができない。議会は内閣に対する不信任決議を議会定数の過半数の賛成により採択することができ、採択された場合、内閣は総辞職しなければならない。大統領は直接選挙によって選出され、任期は5年、再選は一回のみ可能と定められている。議会は、憲法裁判所が大統領の憲法違反を認めた場合にのみ、議会定数の過半数の賛成によって、大統領を解職させることができる。

2007年に新憲法が制定された。新憲法では、一院制議会の定数は81議席と定められている。任期は4年である。首相候補は大統領が提案し、議会定数の過半数の賛成によって議会が選出する。大統領の最初の首相候補提案から90日が経過しても議会が内閣を選出しない場合は、議会は解散される。内閣は議会の解散権を有するが、内閣に対する不信任決議が審議されている間は議会を解散することができない。議会は内閣に対する不信任決議を議会定数の過半数の賛成により採択することができ、採択された場合、内閣は総辞職しなければならない。大統領は直接選挙によって選出され、任期は5年、再選は一回のみ可能と定められている。25名以上の議員の発議によって、議会は、大統領による憲法違反の有無について憲法裁判所の判断を仰ぐことができ、憲法裁判所が大統領の憲法違反を認めた場合、議会定数の過半数の賛成によって、大統領を解職させることができる。

### 選挙制度

モンテネグロの議会選挙制度は比例代表制（ドント式）で一貫しているが、候補者への議席の配分方法、選挙区設定、阻止条項などが頻繁に変更されている。制度の詳細は以下の通りである。

#### 1990年議会選

1990年選挙では、拘束名簿式比例代表制（ドント式）が採用され、モンテネグロは20の選挙区に分割され、各選挙区で1～29名の議席が配分された。全国レベルの獲得票総数で4%の阻止条項が設定されている。

#### 1992年議会選

1992年選挙では、全国一区による拘束名簿式比例代表制（ドント式）が採用された。4%の阻止条項が設定されている。

## 1996年議会選

1996年選挙では、モンテネグロは14の選挙区に分割され、各選挙区で1～17の議席が配分された。選挙区内の得票数で4%の阻止条項が設定されている。また、選挙方式が拘束名簿式から半拘束名簿式に変更された。すなわち、選挙において議席を獲得した政党は、獲得総議席のうち半分を選挙前に提出した候補者名簿順に候補者に割り当てるが、残りの半分の議席については、各政党が任意の候補者に議席を与えることができる。獲得議席が奇数の場合は、選挙名簿順に割り当てられる議席を1議席増やす。

## 1998年議会選～2009年議会選

1998年から2009年の選挙では、全国一区の半拘束名簿式比例代表制(ドント式)が採用されたが、少数民族(とくにアルバニア人)が多数居住する地域を特別選挙区とし、全国区とは別に議席配分を行うことが定められ、議会定数のうち5議席が特別選挙区に割り当てられた。特別選挙区の議席配分も全国区と同様に比例代表制(ドント式)である。いずれの場合も、選挙区内の得票数で3%の阻止条項が設定されている。特別選挙区において得票率が3%を超え議席配分に参加する政党については、その政党が全国区の議席配分に参加できない場合には、全国区で得た票がその党の特別区得票数に加算される。また、特別選挙区において得票率が3%に満たなかったため議席配分に参加しなかった政党については、その政党が全国区の議席配分に参加する場合、特別選挙区において獲得した票数がその党の全国区得票数に加算される。なお、特別区の定数は2002年選挙前の選挙法改正で4議席に変更されたが、その後の選挙法改正で再度5議席に戻され、2006年、2009年選挙では5議席が特別選挙区により配分されている。

## 1-2 大統領選挙

大統領選挙は、1990年の体制転換から2010年までの間に3回の制度変更が行われた。詳細は以下の通りである。

### 1990年大統領選

1990年大統領選は、1992年の新憲法制定の前であったため、社会主義体制期の制度が残る中で選挙が行われた。旧体制において大統領に相当する職(幹部会議長)の選挙は、多数決二回投票制で実施された。第1回目の投票で、全有権者数の過半数を超える票を獲得した候補がいなかった場合、上位の2候補による決戦投票が行われる。第2回投票でも上位候補が全有権者の過半数を超える票を獲得できなかった場合、再選挙となる(上位2候補のみ、単純多数決制)。また1990年選挙では、同時に、幹部会委員(4名)の選挙も実施された。この選挙は、第1回投票では、投票者は候補者リストから4名まで投票することができる。第1回目の投票で全有権者数の1/3を超える票を獲得した候補がいた場合、上位4名までが選出される。全有権者の1/3を超える票を得た候補が4名に満たない場合、落選した候補の上位のうち、残りの枠の2倍の数の候補者によって決選投票が行われる。第2回投票でも4名の定数が埋まらなかった場合、残りの枠の2倍の数の候補者により、再選挙となる(単純多数決制)。

### 1992年から2003年(再選挙)までの大統領選挙

1992年から2003年までの大統領選挙の制度は、1992年の新憲法制定後に採択された大統領

選挙法によって規定された。選挙制度は多数決二回投票制で、第一回投票で投票総数の過半数を超える票を獲得した候補がない場合、上位2名による決選投票が行われる。なお、第一回、第二回投票とも、有権者総数の過半数が投票しなければ選挙が不成立となり、その場合、再選挙が行われる。

## 2003年(再・再選挙)の大統領選挙

2003年の大統領選の再選挙において、またも投票率が50%に満たなかったために選挙が不成立になると、新たな選挙法が定められ、有権者総数の過半数の投票という選挙成立要件が削除された。選挙制度はそれまでと同様に多数決二回投票制で、第一回投票で投票総数の過半数を超える票を獲得した候補がない場合、上位2名による決選投票が行われる。なお、新たな大統領選挙法では、選挙権および被選挙権についても微修正が行われ、それまでの選挙法では、選挙権および被選挙権は「いずれも18歳以上の市民で、選挙の前、最低1年間以上共和国に居を定めるもの」が有すると定められていたが、新選挙法では、選挙権・被選挙権獲得のために必要な居住期間が選挙前の最低24ヶ月間に延長された。

## 2008年の大統領選挙

2007年の新憲法制定に伴い、同年に新たな大統領選挙法が採択され、2008年選挙はそれに基づいて実施された。選挙制度はそれまでと同様に多数決二回投票制で、第一回投票で投票総数の過半数を超える票を獲得した候補がない場合、上位2名による決選投票が行われる。選挙権は18歳以上で選挙の前最低2年以上モンテネグロに居を定める市民が有する。被選挙権は18歳以上で過去15年間のうち10年以上モンテネグロに居を定める市民が有する。

## 2 主要政党の概要

### 2-1 DK (**Demokratska koalicija**): 民主連合

モンテネグロの3つの少数民族政党、SDA、DS、Stranka ravnopravnostiが1990年に結成した政党連合。1990年議会選で12議席を獲得した。

### 2-2 DKAZ (**Demokratska koalicija “Albanci Zajedno”**): 民主リスト「アルバニア人結集」

DUA、DS、PDP (Partija demokratskog prosperiteta) が2002年に結成したアルバニア人政党の選挙連合。2002年議会選で2議席を獲得した。

### 2-3 DLZECG (**Demokratska lista za evropsku Crnu Goru**): 欧州的なモンテネグロのための民主リスト

2002年議会選においてDPSとSDPが結成した与党連合。

**2-4****DPS (Demokratska partija socijalista Crne Gore):****社会主義者民主党**

旧体制政党のSKCGが1991年に改称してできた政党。1991年以来、一貫して政権与党の座にとどまり続けている。1997年の大統領選で親ミロシェヴィッチ派と親欧米派の路線対立が生じるまでは、親セルビア的な政策立場を取っていた(ただし、ミロシェヴィッチの戦争政策から距離を取ろうとした時期もある)。1997年の大統領選で親欧米派のジュカノヴィッチが勝利したことにより、プラトヴィッチ率いる親ミロシェヴィッチ派はDPSを離脱して新政党SNPを結成した。このため、DPS政権は1991年から継続しているが、1997年に明確な路線転換が起きている(これを「政権交代なき民主化」と呼ぶ者もいる)。1998年以降はSDPと緊密な協力関係を築き、セルビアから距離を置き、親欧米路線の政策を進めた。2000年の連邦選挙実施に際して連邦憲法が修正され、連邦上院議員の直接選挙が定められると、DPS政権はこれを違憲な措置と反発、2000年の連邦選挙をボイコットした。ミロシェヴィッチ政権の崩壊後も連邦政府の正当性を認めない立場を取り、2003年に連邦が国家連合へと改組されると、国家連合からの独立を志向する立場を取った。1997年に大統領選に勝利したジュカノヴィッチは、その後大統領・首相を歴任し、個人支配の長期化が批判されるようになった。そうした批判もあり、ジュカノヴィッチは2006年議会選後に、首相には就任しないことを発表し、ジュカノヴィッチ内閣で法相を務めたシュトゥラノヴィッチが首相に就任した。しかし、シュトゥラノヴィッチは2008年1月に健康問題を理由に辞任を発表、再びジュカノヴィッチが首相に就任して、今日に至っている。

**2-5****DS (Demokratski savez u Crnoj Gori):****モンテネグロ民主連合**

1990年に創設された、アルバニア人を代表する少数民族政党。1990年議会選ではDKに参加し、1996年、1998年、2001年の議会選では単独で選挙に参加して議席を獲得した。

**2-6****DSS (Demokratska srpska stranka Crne Gore):****民主セルビア人党**

SNSの旧指導者のボヨヴィッチ(Božidar Bojović)が同党から分離して2003年に結成した政党。2006年選挙ではSNP、NSと連合を形成して選挙に参加し、合計で11議席を獲得した。

**2-7****DUA (Demokratska unija Albanaca):****アルバニア人民主連合**

1993年に創設されたアルバニア人を代表する少数民族政党。1996年以降、全ての議会選で議席を獲得している(2002年はDKAZに参加)。1998年以降、与党のDPSと良好な関係にあり、DPSが主導する連立政権にしばしばアルバニア人の閣僚を送り込んでいる。



**2-8****DŽB (Da živimo bolje):****政党連合「よりよく生きるために」**

1998年議会選においてDPS、SDP、NSが形成した与党連合。

**2-9****ECG (Evropska Crna Gora):****政党連合「欧州的なモンテネグロ」**

2009年選挙においてDPS、SDP、Hrvatska građanska inicijativa、Bošnjačka Strankaが結成した与党連合。

**2-10****KDSCG (Koalicija demokratski savez u Crnoj Gori - Partija demokratskog prosperiteta): モンテネグロ自由同盟・民主繁栄党連合**

2006年選挙においてDSとPDPが連合したアルバニア人政党による選挙連合。

**2-11****KZECEG (Koalicija za evropsku Crnu Goru):****欧州的なモンテネグロのための連合**

2006年選挙においてDPSとSDPが結成した与党連合。

**2-12****LP (Liberalna partija Crne Gore):****モンテネグロ自由党**

2004年にLSから分離して結成された政党。2006年選挙は選挙連合LIBS(Liberal i Bošnjačka stranka)に参加し、全体で3議席を獲得した。

**2-13****LS (Liberani Savez Crne Gore):****モンテネグロ自由同盟**

モンテネグロの古都ツェティニェを根拠として1990年に創設された政党。創設当初からモンテネグロの独立を求めており、モンテネグロ人の独自の民族アイデンティティの存在を主張し、セルビア正教会に対して批判的な立場を取り、1993年のモンテネグロ正教会の再建を支持した。1990年代はDPSに対して批判的な姿勢をとっていたが、2001年以降、DPSとSDPが主導する少数連立政権を閣外協力し、DPS主導の政権による反セルビア政策の継続を助けた。しかし、2002年にユーゴ連邦を国家連合「セルビア・モンテネグロ」に改組することに政府が合意すると、DPSを批判して閣外協力を中止した。2004年、一部が分離し、LPを結成した。2005年3月24日、第9回党大会において、政治参加を中止する宣言を発表した。

**2-14****NS (Narodna stranka Crne Gore):****人民党**

1990年、キリバルダ(Novak Kilibarda)を中心に創設された政党。親セルビア的な右派政



党で、ボスニアのセルビア民主党、ならびにセルビアのセルビア民主党と緊密な協力関係を築いた。ボスニア内戦終結後に穏健化し、SNPがDPSから分離するとDPSの側について連立政権入りし、1998年選挙ではDPS、SDPと連合を形成して選挙に臨んだ。その後DPSの政権運営に協力していたが、2000年にセルビアで政変が起きミロシェヴィッチ政権が崩壊すると、その後も反セルビア的な姿勢を維持するDPSやSDPに反発し、2001年初頭には連立を離脱して野党陣営に合流した。2001年以後の議会選ではSNPを中心とする野党陣営と選挙連合を形成し選挙に参加している。2009年議会選ではDSSと連合を形成して選挙に臨んだが議席を獲得できず、党勢は衰退しつつある。

**2-15** NSD (**Nova srpska demokratija**):  
**新セルビア人民主義**

2009年、マンディッチ (Andrija Mandić) 率いるSNSの主流派と Narodna socijalistička stranka らによって結成された政党。2009年選挙で8議席を獲得した。

**2-16** NSI (**Koalicija “Narodna Sloga”**):  
**政党連合「国民統一」**

1996年議会選においてNSとLSが形成した中道右派の選挙連合。この選挙でNSIは19議席を獲得し議会第二の勢力となった。

**2-17** PJCG (**Pobjeda je Crne Gore**):  
**勝利はモンテネグロに**

2001年選挙でDPSとSDPが結成した与党連合。

**2-18** PZP (**Pokret za promjene**):  
**変革のための運動**

2006年にNGO「変革のためのグループ」(Grupa za Promjene) が母体となって結成された政党。

**2-19** SDA (**Stranka demokratske akcije za Crnu Goru**):  
**モンテネグロ民主行動党**

1990年に創設されたムスリム人(ボシュニャク人)を代表する少数民族政党。ボスニアで創設された同名のムスリム人政党の姉妹政党。1990年議会選ではDKに参加、1996年議会選では単独で議席を獲得したが、1998年選挙では議席を獲得できなかった。

**2-20****SDP (Socijaldemokratska partija Crne Gore):****モンテネグロ社会民主党**

1993年、2つの左派政党、Socijaldemokratska partija reformistaとSocijalistička partija Crne Goreが統一してできた社会民主主義政党。1998年以降、DPSの連立パートナーとして政権与党を支え、2000年代に入ってもDPSとSDPの形成する与党連合は全ての選挙において勝利を収めている。モンテネグロ人だけでなく、少数民族であるムスリム人(ボシュニャク人)からも多くの支持を得ている多民族政党である。

**2-21****SKCG (Savez komunista Crne Gore):****モンテネグロ共産主義者同盟**

社会主義時代のモンテネグロを支配した旧体制政党。1990年の議会選では、他の旧ユーゴ諸国の旧体制政党がいずれも改名・改組して選挙に臨む中、改名せずに選挙に臨み、83議席を獲得した。1991年6月に、DPSに名称変更した。

**2-22****SL (Srpska Lista):****セルビア人リスト**

2006年議会選においてSNSが中心になって形成された親セルビア選挙連合。

**2-23****SNP (Socijalistička narodna partija Crne Gore):****社会主義者人民党**

1997年の大統領選においてDPS内で路線対立が生じ、親ミロシェヴィッチ・親セルビアのブラトヴィッチと、親欧米・反ミロシェヴィッチのジュカノヴィッチが対決した結果、ジュカノヴィッチが大統領選に勝利したことを受け、ブラトヴィッチ率いるDPS内の親ミロシェヴィッチ派がDPSを離脱して1998年3月に結成した政党。2000年の連邦選挙後、連邦議会においてDOSとSNPが連合を形成したことを契機に、ブラトヴィッチ派がSNPを離脱し、NSS (Narodna socijalistička stranka) を創設し、SNPはより穏健なプレドラグ・ブラトヴィッチ (Predrag Bulatović) が主導するようになった。1998年以降、ジュカノヴィッチ率いるDPSの長期政権に対する野党勢力の中心的存在であった。2006年選挙ではSLに議会第二党の座を奪われたが、2009年選挙では議会第二党の座を奪還した。

**2-24****SNS (Srpska narodna stranka):****セルビア人民党**

1997年にNSから右派・親セルビア派が分離してできた政党。2006年議会選で選挙連合SLを組織して選挙に臨み、議会第二の勢力に躍り出た。2009年に分裂し、党首のマンディッチを中心とする主流派はNarodna socijalistička stranka らとともにNSDを結成し、デディッチらが率いる反主流派はStranka srpskih narodnjakaを結成した。後者の勢力はSrpska nacionalna listaとして2009年選挙に臨んだが議席を獲得できず、他方NSDは8議席を獲得した。

**2-25** SRSJ (**Savez reformskih snaga Jugoslavije za Crnu Goru**):  
**ユーゴスラビア改革勢力同盟**

1990年の議会選において当時のマルコヴィッチ連邦首相が中心となって組織した、LSを中心とする改革派左派政党の選挙連合。

**2-26** ZZJ (**Zajedno za Jugoslaviju**):  
**ともにユーゴスラビアのために**

2001年議会選においてSNP、NS、SNSが結成した野党連合。

**2-27** ZZP (**Zajedno za promjene**):  
**ともに変革のために**

2002年議会選においてSNP、NS、SNSが結成した野党連合。

## 3 歴代大統領

1990年12月29日～1998年1月15日

- モミル・ブラトヴィッチ Momir Bulatović

1998年1月15日～2002年11月25日

- ミロ・ジュカノヴィッチ Milo Đukanović

2002年11月25日～2003年5月19日

- フィリップ・ヴヤノヴィッチ Filip Vujanović  
(ジュカノヴィッチの大統領辞任に伴う代行)

2003年5月19日～5月22日

- リファト・ラストデル Rifat Rastoder・ドラガン・クヨヴィッチ Dragan Kujović  
(ヴヤノヴィッチの国会議長・大統領代行職の辞任に伴う国会副議長2名による共同代行)

2003年5月22日～

- フィリップ・ヴヤノヴィッチ Filip Vujanović

## 4 歴代内閣

1991年2月15日～1993年3月5日

- 第一次ミロ・ジュカノヴィッチ Milo Đukanović 内閣(SKCG > DPS)

1993年3月5日～1996年11月

- 第二次ミロ・ジュカノヴィッチ Milo Đukanović 内閣(DPS、NS、LS、SDPRの「大連立」内閣)

1996年11月～1998年2月5日

- 第三次ミロ・ジュカノヴィッチ Milo Đukanović 内閣(DPS)

1998年2月5日～1998年7月16日

- 第一次フィリップ・ヴヤノヴィッチ Filip Vujanović 内閣(DPS、NS、DUA、DSによる連立)

1998年7月16日～2001年7月2日

- 第二次フィリップ・ヴヤノヴィッチ Filip Vujanović 内閣(DPS、SDP、NS、DUAによる連立)

2001年7月2日～2002年11月5日

- 第三次フィリップ・ヴヤノヴィッチ Filip Vujanović 内閣(DPS、SDPによる少数連立政府)

2002年11月5日～2003年1月8日

- ドラガン・ジュロヴィッチ Dragan Đurović 内閣(DPS、SDPを中心とする連立)

2003年1月8日～2006年11月10日

- 第四次ミロ・ジュカノヴィッチ Milo Đukanović 内閣(DPS、SDPを中心とする連立)

2006年11月10日～2008年2月29日

- ジェリコ・シュトゥラノヴィッチ Željko Šturanović 内閣(DPS、SDPを中心とする連立)

2008年2月29日～2009年6月11日

- 第五次ミロ・ジュカノヴィッチ Milo Đukanović 内閣(DPS、SDPを中心とする連立)

2009年6月11日～

- 第六次ミロ・ジュカノヴィッチ Milo Đukanović 内閣(DPS、SDPを中心とする連立)

## 5 資料

### モンテネグロ議会選挙結果

**1990**年選挙  
(12月9日)

有権者数	402,905	
投票者数	305,241	75.8%
有効票数	293,883	
無効票数	11,358	

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
SKCG	171,316	56.2	83	66.4
SRSJ	41,364	13.6	17	13.6
NS	39,107	12.8	13	10.4
DK	30,760	10.1	12	9.6
Demokratska stranka	3,442	1.2	0	0.0
Demohrišćanska (pravoslavna) stranka	1,753	0.6	0	0.0
Socijalistički savez Crne Gore	1,638	0.6	0	0.0
Jugoslovenska narodna stranka	1,224	0.4	0	0.0
Demokratski savez samostalnih privrednika	844	0.3	0	0.0
無所属	2,435	0.8	0	0.0
合計	293,883	100.0	125	100.0

**1992**年選挙  
(12月20日)

有権者数	429,047	
投票者数	295,656	68.9%
有効票数		
無効票数		

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
DPS	125,578	42.6	46	54.1
NS	37,532	12.7	14	16.5
LS	35,564	12.1	13	15.3
SRS	22,265	7.5	8	9.4
Socijaldemokratska partija reformista	12,994	4.4	4	4.7
DS	11,388	3.9	0	0.0
Srpski otadžbinski pokret	9,160	3.1	0	0.0
Socijalistička partija Crne Gore	8,412	2.9	0	0.0
Demokratska opozicija	7,828	2.7	0	0.0
Savez komunista - pokret za Jugoslaviju	6,236	2.1	0	0.0
Udruženje ratnika '91/92.	4,198	1.4	0	0.0
Srpska narodna obnova za Crnu Goru i Hercegovinu	3,894	1.3	0	0.0
Demohrišćanska (pravoslavna) stranka	2,478	0.8	0	0.0
Ekološki pokret Crne Gore	2,020	0.7	0	0.0
Komunistička partija Jugoslavije u Crnoj Gori	1,930	0.7	0	0.0
Socijaldemokratska stranka Crne Gore	1,211	0.4	0	0.0
Nova komunistička partija Jugoslavije	1,089	0.4	0	0.0
Demokratska ljevica - humanizam i tehnički progres	703	0.2	0	0.0
Crnogorski federalistički pokret	559	0.2	0	0.0
合計	295,039		85	100.0

**1996** 年選挙  
(11月3日)

有権者数	449,835	
投票者数	300,926	66.9%
有効票数	293,184	
無効票数	7,742	

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
DPS	150,237	49.9	45	63.4
NSI	74,963	24.9	19	25.6
SDA	10,167	3.4	3	3.5
DS	5,289	1.8	2	2.8
DUA	3,849	1.3	2	2.8
SDP	16,608	5.5	0	0.0
SRS	12,963	4.3	0	0.0
Srpski savez	5,848	1.9	0	0.0
Komunisti Crne Gore	5,176	1.7	0	0.0
Savez komunista Jugoslaviju u Crnoj Gori	1,728	0.6	0	0.0
JUL	1,668	0.6	0	0.0
Srpska demokratska stranka Crne Gore	1,603	0.5	0	0.0
Srpska radikalna stranka Crne Gore	861	0.3	0	0.0
Ekološki pokret Crne Gore	711	0.2	0	0.0
Stranka prirodnog zakona Crne Gore	452	0.2	0	0.0
Demohrišćanska (pravoslavna) stranka	446	0.1	0	0.0
Stranka zaštite štednih uloga, socijalne i pravne sigurnosti gradjana Crne Gore	380	0.1	0	0.0
Stranka nacionalne ravnopravnosti	214	0.1	0	0.0
Lista grupe gradjana "Sedma sila"	16	0.0	0	0.0
Savez socijalne pravde	5	0.0	0	0.0
合計	293,184	100.0	71	100.0

**1998** 年選挙  
(5月31日)

有権者数	457,633	
投票者数	347,985	76.0%
有効票数	343,350	
無効票数	4,635	

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
DŽB	170,080	49.5	42	53.8
SNP	123,957	36.1	29	37.2
LS	21,612	6.3	5	6.4
DS	5,425	1.6	1	1.2
DUA	3,529	1.0	1	1.2
SNS	6,606	1.9	0	0
SRS	4,060	1.2	0	0
SDA	1,996	0.6	0	0
Savez komunista Jugoslavije - Komunisti CG	1,885	0.5	0	0
Za srpstvo	1,299	0.4	0	0
Srpska narodna radikalna stranka	761	0.2	0	0
Stranka prirodnog zakona	611	0.2	0	0
Lista udruženih Bošnjaka-Muslimana	419	0.1	0	0
Stranka deviznih štediša	371	0.1	0	0
JUL	345	0.1	0	0
Stranka zaštite štednih uloga	199	0.1	0	0
Partija ljudskog puta	195	0.1	0	0
合計	343,350	100.0	78	100

**2001**年選挙  
(4月22日)

有権者数	447,673	
投票者数	366,152	
有効票数	363,404	
無効票数		

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
PJCG	153,946	42.4	36	45.5
ZZJ	148,513	40.9	33	42.9
LS	28,746	7.9	6	7.8
DUA	4,232	1.2	1	2.6
DS	3,570	1.0	1	1.3
Narodna socijalistička stranka	10,702	2.9	0	0.0
SRS	4,275	1.2	0	0.0
Bošnjačko-muslimanska koalicija u Crnoj Gori	4,046	1.1	0	0.0
Komunističke i radničke partije - Za Jugoslaviju i vlast rad. Klase	1,640	0.5	0	0.0
Partija demokratskog prosperiteta	1,572	0.4	0	0.0
Stranka deviznih štediša Crne Gore	639	0.2	0	0.0
Stranka prirodnog zakona	512	0.1	0	0.0
Liberalno-demokratska partija - Glas za Crnu Goru	354	0.1	0	0.0
Narodna sloga Crne Gore	268	0.1	0	0.0
Stranka zaštite štednih uloga i soc. sig. građana	199	0.1	0	0.0
JUL	190	0.1	0	0.0
合計	363,404	100.0	77	100.0

**2002**年選挙  
(10月20日)

有権者数	455,791	
投票者数	353,102	77.5%
有効票数	348,398	
無効票数	4,704	

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
DLZECG	167,166	48.0	39	52.0
ZZP	133,900	38.4	30	40.0
LS	20,365	5.8	4	5.3
DKAZ	8,498	2.4	2	2.7
Patriotska koalicija za Jugoslaviju	9,920	2.8	0	0.0
Bošnjačka demokratska koalicija	2,446	0.7	0	0.0
Socijalistička partija Jugoslavije sa komunistima	2,242	0.6	0	0.0
Bošnjačka koalicija	2,173	0.6	0	0.0
Stranka zaštite štednih uloga i socijalne sigurnosti	851	0.2	0	0.0
SRS	837	0.2	0	0.0
合計	348,398	100.0	75	100.0

**2006**年選挙  
(9月10日)

有権者数	484,430	
投票者数	345,757	71.4%
有効票数	338,835	
無効票数	6,922	

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
KZECG	164,737	48.6	41	50.6
SL	49,730	14.7	12	14.8
SNP-NS-DSS	47,683	14.1	11	13.6
PZP	44,483	13.1	11	13.6
LIBS	12,748	3.8	3	3.7



## 2006年選挙

前ページからのつづき

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
KDSCG	4,373	1.3	1	1.2
DUA	3,693	1.1	1	1.2
Albanska alternativa	2,656	0.8	1	1.2
Građanska lista	2,906	0.9	0	0.0
Savez komunista Jugoslavije - Komunisti Crne Gore	2,343	0.7	0	0.0
Forca	2,197	0.6	0	0.0
Demokratska stranka Crne Gore - Dio koji nedostaje	1,284	0.4	0	0.0
	338,835	100.0	81	100.0

## 2009年選挙

(3月29日)

有権者数	498,305	
投票者数	329,819	66.2%
有効票数	323,992	
無効票数	5,827	

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
ECG	168,290	51.9	48	59.3
SNP	54,547	16.8	16	19.8
NSD	29,883	9.2	8	9.9
PZP	19,546	6.0	5	6.2
NS-DSS	9,448	2.9	0	0.0
LP-Demokratski centar	8,759	2.7	0	0.0
Stranka penzionera i invalida Crne Gore	7,691	2.4	0	0.0
DUA	4,747	1.5	1	1.2
Srpska nacionalna lista	4,291	1.3	0	0.0
"Bošnjaci i Muslimani zajedno, jedno"	3,489	1.1	0	0.0
Forca	2,939	0.9	1	1.2
Albanska lista	2,898	0.9	1	1.2
"Albanska koalicija - Perspektiva"	2,619	0.8	1	1.2
Otađbinska srpska stranka	2,446	0.8	0	0.0
Crnogorski komunisti	1,594	0.5	0	0.0
PDP	805	0.2	0	0.0
	323,992	100.0	81	100.0

## モンテネグロ大統領選挙結果

### 1990年選挙

#### ●第1回投票(1990年12月9日)

有権者数	402,905	
投票者数	304,947	75.7%
無効票数	33,326	

候補者名	政党	票数	%	当選
幹部会議長（大統領）選挙				
Momir Bulatović	SK CG	170,092	42.2	△
Ljubiša Stanković	SRSJ	65,998	16.4	△
Novak Kilibarda	NS	33,531	8.3	
幹部会委員選挙				
Svetozar Marović	SKCG	157,786	39.2	○
Dr Milica Pejanović-Đurišić	SKCG	157,325	39.0	○
Hazbo Nuhanović	SKCG	113,316	28.1	△
Slavko Perović	SRSJ	65,121	16.2	△
Dr Slobodan Vujačić	無所属	62,052	15.4	△
Božo Kovač	SRSJ	53,183	13.2	△
Dr Paljoka Camaj	SRSJ	51,152	12.7	
Momir Vojvodić	NS	48,559	12.1	
Dr Novica Vujošević	SSCG	45,150	11.2	
Dr Sefer Mededović	DK	44,779	11.1	

**1990**年選挙  
前ページからのつづき

候補者名	政党	票数	%	当選
Zarija Lekić	SRSJ	41,961	10.4	
Dr Borislav Filipović	NS	41,609	10.3	
Dr Radoš Knežević	NS	37,990	9.4	
Slobodan Beberović	NS	29,738	7.4	

**1990**年選挙

●第2回投票(1990年12月23日)

有権者数	402,905	
投票者数	262,734	65.2%
無効票数	2,128	

候補者名	政党	票数	%	当選
幹部会議長(大統領)選挙				
Momir Bulatović	SK CG	203,616	76.1	○
Ljubiša Stanković	SRSJ	56,990	21.3	
幹部会委員選挙				
Hazbo Nuhanović	SK CG	176,434	65.9	○
Dr Slobodan Vujačić	無所属	176,330	65.9	○
Slavko Perović	SRSJ	61,976	23.2	
Božo Kovač	SRSJ	54,209	20.3	

**1992**年選挙

●第1回投票(1992年12月20日)

有権者数	429,047	
投票者数	295,808	68.9%
有効票数	287,658	
無効票数	8,150	

候補者名	政党	票数	%
Momir Bulatović	DPS	123,183	42.8
Branko Kostić	UR'91/92.	68,296	23.7
Slavko Perović	LSCG	52,736	18.3
Novak Kilibarda	N S	25,979	9.0
Dragan Hajduković	独立系	10,270	3.6
Slobodan Vujošević	DS	2,770	1.0
Veselin Kaluđerović	独立系	1,606	0.6
Predrag Popović	DhPS	1,419	0.5
Živojin Kiro Radović	SNO	1,399	0.5
合計		287,658	100.0

**1992**年選挙

●第2回投票(1993年1月10日)

有権者数	429,047	
投票者数	253,630	59.1%
有効票数	250,767	
無効票数	2,863	

候補者名	政党	票数	%
Momir Bulatović	DPS	158,722	63.3
Branko Kostić	UR'91/92.	92,045	36.7
合計		250,767	

**1997**年選挙

●第1回投票(1997年10月5日)

有権者数	460,568	
投票者数	311,118	67.6%
有効票数	306,483	
無効票数	4,635	

## 1997年選挙

前ページからのつづき

候補者名	票数	%
Momir Bulativoć	147,615	48.2
Milo Đukanović	145,348	47.4
Novica Stanić	5,109	1.7
Aćim Višnjić	4,635	1.5
Dragan Hajduković	1,988	0.6
Novica Vojnović	785	0.3
Milan Radulović	620	0.2
Slobodan Vujačić	383	0.1
合計	306,483	100.0

## 1997年選挙

### ●第2回投票(1997年10月19日)

有権者数	470,491	
投票者数	347,693	73.9%
有効票数	344,002	
無効票数	3,691	

候補者名	票数	%
Milo Đukanović	174,745	50.8
Momir Bulativoć	169,257	49.2
合計	344,002	100.0

## 2002年選挙\*

### ●第1回投票(2002年12月22日)\*

有権者数	456,981	
投票者数	209,598	45.9%
有効票数	204,504	
無効票数	5,094	

候補者名	票数	%
Filip Vujanović	175,328	85.7
Dragan Hajduković	12,319	6.0
Aleksandar Vasilijević	6,448	3.2
Milan Radulović	3,115	1.5
Obrad Marković	1,747	0.9
Jovan Pejović	1,704	0.8
Milan Šparović	1,229	0.6
Ilija Darmanović	971	0.5
Milivoje Bakić	717	0.4
Đorđije Milić	489	0.2
Mihailo Marković	437	0.2
合計	204,504	

## 2003年選挙\*

### ●再選挙・第1回投票(2003年2月9日)\*

有権者数	456,981	
投票者数	213,142	46.6%
有効票数	206,204	
無効票数	6,938	

候補者名	票数	%
Filip Vujanović	174,429	84.6
Dragan Hajduković	15,356	7.4
Aleksandar Vasilijević	7,885	3.8
Milan Radulović	3,392	1.6
Jovan Pejović	1,097	0.5
Milan Šparović	870	0.4
Obrad Marković	839	0.4
Ilija Darmanović	833	0.4
Milivoje Bakić	769	0.4

**2003**年選挙  
前ページからのつづき

候補者名	票数	%
Mihailo Marković	456	0.2
Đorđije Milić	278	0.1
合計	206,204	100.0

**2003**年選挙

●再・再選挙・第1回投票(2003年5月11日)

有権者数	458,399	
投票者数	221,752	48.3%
有効票数	217,244	
無効票数	4,508	

候補者名	票数	%
Filip Vujanović	139,574	64.3
Miodrag Živković	68,169	31.4
Dragan Hajduković	9,501	4.3
合計	217,244	100.0

**2008**年選挙

●第1回投票(2008年4月6日)

有権者数	490,412
投票者数	334,455
有効票数	329,781
無効票数	4,674

候補者名	票数	%
Filip Vujanović	171,118	51.9
Andrija Mandić	64,473	19.6
Nebojša Medojević	54,874	16.6
Srđan Milić	39,316	11.9
合計	329,781	100.0

※……投票率が50%に達しなかったため選挙不成立

△……決選投票に参加

○……当選

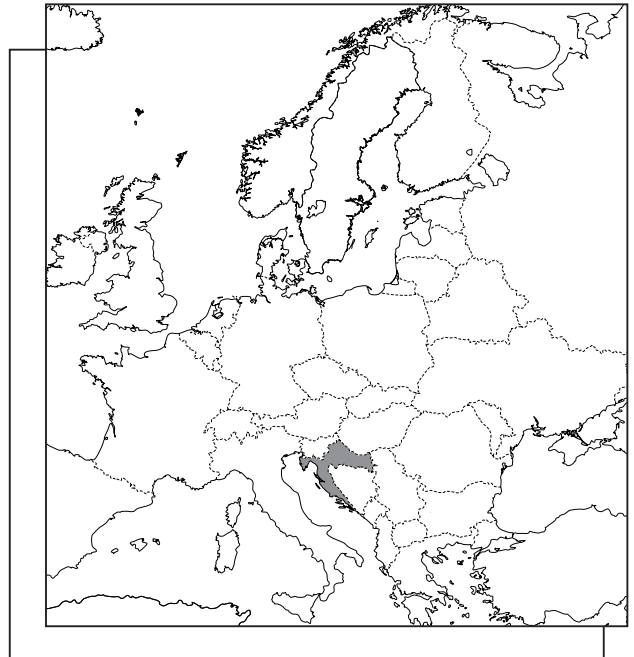
## データの出典

### 選挙結果

- 1990年議会選 Veselin Pavičević, *Izborni sistem i Izbori u Crnoj Gori 1990 - 1996* (Podgorica, 1997)
- 1992年議会選 Veselin Pavičević, *Izborni sistem i Izbori u Crnoj Gori 1990 - 1996* (Podgorica, 1997)
- 1996年議会選 Veselin Pavičević, *Izborni sistem i Izbori u Crnoj Gori 1990 - 1996* (Podgorica, 1997)
- 1998年議会選 Veselin Pavičević, Olivera Komar & Zlatko Vujović, *Izbori i Izorno zakonodavstvo u Crnoj Gori 1990-2004* (Podgorica, 2005)
- 2001年議会選 Veselin Pavičević, Olivera Komar & Zlatko Vujović, *Izbori i Izorno zakonodavstvo u Crnoj Gori 1990-2004* (Podgorica, 2005)
- 2002年議会選 Veselin Pavičević, Olivera Komar & Zlatko Vujović, *Izbori i Izorno zakonodavstvo u Crnoj Gori 1990-2004* (Podgorica, 2005)
- 2006年議会選 モンテネグロ選挙管理委員会ホームページ、<http://www.rik.cg.yu/>
- 1990年大統領選 Veselin Pavičević, *Izborni sistem i Izbori u Crnoj Gori 1990 - 1996* (Podgorica, 1997)
- 1992年大統領選 Veselin Pavičević, *Izborni sistem i Izbori u Crnoj Gori 1990 - 1996* (Podgorica, 1997)
- 1997年～2003年の大統領選 Veselin Pavičević, Olivera Komar & Zlatko Vujović, *Izbori i Izorno zakonodavstvo u Crnoj Gori 1990-2004* (Podgorica, 2005)
- 2008年大統領選 モンテネグロ選挙管理委員会ホームページ、<http://www.rik.cg.yu/>

### 政党概要

- Veselin Pavičević, Olivera Komar & Zlatko Vujović, *Izbori i Izorno zakonodavstvo u Crnoj Gori 1990-2004* (Podgorica, 2005)



## クロアチア政党・選挙データ

### 1. 政治制度と選挙制度

- 1-1 議会制度と議会選挙
- 1-2 大統領選挙と大統領・議会関係

### 2. 主要政党の概要

- 2-1 DC
- 2-2 HDSSB
- 2-3 HDZ
- 2-4 HNS
- 2-5 HSLs
- 2-6 HSP
- 2-7 HSS
- 2-8 HSU
- 2-9 IDS
- 2-10 KNS, HKDU
- 2-11 Libra
- 2-12 LS
- 2-13 RDS, PGS
- 2-14 SDS
- 2-15 SDSS
- 2-16 SNS
- 2-17 SDAH
- 2-18 SKH-SDP, SDP

### 3. 独立後の歴代大統領(公選制によるもの)

### 4. 1990年の選挙後の歴代内閣

### 5. 資料

# 1 政治制度と選挙制度

## 1-1 議会制度と議会選挙

### 議会制度のあらまし

ユーゴスラヴィア連邦議会は、新憲法が採択された1974年から事実上の連邦解体に至る1991年まで、連邦院(定数220)と共和国・自治州院(定数88)の二院制を採用していた。両院とも、8つの連邦構成体のうち6つの共和国(ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、モンテネグロ、クロアチア、マケドニア、スロヴェニア、セルビア)は人口比によらず同数の代議員、また2つの自治州はその3分の2の代議員を選出することとされた。また、各共和国・自治州は連合労働院、コミュン院、社会政治院からなる三院制の独自の議会を持っていた。クロアチア社会主義共和国議会の場合、1990年時点で連合労働院は定数160、コミュン院は定数116、社会政治院は定数80であった。

クロアチアは独立前の1990年に共和国レベルで独自の新憲法を採択し、代議院と県院の二院制に移行した。任期は4年(解散あり)。両院の定数は固定されていなかったため、その後も選挙の度に議席数が変動することとなった。選挙方法もたびたび変更され、概ね小選挙区方式から比例代表方式へと移行してきた。また、議会の正式名称も流動的で、1990年にクロアチア共和国議会、1997年にクロアチア国家議会、2000年にクロアチア議会となっている。選挙権・被選挙権は18歳以上のクロアチア国民に付与されてきた(ただし連合労働院は職域代表であり年齢制限が無かった)。なお、県院は代議院を通過した法案の拒否権(差し戻し)を除けば限定的な権限しか持たず、早くから不要論が出ていた。実際、2001年に廃止され、現在では一院制となっている。

クロアチア議会には県院を除いて少数民族枠およびディアスポラ(在外クロアチア人)枠が確保されてきた。詳しくは後述する。

### 1990年選挙

1974年憲法体制を引き継いでおり、連合労働院、コミュン院、社会政治院の三院制。すべて小選挙区方式で、第1回投票で過半数の票を獲得した候補がない場合、7%以上の票を獲得した候補による決選投票が実施された。従来から問題視されていた一票の格差(200倍とも言われる)は改善されなかった。

### 1992年、1993年、1995年、1997選挙

1992年および1995年の代議院選挙では、小選挙区・比例代表並立方式が採用された。1992年には小選挙区60議席、比例区(全国区)60議席であったが、1995年には小選挙区28議席、比例区(全国区)80議席に変更された。小選挙区では1回投票制が採用された。また、比例区(全国区)はドント式で、その阻止条項は、1992年には一律3%であったが、1995年には1政党のみの候補者名簿の場合5%、2政党による候補者名簿の場合8%、3政党以上による候補者名簿の場合11%に引き上げられた。なお、登録政党・政党連合に所属しない場合でも、所定の署名を集めれば「無所属」としての立候補が可能であった。近年、この「無所属」候補が増えている。

一方、1993年と1997年の県院選挙では、全国21都県を選挙区とし、各3名、合計63名を比例代表方式(ドント式)で選出する方法が採用された。阻止条項は1993年には一律5%であった



が、1997年には代議院と同じく1政党のみの候補者名簿の場合5%、2政党による候補者名簿の場合8%、3政党以上による候補者名簿の場合11%に引き上げられた。もっとも、3議席を争う選挙であるため、当選可能な得票率ははるかに高く、阻止条項に大きな意味はなかった。これら63名に加えて、大統領が最大5名の議員を直接指名することができるとされ、結果的に議席数は68議席となった。なお、大統領経験者が県院の終身議員となるという規定も存在したが、初代大統領のトゥジマンが在任中に死去したこともあり、該当者はなかった。

## 2000年、2003年、2007年選挙(現行の制度)

1990年代後半を通じて小選挙区方式から比例代表方式への移行を求める論調が大勢を占めるようになり、2000年の代議院選挙までに、全国を10選挙区に分け、選挙区ごとに比例代表方式(ドント式)で議席配分を行う方法に落ち着いた。各選挙区から選出される議員は同数の14名とされたため、ザグレブなど大都市を擁する都県は複数の選挙区に分割され、しかも隣接県と不自然に組み合わせられる結果となった。なお、阻止条項は一律5%となり、選挙区ごとに適用されることとなった。

## 少数民族枠

1992年以降、クロアチア議会(代議院)および地方議会には少数民族法に基づく少数民族枠が設けられた。少数民族法はセルビア人に13議席、その他の少数民族に5議席を保証するものであり、(1)イタリア人、(2)ハンガリー人、(3)チェコ人・スロヴァキア人、(4)ドイツ人・オーストリア人・ルシーン人・ウクライナ人の4つのグループには、あらかじめ特別選挙区が設けられ、各1議席が確保された。これらのグループの場合、比例区(全国区)に加え、通常の小選挙区で投票するか特別選挙区で投票するかを選択することができた。一方、セルビア人の13議席とその他の少数民族の残り1議席には特別選挙区が設けられず、通常の小選挙区ないし比例区(全国区)での当選が見込まれた。

1992年選挙では、上記4つの特別選挙区を除けば、当選者120名はすべてクロアチア人であり、セルビア人もその他の少数民族も含まれていなかった。セルビア人の不在に関して言えば、彼らを代表する政党SDSがクロアチア独立に反対して独自の「クライナ・セルビア人共和国」樹立を宣言し、選挙をボイコットしたことが大きな理由である。結局、憲法裁判所の判断により、比例区(全国区)の候補者名簿から落選したセルビア人候補者13名、ユダヤ人候補者1名を抽出し、追加的に当選させることとなった。

1995年選挙では、少数民族法が保証する最低限の議席数に関する条項が停止され、少数民族枠が7議席に削減された。選挙の直前に「内戦」が終結し、その過程でセルビア人の多くが国外退去を余儀なくされ、激減したことが背景にある。前回と同じ4つのグループに特別選挙区が設けられ、各1議席が確保された。また、新たにセルビア人にも特別選挙区が設けられ、得票数が多い上位3名が当選する中選挙区方式が採用された。ここでは、有権者は最大3票を行使できることとなった。2000年選挙でも、上記の条項は停止されたままであった。第4グループにユダヤ人が追加されたことを除いて、前回と同じ5つの特別選挙区が設けられたが、セルビア人も単一の小選挙区のみとなり、少数民族枠が5議席となった。

2003年選挙では、少数民族法が保証する最低限の議席数に関する条項が復活し、少数民族枠に大きな変更があった。2001年国勢調査結果を反映したことで、これまでどのグループにも含まれていなかった少数民族(旧ユーゴスラヴィア諸民族を除く)を第4グループにまとめたこと、新たにセルビア人以外の旧ユーゴスラヴィア諸民族を第5グループにまとめたことが

主たる特徴である。これにより、第4グループはオーストリア人・ブルガリア人・ドイツ人・ポーランド人・ロマン人・ルーマニア人・ルシーン人・ロシア人・トルコ人・ウクライナ人、ヴラフ人・ユダヤ人、第5グループはアルバニア人・ボスニア人・モンテネグロ人・マケドニア人・スロヴェニア人で構成されることとなった。また、セルビア人に対しては、前々回と同じ中選挙区方式(3議席、最大3票制)が復活した。少数民族枠をあわせて8議席となった。

## ディアスポラ枠

1995年のクロアチア共和国議会(代議院)選挙から、ディアスポラ(在外クロアチア人)枠が設けられた。当初は単一選挙区・比例代表方式(全国区と同じくドント式で、阻止条項も同じ)で12名を選出することとなっていたが、2000年の代議院選挙からディアスポラ枠を第11選挙区とし、その有効投票数を通常選挙区の有効投票数と対比して、最大14議席まで配分する方式に変更された。結果的に、2000年選挙では6議席、2003年選挙では4議席、2007年選挙では5議席の配分となった。なお、2010年の憲法一部改正によりディアスポラ枠は3議席に固定され、次回選挙から適用される予定である。

## 1-2 大統領選挙と大統領・議会関係

1990年までクロアチア大統領はクロアチア議会が選出することとなっていたが、同年12月の新憲法によって直接選挙に改められ、今日に至っている。18歳以上のクロアチア国民に選挙権・被選挙権が与えられる。選挙は2回投票制で、第1回投票で過半数の票を獲得した候補がいなかった場合、上位2名による決選投票が実施される。任期は5年で、三選は禁止されている。

大統領の権限は2000年の憲法一部改正により大幅に縮小され、それまで保持していた(1)首相および閣僚の任免権、(2)閣議の召集・主催権などが廃止された。議会との関係では、大統領は議会多数派によって選出された首相候補者に組閣を委任するとともに(憲法97条)、その内閣が議会の信任を受けた場合、クロアチア議会議長との共同署名をもって首相の任命を行う(同109条)。大統領は政府の提案に基づき議会を解散することができるが(同103条)、議会が採択した法案に対する拒否権などは持たず(違憲審査に付すことは可能)、戦時を除いて独自の大統領令などを発する権限もない。

## 2 主要政党の概要

### 2-1 DC (Demokratski centar): 民主センター

<http://www.demokratski-centar.hr/>

2000年1月の代議院選挙および大統領選挙でHDZが大敗した後、同党の大統領候補であったマテ・グラニチMate Granićとヴェスナ・シュカレ・オジュボルトVesna Škare Ožboltが離党して同年4月2日に結成した中道政党。その時点ではクロアチア議会に4議席を保持していたが、2003年11月の議会選挙でHSLsと選挙連合を組み、合わせて3議席(DC候補は1議席)と惨敗。その際、HDZと連立協定を結び、グラニチから党首の座を委譲されたばかりのシュカレ・オジュボルトが閣僚ポスト(法相)を得たものの、2006年2月に連立を離脱した。彼女

を含めて女性党員が多いことが特徴の一つ。2007年11月の議会選挙では一部の選挙区で緑の党 (Zeleni: Zelena stranka - Zelena alternativa) と選挙連合を組んだが、どの選挙区でも得票率1%前後にとどまり、議席ゼロに終わった。欧州人民党(EPP)にオブザーバー参加。

## 2-2 HDSSB(Hrvatski demokratski savez Slavonije i Baranje): スラヴォニア・バラニャ・クロアチア民主同盟 <<http://www.hdssb.hr>>

2006年6月21日にオシエクで結成されたスラヴォニア地方の地域政党。2005年5月の統一地方選挙に際して、同地方の地域開発をめぐる路線対立からHDZを離党したブラニミル・グラヴァシュ Bранимир Glavašらが結成した無所属グループが政党化したもの。統一地方選挙では、HDZ地方支部の絶大な支持を受けてオシエク=バラニャ県議会、オシエク市議会などでHDZ候補を大差で破り第1党となった。2007年11月の議会選挙でもオシエクなどスラヴォニア北部の第4選挙区で2議席(得票率15.23%)、プロドなどスラヴォニア南部の第5選挙区で1議席(同6.01%)を獲得した。全国得票率は1.86%。その後、グラヴァシュが「内戦」期の「戦犯」として逮捕され、ヴラディミル・シシュリヤギチ Vladimir Šišljagićが党首となって困難を切り抜けた。2009年5月の統一地方選挙ではシシュリヤギチがHDZ/HSP/HSU/HSS/HSLs推薦候補を破ってオシエク=バラニャ県知事に当選するなど党勢を拡大している。

## 2-3 HDZ (Hrvatska demokratska zajednica): クロアチア民主同盟 <<http://www.hdz.hr/>>

1989年6月17日にザグレブでフランヨ・トゥジマン Franjo Tuđman、ステイエパン・メシチ Stjepan Mesićら反体制派クロアチア・ナショナリストによって結成された右派政党(現在は中道右派)。トゥジマンは1999年12月に亡くなるまで党首であり続けた。1990年2月5日に政党登録を行った後、同年4月の議会選挙で地滑りの勝利を収めて、トゥジマンを幹部会議長(大統領)、メシチを執行評議会議長(首相)に選出し、新憲法制定をはじめとするクロアチア独立に向けた政策を次々と実行していった。独立後も1990年代を通じて代議院選挙、県院選挙、大統領選挙の全てに勝利して、クロアチアにおける一党優位制を印象づけた。1994年4月30日、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ問題をめぐる対立などからメシチが穏健派のヨシプ・マノリチ Josip Manolić 元首相らとともに離党してクロアチア独立民主党 (HND: Hrvatski nezavisni demokrati) を結成したが、1995年10月の代議院選挙で大敗し、1997年にはメシチ自身がHNSに移籍する結果となった。

もともと、本来は三選禁止であるはずの大統領を三期つとめたトゥジマンの権威主義的支配体制には批判も多く、セルビア人に対する抑圧的政策や隣国ボスニア・ヘルツェゴヴィナ紛争への介入などで国際社会の信用を失ったこともあり、1990年代末には主要野党が結束してHDZに対抗するに至った。その結果、2000年1月の代議院選挙でHDZは46議席(得票率24.38%)を獲得、単独では第1党となったものの、SDP/HSLs連合の71議席(同40.84%)に遠く及ばず、初めて下野することとなった。ほぼ同時に実施された大統領選挙では、HDZ候補のマテ・グラニチ Mate Granićが得票率22.47%で3位と、決選投票にも残れない大敗を喫した。その後、党内抗争が激化して離党者が続出し、まず穏健派のグラニチらが2000年4月2日にDCを結成、続いて急進派のイヴィチ・パシャリチ Ivić Pašalićらが2002年9月14日にクロアチア・ブロック/近代クロアチア運動 (HB: Hrvatski blok - pokret za modernu Hrvatsku)

を結成した。

しかし、2000年4月30日によろやく決まったトゥジマン没後の新党首イヴォ・サナデル Ivo Sanaderの下で党勢を徐々に回復し、2003年11月の議会選挙では66議席(得票率33.23%)と過半数を割り込んだものの、DC、HSLs、HSUなどの協力を得て政権を奪回することに成功した(DC以外は閣外協力)。2007年11月の議会選挙でも66議席(同34.91%)を獲得、HSS/HSLs連合およびSDSSを閣僚に迎え入れて第2次サナデル内閣を発足させた。2009年7月にサナデルが理由を明かさないうまま辞任した後、ヤドランカ・コソル Jadranka Kosorが初の女性首相に就任し、党首の座も引き継いでいる。欧州人民党(EPP)の協力政党であり、中道民主インターナショナル(CDI)、国際民主同盟(IDU)に加盟している。ボスニア・ヘルツェゴヴィナに友党HDZ BiHとHDZ 1990がある。

## 2-4

### **HNS (Hrvatska narodna stranka): クロアチア国民党**

#### **HNS (Hrvatska narodna stranka – Liberalni demokrati):**

**クロアチア国民党・自由民主党** 〈<http://www.hns.hr/>〉

1990年10月13日、かつてKNSを構成していた無所属議員サヴカ・ダブチェヴィチ=クチャル Savka Dabčević-Kučarらが中心となって結成した中道左派政党。歴史的起源を1841年結成のイリリア国民党(Ilirska narodna stranka)に求めることもある。1992年以降、1997年4月の県院選挙を除いてクロアチア議会に議席を獲得。とくに2000年1月の代議院選挙では2議席獲得にとどまったものの、SDP/HSLs連合に協力して連立政権を発足させ、閣僚ポストを得ている。2005年2月6日にLibraが合流し、クロアチア国民党・自由民主党(HNS)と改称した。2010年現在、議会で5議席を有するにとどまり、影響力は低下している。欧州自由民主改革党(ELDR)に加盟。メシチ前大統領は1997年から2000年までHNS党員であった。

## 2-5

### **HSLs (Hrvatska socijalno-liberalna stranka): クロアチア社会自由党**

〈<http://www.hsls.hr/>〉

クロアチア共産主義者同盟(SKH: Savez komunista Hrvatske)の一党独裁が続いていた1989年5月20日にドラジェン・ブディシヤ Dražen Bidišaらによってクロアチア社会自由同盟(HSLs: Hrvatski socijalno liberalni savez)として結成された戦後初の非社会主義政党(政党登録は1990年1月19日)。1990年4月の議会選挙ではKNSに参加したが全く振るわなかった。1991年7月に発足した「内戦」下の挙国一致内閣でブディシヤが無任所相となったが、HDZ批判を強めて1992年2月に辞任した。この事件がブディシヤ・ブームを引き起こし、1990年代を通じて野党連合のリーダーであり続けた。1992年8月の代議院選挙で14議席(得票率17.72%)、1993年2月の県院選挙で16議席(同21.83%)、1995年10月の代議院選挙で12議席(同11.55%)を獲得して、いずれも野党第1党となった。1997年4月の県院選挙ではHSSと選挙連合を組んで16議席(同23.04%)を得たものの、HSS候補が9名を占め、HSLs候補は7名しか当選できなかった。ブディシヤに対しては毀誉褒貶が相半ばし、反対派の離党が繰り返され、1998年1月にLS、2002年9月にLibraが結成された。2000年1月の代議院選挙ではSDPと選挙連合を組んで過去最多となる24議席を獲得したが、SDPには遠く及ばず、ほぼ同時に実施された大統領選挙でもブディシヤがメシチ(HNS)に敗れ、必ずしも期待した成果を得ることができなかった。2000年に発足した連立政権では副首相など閣僚ポストを得たが、幾つ



かの案件をめぐってSDPと対立し、2002年7月に連立を離脱した。その後の議会選挙で党勢は著しく後退したものの(2003年・2007年とも2議席)、HDZとの協力関係を強め、第2次サナデル内閣およびコソル内閣ではジュルジャ・アドレシチ Đurđa Adlešić 党首(当時)が副首相となっている。2010年、新党首ダリンコ・コソル Darinko Kosor が連立離脱を決定したが、HSLs 議員は2名ともこれを不服として離党したため、現在HSLsは結党以来初めてクロアチア議会に議席を持たない政党となっている。自由主義インターナショナルおよび欧州自由民主改革党(ELDR)に加盟する中道右派政党。

## 2-6

### **HSP (Hrvatska stranka prava): クロアチア権利党**

〈<http://www.hsp.hr/>〉

1861年にアンテ・スタルチェヴィチ Ante Starčević とエウゲン・クヴァテルニク Eugen Kvaternik が結成したクロアチア国家の権利を主張するナショナリスト政党を起源とする。1929年にユーゴスラヴィア王国で政党活動が禁止されると、アンテ・パヴェリチ Ante Pavelić ら一部のHSP 党員はウスタシャ(Ustaša)を結成し、近隣ファシスト諸国の支援を受けて非法活動を展開、1941年の傀儡国家「クロアチア独立国」成立とともに実権を掌握した。

現在のHSPは1990年2月25日にドブロスラヴ・パラガ Dobroslav Paraga らによって結成された。1991年に「祖国戦争」が始まると、独自の武装勢力としてクロアチア防衛軍(HOS)を組織し、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ紛争にも介入した。党内では長らく主導権争いが続き、1992年12月12日にクロアチア純粋権利党(HČSP: Hrvatska čista stranka prava)、1995年5月31日にクロアチア権利党1861(HSP 1861)が分離していった。1992年・1995年・2000年の代議員選挙ではいずれも阻止事項をクリアして議席を獲得している(4~5議席)。次第に極右傾向が薄れたこともあり、2003年11月の議会選挙で8議席(得票率6.46%)を獲得してキャスティング・ボートを握る立場となったが、2007年11月の議会選挙では1議席(同3.47%)にまで落ち込み、2009年5月の統一地方選挙での大敗をうけて反主流派が同年9月6日クロアチア権利党アンテ・スタルチェヴィチ博士派(HSP Dr. Ante Stačević)を結成するなど離党者が続出した。同年11月には長らく党首の座にあったアント・ジャピチ Anto Đapic が引退、ダニエル・スルブ Daniel Srb が後任となっている(唯一の議会議員でもある)。ボスニア・ヘルツェゴヴィナに友党HSP BiHがある。

## 2-7

### **HSS (Hrvatska seljačka stranka): クロアチア農民党**

〈<http://www.hss.hr/>〉

オーストリア=ハンガリー帝国時代の1904年12月22日に結成されたクロアチア大衆農民党(HPSS: Hrvatska pučka seljačka stranka)を前身とし、セルビア人・クロアチア人・スロヴェニア人王国(のちユーゴスラヴィア王国)発足後、1920年にクロアチア共和農民党(HRSS: Hrvatska republikanska seljačka stranka)と改称したが、当局に「共和主義」を咎められ、1925年に現在の党名となった。結成以来の指導者スティエパン・ラディチ Stjepan Radić が1928年に暗殺されてからは、ヴラトコ・マチェク Vladko Maček が党首となった。戦間期を通じてクロアチアを代表する政党であり続け、1939年に「クロアチア自治州」が発足した際には、その支配的政党となった。第二次世界大戦後は国外に拠点を移していたが、1989年に複数のグループが自らの正統性を主張しつつ国内での活動を再開した。なお党組織の再建が不十分であっ

た1990年4月の議会選挙では惨敗したが、1992年8月の代議院選挙で3議席(得票率4.25%)、1993年2月の県院選挙で5議席(同11.62%)、1995年10月の代議院選挙で16議席(同18.26%)。IDS、HNSなどとの選挙連合であり、HSS候補は10名)、1997年4月の県院選挙で16議席(同23.04%)。HSLsとの選挙連合であり、HSS候補は9名)を獲得するなど、1990年代を通じて着実に勢力を伸ばした。

2000年1月の代議院選挙ではIDS、HNS、LSなどと選挙連合を組んで24議席(得票率15.55%、HSS候補は16名)を獲得し、新たな6党連立政権に参加した。最大4名の閣僚を送り込み、党首ズラトコ・トムチチ Zlatko Tomčić がクロアチア議会議長となった(大統領代行となった期間がある)。また、2001年5月の統一地方選挙では、クロアチア北西部の農業地帯を中心とする自らの支持基盤を活かし、多くの県議会・市町村議会で多数派となった(県知事8名を選出)。しかし、その後はHDZとSDPの二大政党の間で埋没し、2003年11月の議会選挙で10議席(同7.26%)、2007年11月の議会選挙でHSLsと選挙連合を組んで8議席(同6.77%、HSS候補は6名)と徐々に後退し、かつての勢いは失われている。2008年1月に発足した第2次サナデル政権および後継のコソル政権に参加し(農相、観光相など)、2009年5月の統一地方選挙でもHDZと選挙協力を行っている。欧州人民党(EPP)の協力政党。

2-8

### HSU (Hrvatska stranka umirovljenika): クロアチア年金生活者党

〈<http://www.hsu.hr/>〉

1996年4月29日に結成された年金生活者の権利擁護を謳う政党。2003年11月の議会選挙で全国得票率4.08%と予想外に健闘し、第3、第4、第8選挙区で各1議席(得票率6.24%、5.67%、5.08%)を獲得した。HDZに協力してサナデル政権の発足に貢献し、その見返りとして年金問題で一定の譲歩を得た。しかし、2007年11月の議会選挙では全国得票率を微増させたものの(4.23%)、第8選挙区で1議席(得票率5.85%)を得るにとどまった。第2次サナデル政権にも協力的だったが、コソル首相に代わってから関係が冷却化している。現在の党首は労働組合出身で同党唯一の議会議員でもあるシルヴァノ・フレリャ Silvano Hrelja(2008年3月就任)。

2-9

### IDS (Istarski demokratski sabor): イストリア民主会議

〈<http://www.ids-ddi.com/>〉

1990年2月14日、スロヴェニアおよびイタリア国境に近いイストリア地方の中心都市プーラで結成された中道左派の地域政党。同地方は人口20万ほどに過ぎないが、観光産業の発達により高所得層が多い。IDSは1990年4月の議会選挙には参加せず、SKH-SDPの支援に回った。その後、イヴァン・ヤコヴチチ Ivan Jakovčić のリーダーシップの下、HDZのクロアチア・ナショナリズムに対抗して、独自のイストリア主義や多民族・多文化共存を謳うイストリア地域運動を推進してきた。1992年8月の代議院選挙では、イストリア地方の小選挙区3議席全てを独占するとともに、比例区(全国区)ではRDSおよびダルマチア運動(DA: Dalmatinska akcija)と連合して得票率3.18%、2議席を獲得した(IDS候補は1議席)。続く1993年2月の県院選挙でもイストリア県の全3議席を独占しただけでなく、同時に実施された県議会選挙で比例区(全県区)20議席中16議席(得票率74.2%)、小選挙区20議席中19議席を占めて圧勝、さらに県内42市町村議会の全てで多数派を形成した。この結果はHDZの警戒するところとなり、1993年4月、IDS主導下の県議会が採択したイストリアの独自性を強調する「イストリア憲

章]に対しては直ちに違憲審査請求がなされ、大幅な修正を余儀なくされた。また、1994年から1996年にかけて、HDZの介入もあって党指導部での路線対立が顕在化し、離党者が相次ぎ、対抗的な政党としてイストリア民主フォーラム (IDF: Istarski demokratski forum) = 現在のイストリア社会民主フォーラム (ISDF: Istarski socijaldemokratski forum) が結成される事態となったが、IDSの支持基盤はほとんど揺るがなかった。もっとも、1995年10月の代議院選挙では比例区(全国区)でHSS、HNSその他と選挙連合を組んで得票率18.26%、16議席を獲得し(IDS候補は2議席)、小選挙区2議席と合わせて4議席を維持したものの、一時ほどの勢いは無くなり、1997年4月の県院選挙では2議席にとどまった。

2000年1月の代議院選挙ではHSS、HNS、LSなどと選挙連合を組んで得票率15.55%、24議席を獲得した(IDS候補は4議席)。この選挙連合がSDP/HLSL連合に協力して連立政権を発足させ、ヤコヴチチは初代欧州統合相に就任した。もっとも、IDSが主張してきた分権化が思うように進まないことなどからSDPとの関係が悪化し、短期間で連立を離脱した。ヤコヴチチ自身、2001年5月の統一地方選挙以降はイストリア県知事となり、アドリア海ユーロリージョンの設立(2006年)などに貢献している。IDSは過去20年間にわたり党名・党首を変えずに活動を続けてきたクロアチア唯一の政党でもある。欧州自由民主改革党(ELDR)に加盟している。

2-10

**KNS (Koalicija narodnog sporazuma): 国民合意連合**

**HKDU (Hrvatska kršćanska demokratska unija): クロアチア・キリスト教民主同盟**  
(<http://hkdu.hr/>)

1990年3月1日、戦後初の自由選挙の直前に結成された政党連合。1989年11月4日創設のクロアチア民主党 (HDS: Hrvatska demokratska stranka)、同年10月15日創設のクロアチア・キリスト教民主党 (HKDS: Hrvatska kršćanska demokratska stranka)、同年12月16日創設のクロアチア社会民主党 (SDH: Socijaldemokratska stranka Hrvatske) およびHLSLの4党に加え、1971年の「クロアチアの春」で活躍したサヴカ・ダブチェヴィチ=クチャル Savka Dabčević Kučar やミコ・トリパロ Miko Tripalo など著名な無所属候補5名で構成。HDZとSDPに対抗して有権者の支持を得ようとしたが、HDSが第2回投票前に離反するなどして惨敗した。選挙後、ダブチェヴィチ=クチャルやトリパロはHNSを結成し、HDSとHKDSの主流派は1992年12月20日に合併してクロアチア・キリスト教民主同盟 (HKDU) となった(ただしHDSもHKDSも解党されずに残った)。HKDUはHSPなどと右派ブロックを形成し、2000年1月の代議院選挙で1議席を獲得したが、一期限りで議席を失った。2007年6月4日に新指導部の下で再出発したものの、さしたる成果をあげていない。

2-11

**Libra (Libra: Stranka liberalnih demokrata): リブラ・自由民主党**

2002年9月21日、HLSLがSDPなどとの連立政権を離脱したことに抗議する形でSDP寄りのヨージョ・ラドシユ Jozo Radoš (当時国防相) が結成した中道リベラル政党。HLSL離脱後の新たな連立政権では2つの閣僚ポストを得た。2003年11月の議会選挙ではSDP、IDS、LSと選挙連合を組んで3議席を獲得した。2005年2月6日にHNSと合併し、クロアチア国民党・自由民主党(HNS)となった。



**2-12****LS (Liberalna stranka): 自由党**

HSLŠでのドラジェン・ブディシヤ Dražen Bidiša との主導権争いに敗れたヴラド・ゴトヴァツ Vlado Gotovac らが1998年1月24日に結成した中道リベラル政党。自由主義インターナショナルや欧州自由民主改革党(ELDR)に加盟していた。2000年1月の代議院選挙ではHSS、IDS、HNSなどと、2003年11月の議会選挙ではSDP、IDS、Libraと選挙連合を組んで、いずれも2議席を獲得した。その後、党首イヴォ・バナツ Ivo Banac らはHNSとの統合を模索していたが、これに反対する前党首ズラトコ・クラマリチ Zlatko Kramarić らの立場が大勢を占めるようになり(バナツ自身は離党し無所属となった)、2006年初頭にはHSLŠと再統合して消滅した。

**2-13****RDS (Riječki demokratski savez): リエカ民主同盟****PGS (Primorsko goranski savez): プリモリエ・ゴルスキコタル同盟**

〈<http://www.pgs.hr/>〉

1990年3月11日にリエカで結成された地域政党。1996年9月28日、プリモリエ・ゴルスキコタル県全域を活動範囲とする地域政党としてプリモリエ・ゴルスキコタル同盟(PGS)に改称した。1992年以降、クロアチア議会選挙(県院を除く)では他党と選挙連合を組んで自らも1~2議席を獲得してきたが、2007年選挙では議席を失った。地方レベルでも、IDSやHDSSBのような強固な支持基盤を持っていない。

**2-14****SDS (Srpska demokratska stranka): セルビア民主党**

1990年2月17日、ボスニアとの国境地帯に位置するクライナ地方のクニンで結成されたセルビア人政党。創設者はヨヴァン・ラシュコヴィチ Jovan Rašković で、当初は対話路線を採っていたが、クロアチア民族主義の高揚に対抗する形で、クロアチアからの分離を主張する過激なセルビア民族主義政党となった。1990年4月の議会選挙ではセルビア人の間でSKH-SDPの支持者が多く、僅か5議席と振るわなかったが、クロアチア独立運動の本格化と連動しつつ、自治体連合を基盤としてセルビア人の組織化を進め、1991年12月19日に「クライナ・セルビア人共和国(RSK: Republika Srpska Krajina)」の樹立を一方的に宣言した。そのため、クロアチア独立後に実施された選挙には一切参加していない。その後、RSK初代大統領ミラン・バビチ Milan Babić 率いるクライナ派(SDS Krajina)のほか、セルビア諸邦派(SDS srpskih zemalja)、セルビア統一国家派SDS(SDS za sjedinjene države srpske)、王党派(SDS monarhisti)などに分裂し、1995年8月5日の「嵐作戦」によるRSK崩壊とともに消滅した。

**2-15****SDSS (Samostalna demokratska srpska stranka): 独立民主セルビア党**

〈<http://www.sdss.hr/>〉

1995年10月6日にミロラド・プボヴァツ Milorad Pupovac が創設した独立セルビア党(SSS: Samostalna srpska stranka)を基盤として、国連の暫定統治下にあった東スラヴォニア・バラニャ・西スリエム地方のクロアチアへの再統合を契機として1997年3月19日に

結成されたセルビア人の少数民族政党。その際、ヴォイスラヴ・スタニミロヴィチ Vojslav Stanimirović が党首となり、本拠地はザグレブからヴコヴァルへと移された。2003年・2007年の議会選挙では競合するSNSに圧勝し、少数民族枠(セルビア人枠)の3議席全てを独占した。クロアチア政府に協力的で、2007年選挙後は同党のスロボダン・ウゼラツ Slobodan Uzelac が副首相のポストを得ている(独立後初のセルビア人副首相)。

2-16

### **SNS (Srpska narodna stranka): セルビア人民党**

〈<http://www.sns.hr/>〉

クロアチアに叛旗を翻したSDSに代わるクロアチア国内のセルビア人政党として1991年5月18日に結成された。当初はHDZの傀儡と目されることもあったが、徐々にセルビア民族主義を前面に押し出し、対決姿勢を強めていった。初代党首はミラン・ジュキチ Milan Đukić。1992年8月の代議院選挙では阻止条項の3%に満たない得票率で惨敗したが、少数民族法に基づく特例によって辛うじて3議席を獲得した。選挙のたびに議席を減らし、2003年・2007年の議会選挙ではSDSSに少数民族枠(セルビア人枠)の3議席すべてを奪われ、もはや有力な政治勢力ではなくなっている。

2-17

### **SDAH (Stranka demokratske akcije Hrvatske): クロアチア民主行動党**

〈<http://www.sdah.hr/>〉

1990年6月20日にボスニア・ヘルツェゴヴィナを拠点とするムスリム政党・民主行動党(SDA)のクロアチア支部として結成され、1992年2月に現在の名称となった。クロアチアにおけるボスニア人の権利擁護を謳う少数民族政党であり、2003年・2007年の議会選挙では少数民族枠で党首シェムソ・タンコヴィチ Šemso Tanković を当選させている。

2-18

### **SKH-SDP (Savez komunista Hrvatske - Stranka demokratskih promjena):**

**クロアチア共産主義者同盟・民主変革党**

**SDP (Stranka demokratskih promjena):民主変革党**

**SDP (Socijaldemokratska partija Hrvatske - Stranka demokratskih promjena): クロアチア社会民主党・民主変革党**

**SDP (Socijaldemokratska partija Hrvatske): クロアチア社会民主党**

〈<http://www.sdp.hr/>〉

1937年8月創設のクロアチア共産党(KPH: Komunistička partija Hrvatske)が起源。本来は1919年にユーゴスラヴィア社会主義労働者党(SRPJ: Socijalistička radnička partija Jugoslavije)として創設されたユーゴスラヴィア共産党(KPJ: Komunistička partija Jugoslavije)の地方支部だった。戦後唯一の合法政党となったKPJが1952年にユーゴスラヴィア共産主義者同盟(SKJ: Savez komunista Jugoslavije)に改称すると、その下部組織であるKPHもクロアチア共産主義者同盟(SKH: Savez komunista Hrvatske)となった。

このクロアチア共産主義者同盟(SKH)が1990年1月28日にクロアチア共産主義者同盟・民主変革党(SKH-SDP)として政党登録を行い、続いて同年11月3日の党大会で正式に民主変革党(SDP)に改称した。この日が現在のSDPの結成日とされる。翌年11月6日の党大会で

クロアチア社会民主党・民主変革党(SDP)への改称を決定したが、その後のクロアチア社会民主党(SDH: Socijaldemokratska stranka Hrvatske)との党名論争を経て、1993年2月の県院選挙までに現在の党名・クロアチア社会民主党(SDP)に落ち着いた。1994年4月30日にSDHを吸収する一方、左派グループはクロアチア社会党(SSH: Socijalistička stranka Hrvatske)とともにクロアチア社会民主運動(ASH: Akcija socijaldemokrata Hrvatske)を結成して離党した。中道左派の社会民主主義路線を貫き、社会主義インターナショナルに加盟、また欧州社会党(PES)の協力政党でもある。

1990年4月の議会選挙でHDZに大差で敗れて政権を譲ってから、しばらく低迷期が続いた。1992年8月の代議院選挙では比例区(全国区)で僅か3議席と惨敗(得票率5.53%)、1995年10月の代議院選挙で復調傾向を示したものの10議席(同8.93%)止まりであった。しかし、2000年1月の代議院選挙でHSLsと選挙連合を組んで71議席(同40.84%、SDP候補44名)を獲得してHDZに勝利し、独立後初の政権交代を実現した。HSLsのほかHSS、IDS、HNS、LSとも協力して中道・左派6党連立内閣を発足させ、SKH時代の1989年12月から党首の座にあったイヴィツァ・ラチャン Ivica Račan が首相に就任した。しかし、HSLsが連立を離脱したこともあって、2003年11月の議会選挙ではIDS、Libra、LSとの選挙連合で42議席(同23.26%、SDP候補は34名)を獲得するにとどまり、下野することとなった。2007年11月の議会選挙では単独で過去最多の56議席(同32.50%)を確保したものの、HDZに僅かに及ばず、政権奪回は実現しなかった。現在ではHDZと並ぶ二大政党の一つとなり、2009年5月の統一地方選挙や2009年12月から2010年1月にかけて実施された大統領選挙で具体的成果をあげている。ラチャンが2007年4月に急逝した後、ゾラン・ミラノヴィチ Zoran Milanović がその地位を引き継いだものの、党内抗争の火種が尽きず、大統領選挙ではSDP公認候補イヴォ・ヨシポヴィチ Ivo Josipovićに対抗してザグレブ市長ミラン・バンディチ Milan Bandić が「無所属」として立候補し、混乱を生じさせた。

### 3 独立後の歴代大統領 (公選制によるもの)

1992年8月12日～1997年8月5日(初代)

- フラニョ・トゥジマン Franjo TUĐMAN(HDZ)

1997年8月5日～1999年12月10日(第2代)

- フラニョ・トゥジマン Franjo TUĐMAN(HDZ)  
\*死去に伴い、ヴラトコ・パヴレティチ Vlatko PAVLETIĆ (HDZ) およびズラトコ・トムチチ Zlatko TOMČIĆ(HSS) による大統領代行期間あり

2000年2月18日～2005年2月18日(第3代)

- ステイエパン・メシチ Stjepan MESIĆ(HNS HSS, LS, IDS, ASH推薦)

2005年2月18日～2010年2月18日(第4代)

- ステイエパン・メシチ Stjepan MESIĆ  
(無所属 SDP, HNS, HSS, IDS, LIBRA, LS, PGS, SDAH推薦)

2010年2月18日～(第5代)

- イヴォ・ヨシポヴィチ Ivo JOSIPOVIĆ(SDP)

## 4 1990年の選挙後の歴代内閣

1990年5月30日～1990年8月24日(初代)

- スティエパン・メシチ Stjepan MESIĆ 内閣(HDZ)

1990年8月24日～1991年7月17日(第2代)

- ヨシブ・マノリチ Josip MANOLIĆ 内閣(HDZ)

1991年7月17日～1992年8月12日(第3代)

- フラニョ・グレグリチ Franjo GREGURIĆ 内閣(HDZほか主要8党による挙国一致内閣)

1992年8月12日～1993年4月3日(第4代)

- フルヴォイエ・シャリニチ Hrvoje ŠARINIĆ 内閣(HDZ)

1993年4月3日～1995年11月7日(第5代)

- ニキツァ・ヴァレンティチ Nikica VALENTIĆ 内閣(HDZ)

1995年11月7日～2000年1月27日(第6代)

- ズラトコ・マテシャ Zlatko MATEŠA 内閣(HDZ)

2000年1月27日～2002年7月30日(第7代)

- イヴィツァ・ラチャン Ivica RAČAN 内閣(SDP, HSLs, HSS, HNS, LS, IDSの6党連立)

2002年7月30日～2003年12月23日(第8代)

- 第2次イヴィツァ・ラチャン Ivica RAČAN 内閣(SDP, Libra, HSS, HNS, LSの5党連立)

2003年12月23日～2008年1月12日(第9代)

- イヴォ・サナデル Ivo SANADER 内閣(HDZとDCの連立)

2008年1月12日～2009年7月6日(第10代)

- 第2次イヴォ・サナデル Ivo SANADER 内閣(HDZ, HSS, HSLs, SDSSの連立)

2009年7月6日～(第11代)

- ヤドランカ・コソル Jadranka KOSOR 内閣(HDZ, HSS, HSLs, SDSSの連立)

## 5 資料

### クロアチア議会選挙結果（県院を除く）

**1990**年選挙

(第1回4月22日、  
第2回5月6日)

#### (1)社会政治院

	第1回	第2回
登録有権者	3,544,112	2,320,082
投票用紙発行数	2,996,250	1,735,878
投票数		
投票率	84.54	74.82
有効投票数		
有効投票率		

政党（政党連合）	得票数	得票率	得票数	得票率	議席数	議席率
HDZ	1,200,691	41.76	708,007	42.18	54	67.50
SKH-SDP	678,086	23.59	461,979	27.52	12	15.00
KNS	316,023	10.99	166,046	9.89	3	3.75
SS-SSH	186,726	6.49	57,418	3.42	2	2.50
SKH-SDP/SS-SSH	129,248	4.50	107,948	6.43	4	5.00
HDS	113,544	3.95	70,823	4.22	0	0.00
SDS	46,418	1.61	34,682	2.07	1	1.25
その他	86,158	3.00	58,312	3.47		
SKH-SDP/SS-SSH/SSOH/ Zelena akcija Split/SKH-SDP					1	1.25
HDZ/HDS					1	1.25
無所属	118,167	4.11	13,197	0.79	1	1.25
合計	2,875,061	100.00	1,678,412	100.00	80	100.00

**1990**年選挙

(第1回4月22日、  
第2回5月6日)

#### (2)コミュン院

	第1回	第2回
登録有権者	4,251,514	2,200,643
投票用紙発行数	3,575,257	1,641,197
投票数		
投票率	84.09	74.58
有効投票数		
有効投票率		

政党（政党連合）	得票数	得票率	得票数	得票率	議席数	議席率
HDZ	1,507,521	43.91	659,740	41.50	68	59.13
SKH-SDP	868,147	25.28	529,137	33.28	23	20.00
KNS	321,623	9.37	130,190	8.19	2	1.74
SS-SSH	198,406	5.78	45,073	2.83	1	0.87
HDS	131,218	3.82	47,340	2.98	3	2.61
SKH-SDP/SS-SSH	98,449	2.87	80,066	5.04	9	7.83
SDS	30,747	0.90	8,644	0.54	3	2.61
その他	161,105	4.69	69,974	4.40		
SKH-SDP/SS-SSH/SSOH/SUBNOR					2	1.74
HDZ/HLSL					2	1.74
SKH-SDP/SS-SSH/SSOH					1	0.87
HDZ/HSS					1	0.87
無所属	116,332	3.39	19,730	1.24	0	0.00
合計	3,433,548	100.00	1,589,894	100.00	115	100.00

**1990**年選挙  
(第1回4月22～23日、  
第2回5月6～7日)

(3)連合労働院

	第1回	第2回
登録有権者	2,003,154	1,352,101
投票用紙発行数	1,533,087	893,101
投票数		
投票率	76.53	66.05
有効投票数		
有効投票率		

政党（政党連合）	得票数	得票率	得票数	得票率	議席数	議席率
HDZ	475,820	32.69	239,969	28.32	83	53.21
SKH-SDP	364,718	25.06	267,380	31.56	38	24.36
KNS	151,253	10.39	92,765	10.95	6	3.85
SS-SSH	78,131	5.37	43,664	5.15	1	0.64
HDS	56,856	3.91	41,316	4.88	7	4.49
SKH-SDP/SS-SSH	18,674	1.28	19,447	2.30	4	2.56
SDS	5,286	0.36	0	0.00	1	0.64
その他	17,150	1.18	30,430	3.59		
SKH-SDP/SS-SSH/SSOH					1	0.64
SSOH					1	0.64
HSS					1	0.64
Udruženje samostalnih privrednika Đurđevac					1	0.64
無所属	287,477	19.75	112,317	13.26	12	7.69
合計	1,455,365	100.00	847,288	100.00	156	100.00

**1992**年選挙  
(8月2日)

(比例区のみ)

登録有権者	3,558,913
投票用紙発行数	
投票数	2,690,873
投票率	75.61
有効投票数	2,631,535
有効投票率	97.79

政党（政党連合）	比例区 得票数	比例区 得票率	比例区 議席数	比例区 議席率	小選挙区 議席数	少数民族 議席数	合計 議席数	合計 議席率
HDZ	1,176,437	44.71	31	51.67	54	0	85	61.59
HSLs	466,356	17.72	12	20.00	1	1	14	10.14
HSP	186,000	7.07	5	8.34	0	0	5	3.62
HNS	176,214	6.70	4	6.67	0	2	6	4.35
SDP	145,419	5.53	3	5.00	0	8	11	7.97
HSS	111,869	4.25	3	5.00	0	0	3	2.17
IDS/DA/RDS	83,623	3.18	(2)	(3.34)				
IDS			1	1.67	3	0	4	2.90
DA			1	1.67	0	0	1	0.72
RDS			0	0.00	1	0	1	0.72
HDS	72,303	2.75	0	0.00	0	0	0	0.00
HKDS	70,715	2.69	0	0.00	0	0	0	0.00
SDU	32,475	1.23	0	0.00	0	0	0	0.00
SSH	31,575	1.20	0	0.00	0	0	0	0.00
SNS	28,620	1.09	0	0.00	0	3	3	2.17
その他	49,929	1.90	0	0.00	0	0	0	0.00
無所属					1	0	1	0.72
少数民族団体					0	4	4	2.90
合計	2,631,535	100.00	60	100.00	60	18	138	100.00



**1995**年選挙  
(10月29日)

(比例区のみ)

登録有権者	3,634,233
投票用紙発行数	
投票数	2,500,040
投票率	68.79
有効投票数	2,417,374
有効投票率	96.69

政党 (政党連合)	比例区 得票数	比例区 得票率	比例区 議席数	比例区 議席率	小選挙区 議席数	ディアスポ ラ議席数	少数民族 議席数	合計 議席数	合計 議席率
HDZ	1,093,403	45.23	42	52.50	21	12	0	75	59.06
HSS/IDS/HNS/ HKDU/SBHS	441,390	18.26	(16)	(20.00)					
HSS			10	12.50	0	0	0	10	7.87
IDS			2	2.50	2	0	0	4	3.15
HNS			2	2.50	0	0	0	2	1.57
HKDU			1	1.25	0	0	0	1	0.79
SBHS			1	1.25	0	0	0	1	0.79
HSLs	279,245	11.55	10	12.50	2	0	0	12	9.45
SDP	215,839	8.93	8	10.00	2	0	0	10	7.87
HSP	121,095	5.01	4	5.00	0	0	0	4	3.15
SDU	78,282	3.24	0	0.00	0	0	0	0	0.00
HND	72,612	3.00	0	0.00	1	0	0	1	0.79
ASH	40,348	1.67	0	0.00	0	0	1	1	0.79
HSP-1861	31,530	1.30	0	0.00	0	0	0	0	0.00
SNS							2	2	1.57
その他	43,630	1.80	0	0.00	0	0			
無所属					0	0	0	0	0.00
少数民族団体					0	0	4	4	3.15
合計	2,417,374	100.00	80	100.00	28	12	7	127	100.00

**2000**年選挙  
(1月3日)

(比例区のみ)

登録有権者	3,686,378
投票用紙発行数	
投票数	2,821,020
投票率	76.53
有効投票数	2,774,280
有効投票率	98.34

政党 (政党連合)	比例区 得票数	比例区 得票率	比例区 議席数	比例区 議席率	ディアスポ ラ議席数	少数民族 議席数	合計 議席数	合計 議席率
SDP/HSLs/PGS/ SBHS	1,133,136	40.84	(71)	(50.71)				
SDP			44	31.43	0	0	44	29.14
HSLs			24	17.14	0	0	24	15.89
PGS			2	1.43	0	0	2	1.32
SBHS			1	0.71	0	0	1	0.66
HDZ	676,264	24.38	40	28.57	6	0	46	30.46
HSS/IDS/HNS/ LS/ASH	431,484	15.55	(24)	(17.14)				
HSS			16	11.43	0	1	17	11.26
IDS			4	2.86	0	0	4	2.65
LS			2	1.43	0	0	2	1.32
HNS			2	1.43	0	0	2	1.32
HSP/HKDU	146,496	5.28	(5)	(3.57)				
HSP			4	2.86	0	0	4	2.65
HKDU			1	0.71	0	0	1	0.66
HSU	52,717	1.90	0	0.00	0	0		
HSNS	39,867	1.44	0	0.00	0	0		



政党 (政党連合)	比例区 得票数	比例区 得票率	比例区 議席数	比例区 議席率	ディアスポラ 議席数	少数民族 議席数	合計 議席数	合計 議席率
HPS	39,348	1.42	0	0.00	0	0		
HSP-1861	29,445	1.06	0	0.00	0	0		
SNS					0	1	1	0.66
その他	207,204	7.47	0	0.00	0	0	0	0.00
無所属	18,319	0.66	0	0.00	0	0	0	0.00
少数民族団体					0	3	3	1.99
合計	2,774,280	100.00	140	100.00	6	5	151	100.00

**2003**年選挙  
(11月23日)

(比例区のみ)

登録有権者	3,690,936
投票用紙発行数	
投票数	2,466,481
投票率	66.83
有効投票数	2,409,240
有効投票率	97.68

政党 (政党連合)	比例区 得票数	比例区 得票率	比例区 議席数	比例区 議席率	ディアスポラ 議席数	少数民族 議席数	合計 議席数	合計 議席率
HDZ	800,503	33.23	62	44.29	4	0	66	43.42
SDP/IDS/Libra/LS	560,593	23.26	(42)	(30.00)				
SDP			34	24.29	0	0	34	22.37
IDS			4	2.86	0	0	4	2.63
Libra			3	2.14	0	0	3	1.97
LS			2	1.43	0	0	2	1.32
HNS/PGS/SBHS	198,781	8.25	(11)	(7.86)				
HNS			10	7.14	0	0	10	6.58
PGS			1	0.71	0	0	1	0.66
HSS	174,960	7.26	9	6.43	0	1	10	6.58
HSP	155,588	6.46	8	5.71	0	0	8	5.26
HSLs/DC	99,467	4.13	(3)	(2.14)				
HSLs			2	1.43	0	0	2	1.32
DC			1	0.71	0	0	1	0.66
HSU	98,299	4.08	3	2.14	0	0	3	1.97
HIP/HB	31,171	1.29	0	0.00	0	0	0	0.00
HDSS/HDC/DPS	23,787	0.99	(1)	(0.71)				
HDSS			1	0.71	0	0	1	0.66
SDSS					0	3	3	1.97
SDAH					0	1	1	0.66
その他	210,011	8.71	0	0.00	0	0	0	0.00
無所属	56,080	2.33	0	0.00	0	0	0	0.00
少数民族団体					0	3	3	1.97
合計	2,409,240	100.00	140	100.00	4	8	152	100.00

**2007**年選挙  
(11月25日)

(比例区のみ)

登録有権者	3,824,731
投票用紙発行数	
投票数	2,425,269
投票率	63.41
有効投票数	2,389,391
有効投票率	98.52

## 2007年選挙

前ページからの続き

政党 (政党連合)	比例区 得票数	比例区 得票率	比例区 議席数	比例区 議席率	ディアスポラ 議席数	少数民族 議席数	合計 議席数	合計 議席率
HDZ	834,203	34.91	61	43.57	5	0	66	43.14
SDP	776,656	32.50	56	40.00	0	0	56	36.60
HNS	168,439	7.05	7	5.00	0	0	7	4.58
HSS/HSLs	161,813	6.77						
HSS			6	4.29	0	0	6	3.92
HSLs			2	1.43	0	0	2	1.31
HSU	101,091	4.23	1	0.71			1	0.65
HSP	83,006	3.47	1	0.71	0	0	1	0.65
HDSSB	44,552	1.86	3	2.14	0	0	3	1.96
IDS	38,267	1.60	3	2.14	0	0	3	1.96
SDSS	9,115	0.38	0	0.00	0	3	3	1.96
SDAH					0	1	1	0.65
その他	151,412	6.34	0	0.00	0	0	0	0.00
無所属	20,837	0.87	0	0.00	0	0	0	0.00
少数民族団体	0	0.00	0	0.00	0	4	4	2.61
合計	2,389,391	100.00	140	100.00	5	8	153	100.00

## クロアチア議会県院選挙結果

### 1993年選挙 (2月7日)

登録有権者	3,580,396
投票用紙発行数	
投票数	2,303,782
投票率	64.34
有効投票数	2,227,763
有効投票率	96.70

政党	得票数	得票率	選挙区 議席数	選挙区 議席率	大統領指名 議席数	合計 議席数	議席率
HDZ	1,013,365	45.49	37	58.73	2	39	57.35
HSLs	486,210	21.83	16	25.40	0	16	23.53
HSS	258,953	11.62	5	7.94	0	5	7.35
HSLs/SDP/HNS	136,318	6.12	0	0.00	0	0	0.00
IDS	99,074	4.45	3	4.76	0	3	4.41
SDP	62,461	2.80	1	1.59	0	1	1.47
HKDU	35,315	1.59	0	0.00	0	0	0.00
DA	26,303	1.18	0	0.00	0	0	0.00
HNS	22,918	1.03	1	1.59	0	1	1.47
その他	64,284	2.89	0	0.00	0	0	0.00
無所属	22,562	1.01	0	0.00	3	3	4.41
合計	2,227,763	100.00	63	100.00	5	68	100.00

### 1997年選挙 (4月1日)

登録有権者	3,664,693
投票用紙発行数	
投票数	2,615,474
投票率	71.37
有効投票数	2,529,412
有効投票率	96.71

## 1997年選挙

前ページからの続き

政党	得票数	得票率	選挙区 議席数	選挙区 議席率	大統領指名 議席数	合計 議席数	議席率
HDZ	1,080,443	42.72	(41)	(65.08)			
HDZ			39	61.90	3	42	61.79
HSP			2	3.17		2	2.94
HSLs/HSS	582,821	23.04	(16)	(25.40)			
HSS			9	14.29	0	7	13.24
HSLs			7	11.11	0	9	10.29
SDP/HNS	415,392	16.42	(4)	(6.35)			
SDP			4	6.35	0	4	5.88
HNS			0	0.00	0	0	0.00
IDS	64,883	2.57	2	3.17	0	2	2.94
HSU/ASH	59,139	2.34	0	0.00	0	0	0.00
SDU	47,828	1.89	0	0.00	0	0	0.00
HSP-1861	46,162	1.83	0	0.00	0	0	0.00
HKDU	37,818	1.50	0	0.00	0	0	0.00
SNS	32,369	1.28	0	0.00	0	0	0.00
HČSP	27,801	1.10	0	0.00	0	0	0.00
その他	123,562	4.89	0	0.00	0	0	0.00
無所属	11,194	0.44	0	0.00	2	2	2.94
合計	2,529,412	100.00	63	100.00	5	68	100.00

## クロアチア大統領選挙結果

### 1992年選挙

●第1回投票(1992年8月2日)=確定

登録有権者	3,575,032
投票用紙発行数	
投票数	2,677,764
投票率	74.90
有効投票数	2,627,061
有効投票率	98.11

候補者名	有効投票数	得票率%	備考
Franjo Tuđman	1,519,100	56.73	HDZ
Dražen Budiša	585,535	21.87	HSLs
Savka Dabčević-Kučar	161,242	6.02	HNS
Dobroslav Paraga	144,695	5.40	HSP
Silvije Degen	108,979	4.07	SSH
Marko Veselica	45,593	1.70	HDS
Ivan Cesar	43,134	1.61	HKDS
Antun Vujčić	18,783	0.70	SDH
合計	2,627,061	100.00	

### 1997年選挙

●第1回投票(1997年6月15日)=確定

登録有権者	4,061,479
投票用紙発行数	
投票数	2,129,720
投票率	57.81
有効投票数	2,090,546
有効投票率	98.16

候補者名	有効投票数	得票率%	備考
Franjo Tuđman	1,256,883	60.12	HDZ
Zdravko Tomac	455,496	21.79	SDP
Vlado Gotovac	378,167	18.09	HSLs
合計	2,090,546	100.00	

## 2000年選挙

### ●第1回投票(2000年1月24日)=確定

登録有権者	4,251,109
投票用紙発行数	
投票数	2,677,561
投票率	62.98
有効投票数	2,664,349
有効投票率	99.51

候補者名	有効投票数	得票率%	備考
Stjepan Mesić	1,100,671	41.11	HNS
Dražen Budiša	741,837	27.71	HSLs, SDP
Mate Granić	601,588	22.47	HDZ
Slaven Letica	110,782	4.14	無所属
Anto Đapić	49,288	1.84	HSP
Ante Ledić	22,875	0.85	無所属
Tomislav Merčep	22,672	0.85	Hrvatska pučka stranka
Ante Prkačin	7,401	0.28	Nova Hrvatska
Zvonimir Šeparović	7,235	0.27	無所属
合計	2,664,349	100.00	

## 2000年選挙

### ●第2回投票(2000年2月7日)

登録有権者	4,252,921
投票用紙発行数	
投票数	2,589,120
投票率	60.88
有効投票数	2,559,341
有効投票率	98.85

候補者名	有効投票数	得票率%
Stjepan Mesić	1,433,372	56.01
Dražen Budiša	1,125,969	43.99
合計	2,559,341	100.00

## 2005年選挙

### ●第1回投票(2005年1月2日)

登録有権者	4,403,933
投票用紙発行数	
投票数	2,227,073
投票率	50.57
有効投票数	2,206,804
有効投票率	99.09

候補者名	有効投票数	得票率%	備考
Stjepan Mesić	1,089,398	48.92	SDP, HNS, HSS, IDS, Libra, LS, PGS, SDAH
Jadranka Kosor	452,218	20.31	HDZ
Boris Mikšić	396,093	17.79	無所属
Đurđa Adlešić	59,795	2.68	HSLs
Slaven Letica	57,748	2.59	無所属
Ljubo Česić	41,216	1.85	無所属
Ivić Pašalić	40,637	1.82	HB
Anto Kovačević	19,145	0.86	HKDU
Miroslav Blažević	17,847	0.80	Stranka hrvatskih branitelja
Miroslav Rajh	14,766	0.66	Hrvatska stranka mladih
Doris Košta	8,271	0.37	無所属
Mladen Kešer	7,056	0.32	無所属
Tomislav Petrak	2,614	0.12	Hrvatska pučka stranka
合計	2,206,804	100.00	

## 2005年選挙

### ●第2回投票(2005年1月16日)

登録有権者	4,392,220
投票用紙発行数	
投票数	2,241,760
投票率	51.04
有効投票数	2,206,143
有効投票率	98.41

候補者名	有効投票数	得票率%
Stjepan Mesić	1,454,451	65.93
Jadranka Kosor	751,692	34.07
合計	2,206,143	100.00

## 2009/ 2010年選挙

### ●第1回投票(2009年12月27日)

登録有権者	4,495,233
投票用紙発行数	
投票数	1,975,909
投票率	43.96
有効投票数	1,954,441
有効投票率	98.94

候補者名	有効投票数	得票率%	備考
Ivo Josipović	640,594	32.42	SDP
Milan Bandić	293,068	14.83	無所属
Andrija Hebrang	237,998	12.04	HDZ
Nadan Vidošević	223,892	11.33	無所属
Vesna Pusić	143,190	7.25	HNS
Dragan Primorac	117,154	5.93	無所属
Miroslav Tuđman	80,784	4.09	無所属
Damir Kajin	76,411	3.87	IDS
Josip Jurčević	54,177	2.74	無所属
Boris Mikšić	41,491	2.10	無所属
Vesna Škale Ožbolt	37,373	1.89	無所属
Slavko Vukšić	8,309	0.42	Demokratska stranka Slavonske ravnice
合計	1,954,441	100.00	

## 2010年選挙

### ●第2回投票(2010年1月10日)

登録有権者	4,495,528
投票用紙発行数	
投票数	2,253,570
投票率	50.13
有効投票数	2,222,607
有効投票率	98.64

候補者名	有効投票数	得票率%
Ivo Josipović	1,339,385	60.26
Milan Bandić	883,222	39.74
合計	2,222,607	100.00

## データの出典

### 選挙結果

- 1990年議会 Hrvoje Šošić, Hrvatski politički leksikon, 2 vols., Rijeka, 1993.
- 1992年議会 [http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/6FBD76086B900622C1257455003AA02F/\\$FILE/1992\\_zastupnicki%20dom.pdf](http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/6FBD76086B900622C1257455003AA02F/$FILE/1992_zastupnicki%20dom.pdf)
- 1992年議会(少数民族) [http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/91AF7571AD9C42DCC1257455003AA6E9/\\$FILE/1992\\_zastupnicki%20dom\\_manjine.pdf](http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/91AF7571AD9C42DCC1257455003AA6E9/$FILE/1992_zastupnicki%20dom_manjine.pdf)
- 1993年県院 [http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/2B8EA1C6D5437A2CC1257455003AAFD4/\\$FILE/1993\\_županijski%20dom.pdf](http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/2B8EA1C6D5437A2CC1257455003AAFD4/$FILE/1993_županijski%20dom.pdf)
- 1995年議会 [http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/F8BF1E1A0813C7F9C1257455003AC3CA/\\$FILE/1995\\_zastupnicki%20dom.pdf](http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/F8BF1E1A0813C7F9C1257455003AC3CA/$FILE/1995_zastupnicki%20dom.pdf)
- 1995年議会(少数民族) [http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/E2925E46AF6F2E7EC1257455003ACEC7/\\$FILE/1995\\_zastupnicki%20dom\\_manjine.pdf](http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/E2925E46AF6F2E7EC1257455003ACEC7/$FILE/1995_zastupnicki%20dom_manjine.pdf)
- 1997年県院 [http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/9AE655F84501F7B6C1257455003AD695/\\$FILE/1997\\_županijski%20dom.pdf](http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/9AE655F84501F7B6C1257455003AD695/$FILE/1997_županijski%20dom.pdf)
- 2000年議会 [http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/E0BD2CFECC7C8272C1257455003ADD5C/\\$FILE/2000\\_zastupnicki%20dom.pdf](http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/E0BD2CFECC7C8272C1257455003ADD5C/$FILE/2000_zastupnicki%20dom.pdf)
- 2000年議会(少数民族) [http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/9CB42BC09406E0DAC1257455003AE29F/\\$FILE/2000\\_zastupnicki%20dom\\_manjine.pdf](http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/9CB42BC09406E0DAC1257455003AE29F/$FILE/2000_zastupnicki%20dom_manjine.pdf)
- 2003年議会 [http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/A0357A6F0F63B6FCC1257455003AF016/\\$FILE/2003\\_Hrvatski%20sabor.pdf](http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/A0357A6F0F63B6FCC1257455003AF016/$FILE/2003_Hrvatski%20sabor.pdf)
- 2003年議会(少数民族) [http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/B029AA2A4DFD526CC1257455003AF8F4/\\$FILE/2003\\_Hrvatski%20sabor\\_manjine.pdf](http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/B029AA2A4DFD526CC1257455003AF8F4/$FILE/2003_Hrvatski%20sabor_manjine.pdf)
- 2007年議会 [http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/EEE1D5E6E334687CC1257455003AFF37/\\$FILE/2007\\_Hrvatski%20sabor.pdf](http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/EEE1D5E6E334687CC1257455003AFF37/$FILE/2007_Hrvatski%20sabor.pdf)
- 2007年議会(少数民族) [http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/232D1A10F1873303C1257455003B0442/\\$FILE/2007\\_Hrvatski%20sabor\\_manjine.pdf](http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/232D1A10F1873303C1257455003B0442/$FILE/2007_Hrvatski%20sabor_manjine.pdf)
- 1995年～2007年議会(ディアスポラ) [http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/C1F4DB72075F0AF8C1257455003ABB31/\\$FILE/1995-2007\\_dijaspora.pdf](http://www.izbori.hr/izbori/ipFiles.nsf/0/C1F4DB72075F0AF8C1257455003ABB31/$FILE/1995-2007_dijaspora.pdf)

- 1992年大統領 Mirjana Kasapović, ed., Hrvatska politika 1990.-2000., Zagreb, 2001.
- 1997年大統領 Mirjana Kasapović, ed., Hrvatska politika 1990.-2000., Zagreb, 2001.
- 2000年大統領第1回 <http://www.izbori.hr/2000Pred/Pred1Krug.htm>
- 2000年大統領第2回 <http://www.izbori.hr/2000Pred/Pred2Krug.htm>
- 2005年大統領第1回 <http://www.izbori.hr/2005Pred/index.html>
- 2005年大統領第2回 <http://www.izbori.hr/2005Pred/index.html>
- 2005年大統領(全般) Narodne novine, br.16/2005, 295.
- 2009/10年大統領第1回 <http://www.izbori.hr/2009Predsjednik/indexr.html>
- 2009/10年大統領第2回 <http://www.izbori.hr/2009Predsjednik/indexr.html>
- 2009/10年大統領(全般) Narodne novine, br.8/2010, 180.

政党概要(他にデータベース記載の政党ホームページを参照)

Stranke u Jugoslaviji, Beograd, 1990.

Stranke u Hrvatskoj, Zagreb, 1990.

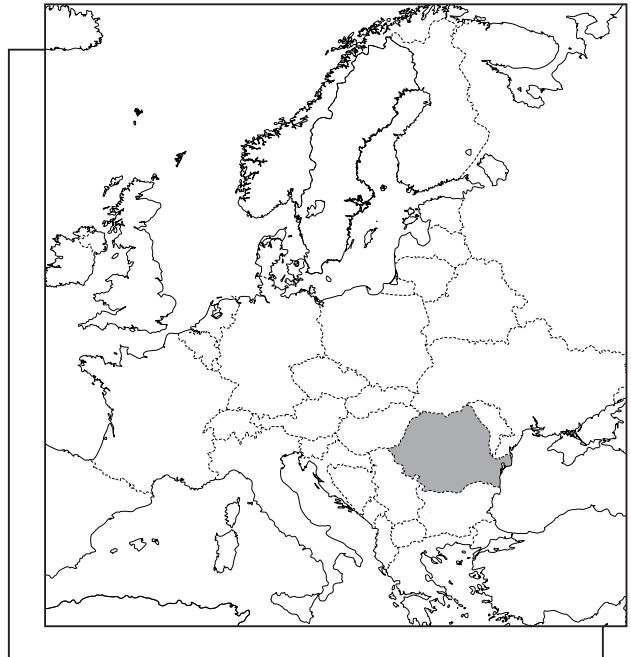
Političke stranke u Republici Hrvatskoj, Zagreb, 1997.

Političke stranke u Republici Hrvatskoj od 1995. do 1999. godine, Zagreb, 1999.

Izbori: duh stranaka i duše političara. Vodič kroz hrvatsku političku scenu, Zagreb, 2003.

Političke stranke u Republici Hrvatskoj, 13/2009, Zagreb, 2009.

HIDRA: Hrvatska informacijsko-dokumentacijska referalna agencija. (<http://www.hidra.hr/>)



## ルーマニア政党・選挙データ

### 1. 政治制度と選挙制度

- 1-1 議会制度と議会選挙
- 1-2 大統領選挙

### 2. 主要政党の概要

- 2-1 CDR
- 2-2 FSN
- 2-3 PAC
- 2-4 PC
- 2-5 PD-L
- 2-6 PNL
- 2-7 PNȚCD
- 2-8 PRM
- 2-9 PSD
- 2-10 PUNR
- 2-11 UDMR

### 3. 歴代大統領

### 4. 歴代内閣

### 5. 資料



# 1 政治制度と選挙制度

## 1-1 議会制度と議会選挙

### 議会制度のあらまし

ルーマニアでは、戦間期の伝統を理由として下院 (Camera Deputaților) と上院 (Senatul) から成る二院制が導入された。しかし、上院の選出方法・任期 (解散も同時)・権限は下院とほぼ同一で、両院間での複雑な修正・調停過程が含まれていたため (頻繁な合同会議)、迅速な立法を困難にしていた。この結果、2003年の憲法改正により、法案を条約・組織法関連とそれ以外に区分し、下院に前者、上院に後者の先議権・優越権が付与された。なお、法案可決のためには、組織法に関しては総議員の過半数の賛成、それ以外の法案に関しては出席議員の過半数の賛成が必要である。選挙権については両院ともに18歳以上、被選挙権については下院が23歳以上、上院が35歳以上と定められている。

### 1990年選挙

1990年選挙法に基づき、下院・上院ともに、県及びブクレシュチ市を単位とした42選挙区から、拘束名簿式比例代表制で選出された。議席については、まず各選挙区でヘアー式当選基数を用いて配分が行われる。次に、残余の票は全国レベルで政党別に集計され、ドント式で配分未了議席が割り振られる。阻止条項は存在せず。少数民族に関しては、下院選挙で必要な得票数に達しなかった場合、①議員1人当たりの平均得票数の10%の得票と、②当該民族を代表する最多得票の組織のみという条件のもとで、下院に1議席を与えると規定された。

### 1992及び1996選挙

選挙区に変更はないが、定数に関し、下院の場合、各選挙区7万人につき1議席、上院の場合各選挙区16万人につき1議席と規定された。1992年選挙から阻止条項が導入され、議席獲得には全国で有効投票数の3%以上の得票が必要とされた。また、少数民族条項も若干変更され、条件①は、議員1人当たりの平均得票数の5%の得票に引き下げられた。選挙形式等、その他の変更なし。

### 2000年及び2004年選挙

阻止条項が引き上げられ、議席獲得には、単独の場合でも全国で5%以上の得票が必要とされ、政党連合の場合は、2党で8%、3党で9%、4党以上では10%以上の得票が必要となった。選挙形式等、その他の変更なし。

### 2008年選挙

選挙形式が大幅に改められ、小選挙区比例代表併用制が導入された。まず、有権者は1票のみをもち、小選挙区 (上院137、下院315) の候補者に投票する。これは県ごとのブロック単位で各政党の得票としても集計され、比例代表制に基づき議席が配分される。これからまず、小選挙区で絶対多数を獲得した候補者を当選させ、以下得票率の高い順に当選させていく。小選挙区で絶対多数を獲得した候補者には必ず議席が与えられるため、政党が比例代表制による配分以上の議席を獲得する場合も存在する。また、少数民族条項に関しても、条件①が、

各小選挙区の有効投票数の平均値の10%以上を、全国合計で獲得した場合に変更された。阻止条項については、変更なし。

## 1-2 大統領選挙と大統領・議会関係

大統領の選出方法に関しては、1992年の大統領選挙法及び2004年の大統領選挙法により定められている。大統領は国民の直接選挙により選出され、任期は5年(2003年までは4年)で、三選は認められていない。選挙権を有するのは18歳以上のルーマニア市民であり、被選挙権を有するのは35歳以上のルーマニア市民で、有権者10万人以上の推薦署名を集めた者とされる。選挙は2回投票制で、1回目の投票で有権者の過半数の票を得た候補がいなかった場合には、上位2名による決選投票が行われ、そこで得票の多い者が選出される。

大統領の憲法上の権限としては、首相候補の指名、議会解散、外交・防衛に関する権限が重要である。首相候補の指名に関しては、議会による信任投票が義務づけられている上に、過半数を占める政党、それがなければ各政党との協議を行うと規定されているため、議会の意向に沿った人選が必要となる。大統領の首相罷免権は、2003年の憲法改正により明確に否定された。議会解散は、新内閣の信任が60日以内に二度否定された場合に限定されている上に、年一度のみで、任期最後の6か月は行使できないなど、厳しい制約がある。また、大統領は、一度だけ法案を議会に差し戻すか、憲法裁判所にその合憲性の審議を求めることができる。

一方、大統領が重大な憲法違反を犯したと見なされた場合、両院合同会議での総議員の過半数の賛成と憲法裁判所の判断により職務停止が行われ、国民投票の過半数の賛成によって罷免が確定する。

## 2 主要政党の概要

\*本文中の得票率・議席数は、いずれも下院に関するデータ。

### 2-1 CDR (**Convenția Democrată din România**): ルーマニア民主会議

中道右派政党による選挙連合。体制転換後初の総選挙・大統領選挙(1990年5月)での救国戦線FSNの圧勝や、同政権による非民主的な政治手法に危機感を強めた野党勢力や市民運動は、90年の後半に協力へ向けて動き出した。その最初のステップが、1990年10月に市民連合(AC)を始めとする市民団体により結成された「ルーマニア・反全体主義市民フォーラム Forumul Democratic Antitotalitar din România (FDAR)」である。次いで、1990年12月には、民主化を求める野党勢力、PNȚCD、PNL、PSDR、ルーマニア環境党(PER)、UDMRによって、「民主主義樹立のための国民会議 Convenția Națională pentru Instaurarea Democrației (CNID)」が結成された。そして、1992年2月の地方選挙を前にして、CNIDとFDARを構成する諸政党・団体による選挙連合として設立されたのが、「ルーマニア民主会議(CDR)」である。直後の地方選挙で都市部を中心に善戦したCDRは、1992年総選挙・大統領選挙では、第二党の地位(得票率20%)を確保するとともに、その大統領候補エミール・コンスタンティネスク(Emil Constantinescu)も第二位の票を得た(決選投票でイリエスクに敗北)。他方で、1994年から

翌年にかけて、組織改革をめぐる内紛が激化し、1995年の春にPSDRとPL'93、PACがCDRを離脱、UDMRもハンガリー系少数民族の利益が十分に反映されないとして、CDRの枠外での活動を選択した。

しかし、1996年総選挙・大統領選挙を前にして求心力を取り戻したCDRは、再びコンスタンティネスクを大統領候補に擁立するとともに、政権交代後の改革プログラムである「ルーマニアとの契約」を発表し、選挙準備を進めた。その結果、1996年6月の地方選挙では、得票率で与党PSDRと並ぶとともに(ともに26.3%)、CDRの候補ヴィクトル・チョルビヤ(Victor Ciorbea)がブクレシュチ市長に当選した。そして、同年末に行われた総選挙・大統領選挙では、第一党に躍進(得票率30.2%)し、CDRの大統領候補コンスタンティネスクも決選投票でイリエスクを制した(構成政党間の議席配分は、PNȚCD:83、PNL:23、PNL-CD:5、PER:2、ルーマニア選択党 [PAR]:6、ルーマニア環境連盟 [FER]:1)。

総選挙の結果を受けて、CDRは、大統領選挙で協力を受けた「社会民主連合(USD)」(民主党PDとPSDRの選挙連合)及びUDMRと連立を組み、チョルビヤを首班とする内閣を発足させた。CDR政権は、ハンガリー系少数民族との関係改善や司法の独立性強化、経済改革などに着手したが、当初から「政党連合の連立政権」という脆弱性を抱えていた。とりわけ、経済危機やNATO・EUの第一次東方拡大からの除外などにより求心力が低下し、連立政権内及びCDR内の対立が表面化した結果、チョルビヤ内閣からヴァシレ内閣、さらにはイサレスク内閣へと、内閣の交代が相次いだ。この間、CDRからはPARとPNLが離脱し、2000年6月の地方選挙の時点での構成政党は、PNȚCDとPER、FERのみとなった。この地方選挙で敗北を喫したCDRは、同年の総選挙・大統領選挙を前にして、再び、中道右派の結集を試みることになる。

その結果、CDRを構成していたPNȚCD・FERと、「右派連合Uniunea Forțelor de Dreapta」(PARの後継政党)、「キリスト教民主国民連合Alianța Națională Creștin Democrată」、「モルドヴァ人党Partidul Moldovenilor」によって、2000年8月、「ルーマニア民主会議・2000/Convenția Democrată Română 2000(CDR2000)」が結成された。しかし、同年末に行われた総選挙・大統領選挙では、阻止条項(4党以上による選挙連合の場合10%)を突破することができず(得票率5%)、議席を喪失し、選挙直後にCDR2000も解散した。

## 2-2

### FSN (Frontul Salvării Naționale):

#### 救国戦線

1989年12月の革命時に出現し、チャウシェスク体制崩壊直後の権力真空を埋めたのが救国戦線(FSN)である。救国戦線には旧共産党幹部、テクノクラート、反体制知識人など様々な勢力が参加していたが、短期間でヨン・イリエスク(Ion Iliescu)を中心とする旧共産党エリートが主導権を握った。FSNは当初は立法権・行政権を独占する暫定統治機構として組織され、その緊急命令により12月末にペトレ・ロマン(Petre Roman)暫定内閣が組織された。しかし、FSNは、1990年1月23日に、政党として選挙に参加することを表明し、大統領候補としてイリエスクを指名した。

態勢を整えた上で、1990年5月の総選挙・大統領選挙に臨んだFSNは、66.3%の得票で3分の2以上の議席を確保するとともに、大統領選挙もイリエスクが大差で制した(得票率85.1%)。この結果、ロマンを首相とする内閣が発足したが、FSN内部では、経済改革の速度と内容をめぐり、急進的改革を主張するロマン派と、手厚い社会保護をとまなう漸進的改

革を主張するイリエスク派の対立が表面化した。ロマンは、大統領との対立や炭鉱労働者の示威行動などにより1991年10月に退陣を余儀なくされ、テオドル・ストロジャン(Theodor Stolojan)を首班とする新内閣が成立した。

この後、両派の対立は激化し、最終的に、1992年3月の党大会においてFSNは分裂した。この党大会で、ロマンは、自派の綱領案の採択に成功し、党首に選出されたが、これに反発したイリエスク派が大挙して離党し、「民主救国戦線 Frontul Democrat al Salvării Naționale(FDSN)」を旗揚げするに至ったからである。

(分裂後のFSNについては、PD-L及びPSDの項を参照)

## 2-3 PAC(Partidul Alianței Civice): 市民連合党

市民運動に由来する中道右派政党。母体となったのは、1990年11月に民主化の推進や市民社会の発展を掲げ、多数の市民団体を糾合して結成された「市民連合Alianța Civică(AC)」である。ACは、FSN政権に対する抗議行動を組織したが、十分な成果を上げることができなかったため、1991年7月に大会を開き、同組織の原則を政治面で支持する政党としてPACの創設を決定した(ただし、あくまでも別組織)。PACは、1992年2月のCDR結成に参加し、同年9月に行われた総選挙では、CDR全体で20%の票を得て、PACも13議席を獲得した。しかし、CDRの組織改革をめぐる提案が拒否されたことから、同党は1995年にCDRを離脱した。その後、やはりCDRを離脱したPL'93と選挙連合「自由国民連合Alianța Național Liberală」を組んで1996年総選挙に臨んだものの、3%の阻止条項を突破することができず議席を失った。その後、CDRへの復帰を模索し、最終的には1998年3月、PNLに吸収合併された。

## 2-4 PC(Partidul Conservator) ← PUR (Partidul Umanist din România): 保守党 ← ルーマニア人道党 <<http://www.partidulconservator.ro/>>

主要テレビ局を含むメディア・グループの創設者であるダン・ヴォイクレスク(Dan Voiculescu)の個人政党という性格が濃厚。イデオロギー・政策位置は曖昧であるが、経済面では中小企業の保護育成を重視し、文化面では保守的立場をとることが多い。

PCの前身である「ルーマニア人道党(PUR)」は、1991年12月にヴォイクレスクにより創設されたが、90年代を通じて党勢は低迷していた。1992年の総選挙には参加せず、初めて参加した1996年の総選挙も惨敗に終わった(得票率0.9%)。しかし、2000年の総選挙を前にして、PDSR及びPSDRと選挙連合「ルーマニア民主社会連合Polul Democrat Social din România(P.D.S.R.)」を組んだことにより転機が訪れた。この選挙では、P.D.S.R.の得票は36.6%に達し、PURも6議席を獲得した。これ以降、PDSR(PSD)との選挙連合が、PURの選挙戦術の基調となる。また、P.D.S.R.の候補イリエスクが大統領に当選したことにより、2000年12月にPDSRのナスタセ内閣が成立し、PURも参加した(2003年6月に連立離脱)。

連立離脱以降はPSDとの関係も悪化したが、2004年の総選挙を前にして、再びPSDとPURの間で協定が結ばれ、統一名簿で選挙に臨むことになった。総選挙では、PSDとPURの連合が第一党の地位を確保し、PURも19議席を獲得したが、大統領選挙では同連合の候補ナスタセがADAの候補バセスクに敗北した。この結果、PURは連合相手をADAへと転換し、ADAのポベスク＝タリチャヌ内閣に参加することになった。これ以降、2005年5月には党名を「保守党(PC)」に改め、2006年2月には右翼政党PUNRを吸収合併するなど、保守的性



格を次第に強めた。また、連立与党内での埋没を危惧したPCは、2006年12月に野党に転じた。

これ以降、再びPSDとの関係を強めたPCは、2008年の地方選挙・総選挙に備えて、PSDとの協定を締結した。総選挙では、PSDとPURの連合は33.1%の票を獲得したが、PCは4議席にとどまった。

## 2-5

PD-L (**Partidul Democrat-Liberal**) ← PD (**Partidul Democrat**) ← FSN:  
民主自由党 ← 民主党 ← 救国戦線 <<http://www.pd-l.ro/>>

FSNの後継政党で、90年代には中道左派であったが、2000年代半ばに中道右派にシフト。1992年3月に開かれたFSNの党大会で、ロマン派はイリエスク派に勝利を取めたものの、後者が離脱してFDSNを結成したため、FSNの党勢は大打撃を受けた。この結果、同年9月の総選挙・大統領選挙では、10.2%の得票にとどまり、FSNは下野することになった。党勢を立て直しを模索するFSNは、まず、1993年3月、議席を持たない小政党「民主党」を吸収合併することで、党名を「民主党(PD)」に改めた(合併時の正式名称は、「民主党・救国戦線Partidul Democrat-Frontul Salvării Naționale」)。次いで、1995年3月には、次期総選挙に備えて、ルーマニア社会民主党とともに「社会民主連合Uniunea Social-Democrată (USD)」を結成し、社民勢力の提携を強化した。

1996年の総選挙では、USDは12.9%の得票で53議席(PDは43議席)を得るとともに、大統領選挙ではPD党首のペトレ・ロマンが20.5%の得票で三位につける健闘を見せた。決選投票でCDRの候補コンスタンティネスクの支持に回ったUSDは、彼が大統領に当選すると、CDRを中心とする連立政権に加わることになった。PDは、チョルビヤ及びヴァシレ内閣では6つ、イサレスク内閣では5つの閣僚ポストを得るなど、連立内で重要な役割を果たしたが、他の与党との対立から、たびたび内閣危機を引き起こした。また、1999年5月には、ルーマニア社会民主党がPDとの協定を破棄したことによって、USDは消滅した。

PDは2000年春の地方選挙に単独で臨むことになったが、同党のトライアン・バセスク(Traian Băsescu)がブクレシュチ市長に当選するなど健闘を見せた。しかし、同年11月の総選挙では得票率が7%に下降した上に、大統領選挙ではロマンが惨敗を喫した(得票率3%弱)。この結果、党内対立が激化し、2001年5月の党大会では、バセスクがロマンに大差をつけて新党首に選出され、指導部の大幅な交代が生じることになった。バセスクのリーダーシップの下、とりわけエミール・ボク(Emil Boc)の執行議長就任以降、PDの政策位置は中道左派から中道右派へと急速にシフトした。これと並行して、PSDからの政権奪還を目指す中道右派の結集の動きが本格化し、それは、2003年9月に、PNLとの「正義と真実連合(Aliața Dreptate și Adevăr(ADA))」結成という形で結実した。

2004年の総選挙・大統領選挙では、ADAは、所得税・法人税の16%一律税制導入など明確な市場指向の政策を打ち出すとともに、バセスクという有力候補の擁立に成功し、31.3%の得票で中道左派のPDSRに肉迫した(PDは48議席)。さらに、大統領選挙でバセスクが当選した結果、PNLのポベスク＝タリチャヌが首相に指名され、ADAにUDMRとPURを加えた連立政権が発足した。しかし、政権発足直後から徐々に大統領と首相の関係は冷却化し、2006年には公然たる対立関係に陥った。2007年4月には、首相ポベスク＝タリチャヌは、遂にPD出身の大臣をすべて更迭し、少数派内閣を組織した。

PDは下野したものの、大統領与党としての存在感を発揮し、2007年12月には、PNLの離党者から成るPLDを吸収合併して、党名を「民主自由党(PD-L)」に改めた。党勢を強化して

2008年の総選挙に臨んだPD-Lは、32.3%の得票で115議席を獲得し、第一党に躍り出た。この結果、第二党となったPSDとの間で連立協定が締結され、2008年12月にPD-L党首エミール・ボクを首班とする大連立政権が誕生した。連立与党内には、発足直後から緊張関係が存在したが、それは2009年11月の大統領選挙が近づくとつれて公然たる対立へと転化した。この結果、2009年10月、PSD所属の内相が解任されたことを契機にPSDが連立を離脱、ボクはPD-L単独の少数派内閣を組織することになった。しかし、直後に内閣不信任案が可決され、ボク内閣は総辞職を余儀なくされた。これ以降、大統領選挙まで新内閣は成立せず、ボクの暫定内閣が継続することになる。

そして、2009年11-12月に行われた大統領選挙では、決選投票でPD-LのバセスクがPSDのミルチャ・ジョアーナを僅差で破り、再選を果たした。この結果、バセスクは再度、ボクを首班に指名、ボクはPD-Lに加えてUDMRと無所属議員の支持を受ける形で、同年12月に新内閣を発足させた。

## 2-6

### PNL (**Partidul Național Liberal**): 国民自由党

〈<http://www.pnl.ro/>〉

19世紀後半に結成された国民自由党 (PNL) に由来する中道右派政党。1875年創設されたPNLは、戦間期までに通算で37年余に及ぶ政権担当期間を誇る、文字通りの支配政党であった。1938年の国王独裁の樹立によって、公式の活動を禁じられたが、1944年8月以降、全面的に活動を再開し、短期間政権に参加した。しかし、1947年の夏以降、共産党が主導権を握る政府による野党勢力への弾圧が強化され、PNLも活動停止に追い込まれた。

1989年12月の「革命」直後から、IHPNLのメンバーによる党復活に向けた動きが活発化し、1990年1月、正式にPNLは再建され、直後の党大会でラドゥ・クンピャヌ (Radu Câmpeanu) が党首に選出された。1990年の総選挙・大統領選挙では、準備不足ながら6.4%の得票で第三党になるとともに、大統領候補クンピャヌも次点につけた(得票率10.6%)。しかし、PNLは90年代前半に、世代対立や政権戦略の相違から多くの分裂を経験することになる。

まず、長老を中心とする指導部に反発した若手幹部が離党して、1990年7月に「国民自由党・青年派Partidul Național Liberal-Aripa Tânără (PNL-AT)」を旗揚げした。その後、PNLは中道右派の野党勢力を糾合したCDRに参加したものの、FSNを主体とするストロジャン連立内閣にも参加するなど、FSNへの協力姿勢も示した。結局、1992年の総選挙・大統領選挙を前にして、CDRを離脱し、単独で選挙に臨んだが、3%の阻止条項を突破できず議席を失った。また、CDRから離脱する際、CDRへの残留を主張するグループが離党し、「国民自由党・民主会議Partidul Național Liberal-Convenția Democratică (PNL-CD)」が結成された。この時期、主導権を握っていたのは分離したグループであり、PNL-ATとPNL-CDはCDRの枠内で、それぞれ11議席と3議席を確保するとともに、PNL-ATはさらなる離党者を吸収し、1993年2月には「自由党・1993/Partidul Liberal 1993(PL'93)」に改組された(さらに、PNL-CDとPL'93は、1997年6月に合同し、「自由党Partidul Liberal(PL)」に改組された)。

一方、PNLも、新党首に選出されたヨネスク＝キンタス (Mircea Ionescu-Quintus) の下で徐々に再建が進み、1994年12月にはCDRに復帰した。その結果、1996年総選挙・大統領選挙ではCDRの枠内で25議席を獲得し、政権に参加した。さらに、PNLはCDR政権期中道右派の結集を試みて、1998年3月にまずPACを、次いで1998年7月にはPLを吸収合併し

た。再統合に成功したPNLは、CDR内での自己主張を強め、2000年春にCDRから離脱した。同年11月の大統領選挙では、新加入の元首相ストロジャンを擁立して三位につけるとともに、総選挙でも6.9%の得票で30議席を獲得した。2000年末にPDSRのナスタセ内閣が成立すると、当初は政策協定を結ぶなど協力姿勢を示していたが、次第に対決色を強めた。2003年以降中道右派の幅広い結集を模索し、それはPDとの「正義と真実連合 (Alianța Dreptate și Adevăr (ADA))」結成という形で結実した。

2004年の総選挙・大統領選挙では、ADAは、所得税・法人税の16%一律税制導入など明確な市場指向の政策を打ち出すとともに、PD党首でブクレシュチ市長のトライアン・バセスクという有力候補の擁立に成功し、31.3%の得票で中道左派のPDSRに肉迫した (PNLは64議席)。さらに、大統領選挙でバセスクが当選した結果、PNLのポベスク＝タリチャーヌ (Călin Popescu-Tăriceanu) が首相に指名され、ADAにUDMRとPURを加えた連立政権が発足した。しかし、政権発足直後から徐々に首相と大統領の関係は冷却化し、2006年には公然たる対立関係に陥った。この結果、PNLから大統領及びPDとの緊密な協力を主張するグループが離党し、2006年末に「自由民主党Partidul Liberal Democrat (PLD)」を結成した。2007年4月には、首相ポベスク＝タリチャーヌは、遂にPD出身の大臣をすべて更迭し、PNLとUDMRによる少数派内閣を組織するに至る。

4年間の政権実績を掲げ2008年の総選挙に臨んだPNLは、18.6%の得票で65議席を獲得したものの、第一党 (PD-L) と第二党 (PSD) による大連立政権が発足したことにより下野した。その後、2009年の大統領選挙では、党首のクリン・アントネスク (Cristian Antonescu) が第一回投票で22%の票を得て三位につけたが、決選投票で支持に回ったPSDの候補ジョアーナが敗北したため、政権復帰を果たせなかった。

## 2-7

### PNȚCD (Partidul Național Țărănesc Creștin Democrat):

国民農民キリスト教民主党 <<http://www.pntcd.eu/>>

戦間期に結成された国民農民党 (PNȚ) に由来する中道右派政党。PNȚは、1926年10月に農民党と民族党の合同により誕生し、戦間期の1928～31年、1932～33年に政権を担当したが、1938年の国王独裁の樹立によって、公式の活動を禁じられた。1944年8月以降、全面的に活動を再開し、短期間政権に参加したが、共産党の主導権掌握に伴い政権から排除され、1947年7月に解散させられた。

1989年12月に「革命」が勃発すると、旧PNȚのメンバーであったC・コポス (Corneliu Coposu)、I・ディアコネスク (Ion Diaconescu) らは即座に再建に着手し、キリスト教民主党 (PCD) と合同して、1990年1月、正式に「国民農民キリスト教民主党 (PNȚCD)」を発足させた。1990年の総選挙・大統領選挙では、準備不足や野党勢力の分裂もあり、得票率2.6%に止まった。危機感を抱いたPNȚCDは、中道右派の野党勢力結集 (CDR結成) に中心的役割を果たすとともに、CDRからPNLが離脱して以降は、一貫してCDRの中で主導的役割を果たすことになった。そして、1992年の総選挙・大統領選挙ではCDR全体で20%の票を得て、PNȚCDも41議席を獲得した。

続く1996年総選挙・大統領選挙では、CDRが第一党に躍進するとともに、PNȚCDも83議席を獲得し、CDR内の最大勢力となった。この結果、同党は、CDR政権期に最多の閣僚と二人の首相 (ヴィクトル・チョルビヤ、ラドゥ・ヴァシレ) を輩出することになった。しかし、いずれの場合でも首相と与党の関係は次第に悪化し、連立政権内の対立を契機として、



PNTCD指導部は最終的に両首相への支持を撤回して退陣に追い込んだ。他方、辞職を余儀なくされたチョルビヤとヴァシレは、離党して新党を結成することになる（前者がキリスト教民主国民連合Alianța Națională Creștin Democrată、後者がルーマニア人民党Partidul Popular Român）。続くイサレスク内閣でもPNTCDは中心的役割を果たしたが、一連のCDR政権に対する批判は主として同党に向けられることになり、上述した党分裂と相俟ってPNTCDへの支持は急落した。

この結果、選挙連合CDR2000を結成して臨んだ2000年の総選挙・大統領選挙において、得票率は5%に止まり、初めて議席を失うことになった。この後、2004年・2008年の総選挙でも議席獲得に失敗するなど、党勢は長期間低迷している。

## 2-8

### PRM (Partidul România Mare): 大ルーマニア党

〈<http://www.prm.org.ro/>〉

急進的な民族主義政党。経済面では国家の役割を強調。1991年6月、民族主義的な週刊誌『大ルーマニア』の編集者であった、C・V・トゥドル(Corneliu Vadim Tudor)やE・バルブー(Eugen Barbu)などを中心に創設された。結党後初の国政選挙となった1992年総選挙で一定の成果(得票率3.9%)を収めたPRMは、FDSNのヴァカロイウ内閣と当初は非公式な形で、1995年1月以降は正式な政治協定を結び連立を組んだ。続く1996年総選挙でも安定した支持を獲得し(得票率4.5%)、PUNRから離党したギョルゲ・フナル(クルージュ市長)を中心とするグループを吸収するなどして、右翼陣営における主導権を確立した。

2000年の総選挙・大統領選挙では第二党に躍進(得票率19.5%)するとともに、党首のトゥドルが大統領選の決選投票に進出するなど、党勢はピークを迎えた。しかし、2000年代に入り、ルーマニアのEU加盟交渉が本格化する中で、同党は一貫して政権交渉から排除されることになった。これ以降、PRMも急進的な民族主義的主張を徐々にトーンダウンさせるようになる。2004年総選挙では一定の勢力を維持したものの(得票率12.9%)、その後党勢は振るわず、2008年総選挙では、結党以来、初めて議席を失うことになった。

## 2-9

### PSD(Partidul Social Democrat)

←PDSR(Partidul Democrației Sociale din România) ← FDSN

社会民主党 ← ルーマニア民主社会党 ← 民主救国戦線 〈<http://www.psd.ro/>〉

FSNの後継政党で、イデオロギー・政策位置は中道左派。1992年3月に開かれたFSNの党大会でFSNから分裂したイリエスク派によって結成されたのが、PDSR(PSD)の前身「民主救国戦線 Frontul Democrat al Salvării Naționale(FDSN)」である。FDSNには両院合わせて125人の議員や多数の現職閣僚が参加するなど、当初から議会内で一大勢力を形成し、1992年総選挙では34.3%の得票で第一党に躍り出た。大統領選挙でもFDSNの候補イリエスクが再選を果たしたため、FDSNのニコラエ・ヴァカロイウ(Nicolae Văcăroiu)内閣が発足したが、過半数を得ていなかったため、民族主義政党(PUNR・PRM)及び左翼政党(社会主義労働党)との非公式(後に公式)連立を組んだ。この間、1993年6月に党名を「ルーマニア民主社会党(PDSR)」に改め、中道左派の社民政党であることを強調したが、PDSR内閣期には非民主的な政治手法が目立ち、市場経済化も遅滞した。

1996年の総選挙では、PDSRの得票は21.5%にとどまり第二党に転落するとともに、大統

領選挙においても、現職のイリエスクが決選投票で敗北した。この結果、PDSRは下野することになり、1997年7月にはテオドル・メレシュカヌ(Teodor Meleşcanu)に率いられたグループが離党するなど、一時的混乱に見舞われた。他方で、この時期にPDSR内部で、ポスト・イリエスク世代のアドリアン・ナスタセ(Adrian Năstase)第一副議長の下、徐々に「現代的社民政党」への脱皮・政策転換が図られたことも重要である。そして、2000年総選挙・大統領選挙を前にして社民勢力の結集を目指したPDSRは、「ルーマニア社会民主党Partidul Social Democrat Român (PSDR)」及びPURと協定を結び、「ルーマニア民主社会連合Polul Democrat Social din România(P.D.S.R.)」を結成した。

2000年の総選挙・大統領選挙では、P.D.S.R.は36.6%の票を得て第一党になるとともに(PDSRは142議席)、イリエスクが大統領に返り咲いた。この結果、PDSR党首となったナスタセが首班指名を受けたが、PSDR・PURの議席を合わせても過半数に届かなかったため、UDMR及びPNLと政策協定を結び政権を発足させた。ナスタセ内閣はEU加盟交渉を進展させるとともに、5%を超えるGDPの成長率を維持し続けるという実績を残した。また、PDSRは、2001年6月にPSDRの吸収合併を実現し、党名を「社会民主党(PSD)」に改めた。

高支持率を維持して2004年の総選挙に臨んだPSDとPURの選挙連合は、36.6%の得票で第一党の座を守ったものの(PSDは113議席)、大統領選挙でナスタセが敗北したため、下野することになった。野党となったPSDは、とりわけバセスク大統領との全面的な対決姿勢を示し、PNLのポバスク＝タリチャーヌ首相が(大統領与党の)PD出身大臣を更迭して少数派内閣を組織した際には、その成立に協力した。2008年の総選挙には、やはりPCと選挙連合を組んで臨み、33.1%の得票で114議席を獲得し、PD-Lと1議席差で第二党となった。この結果、PSDとPD-Lの間で連立協定が締結され、2008年12月にPD-Lのエミール・ボクを首班とする大連立政権が誕生した。連立与党内には、発足直後から緊張関係が存在したが、それは2009年11月の大統領選挙が近づくにつれて公然たる対立へと転化した。この結果、2009年10月、PSD所属の内相が解任されたことを契機として、PSDは連立を離脱した。直後に、PSDはPNLとUDMRが提出した内閣不信任案に賛成し、ボク内閣を総辞職に追い込んだ。しかし、同年11-12月に行われた大統領選挙では、PSDの候補ミルチャ・ジョアーナ(Mircea Geoană)が、決選投票で現職のバセスクに僅差で破れたため、政権復帰を果たせなかった。

## 2-10 PUNR(Partidul Unității Naționale Române): ルーマニア民族統一党

急進的な民族主義政党。経済面では国家の役割を強調。ハンガリー系少数民族の組織であるUDMRの創設に対抗する形で、「ルーマニア人の生家・文化連合Uniunea Culturală Vatra Românească」を母体として1990年3月15日に結成された。結党直後に行われた1990年総選挙には、共和党Partidul Republicanと選挙連合「ルーマニア人統合のための連合Alianța pentru Unitatea Românilor」を組んで臨み、9議席(得票率2.12%)を獲得した。続く1992年総選挙で7.7%の票を得た同党は、FDSNと連立を組み、ヴァカロイウ内閣で4つの閣僚ポストを確保するなど、その党勢はピークを迎えた。1996年総選挙においても勢力を維持したものの(得票率4.4%)、大統領選における党首ギョルゲ・フナル(Gheorghe Funar)の惨敗(第6位)を受けて、党内対立が激化し、事実上の党分裂へと至った(フナルを中心とするグループを除名)。党勢が低迷する中、2000年総選挙を前にして、ルーマニア民族党と合同して国民連合Alianța Naționalăへと改組されたが、惨敗を喫し、議席を喪失した。この結果を受け、国民連合は分裂し、

PUNRが再建されたものの、2004年総選挙でも再び惨敗し、2006年2月、保守党に吸収合併された。

2-II

UDMR (**Uniunea Democrată Maghiară din România**):

ルーマニア・ハンガリー民主連合 〈<http://www.udmr.ro/>〉

ハンガリー系少数民族政党。1990年総選挙から名称および組織形態を全く変更せずに議席を獲得し続けている。1990年1月28日に、ルーマニアにおけるハンガリー系少数民族の権利擁護・利益促進、ハンガリー系コミュニティのアイデンティティの保持・確立への貢献を目的として創設された。同党は、言語・教育を始めとする権利拡大要求以外では中道志向であり、その民族人口比(6.6%)に等しい得票率を維持しているため、連立交渉においては「要」の位置を占めている。実際、歴史的な1996年の政権交代で成立したCDRを中心とする中道右派政権(1996年-2000年)に連立与党として参加したのを皮切りに、2000年総選挙後に成立した中道左派PSDのナスタセ内閣(2000-2004年)には閣外協力、続く中道右派ADAのポベスク＝タリチャーヌ内閣(2004-2008年)では再び連立に参加するなど、議席以上の影響力を有している。さらに、2009年12月には、中道右派PDのボク内閣成立に協力し、党首を始め多数が入閣した。また、地域政党としての性格が濃厚であり、コヴァスナ・ハルギツァ・ムレシュに強固な基盤を有する一方で、トランシルヴァニア以外での得票は少ない。

### 3 体制転換後の歴代大統領

\*括弧内は大統領の出身政党／政党連合

1990年6月18日～1992年10月11日

- ヨン・イリエスク Ion ILIESCU(FSN)

1992年10月30日～1996年11月29日

- ヨン・イリエスク Ion ILIESCU(FDSN)

1996年11月29日～2000年12月20日

- エミール・コンスタンティネスク Emil CONSTANTINESCU(CDR)

2000年12月20日～2004年12月20日

- ヨン・イリエスク Ion ILIESCU(PDSR)

2004年12月20日～2009年12月21日

- トライアン・バセスク Traian BĂSESCU(ADA)

\*2007年4月20日～2007年5月23日、職務停止

2009年12月21日～

- トライアン・バセスク Traian BĂSESCU(PD-L)

## 4 1989年12月以降の歴代内閣

1989年12月26日～1990年6月28日

- ペトレ・ロマン Petre ROMAN 暫定内閣

1990年6月28日～1991年10月16日

- ペトレ・ロマン内閣(FSN)

1991年10月16日～1992年11月19日

- テオドル・ストロジャン Theodor STOLOJAN 内閣(FSNとPNLの連立)

1992年11月19日～1996年12月12日

- ニコラエ・ヴァカロイウ Nicolae VĂCĂROIU 内閣(FDSN / PDSR, PUNR, PRMの連立)

1996年12月12日～1998年3月30日

- ヴィクトル・チョルビャ Victor CIORBEA 内閣(CDR, UDMR, USDの連立)

1998年4月17日～1999年12月13日

- ラドゥ・ヴァシレ Radu VASILE 内閣(CDR, UDMR, USDの連立)

1999年12月22日～2000年12月28日

- ムグル・イサレスク Mugur ISĂRESCU 内閣(CDR, UDMR, USDの連立)

2000年12月28日～2004年12月21日

- アドリアン・ナスタセ Adrian NĂSTASE 内閣(PDSR / PSD)

2004年12月29日～2008年12月22日

- カリン・ポペスク=タリチャーヌ Călin POPESCU-TĂRICEANU 内閣(PNL, PD, UDMR, PUR / PCの連立、2007年4月以降はPNLとUDMRの連立)

2008年12月22日～

- エミール・ボク Emil BOC 内閣 (PD-LとPSDの連立、2009年12月以降はPD-LとUDMRの連立)

## 5 資料

### ルーマニア下院選挙結果

**1990**年選挙  
(5月20日)

登録有権者	17,200,720
投票数	14,825,017
投票率	86.19
有効投票数	13,707,159

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
FSN	9,089,659	66.3	263	66.4
UDMR	991,601	7.2	29	7.3
PNL	879,290	6.4	29	7.3
MER	358,864	2.6	12	3.0
PNTCD	331,357	2.6	12	3.0
AUR	290,875	2.1	9	2.3
PDAR	250,403	1.8	9	2.3
PER	232,212	1.7	8	2.0
PSD	143,393	1.1	5	1.3
PSDR	73,014	0.5	2	0.5
GDC	65,914	0.5	2	0.5
PDM	52,595	0.4	1	0.3
PLS	47,017	0.3	1	0.3
PRN	43,808	0.3	1	0.3
PTLDR	43,188	0.3	1	0.3
FDGR	38,768	0.3	1	0.3
ULB	36,869	0.3	1	0.3
UDRR	29,162	0.2	1	0.3
PDE	26,058	0.2	0	0.0
PC	24,749	0.2	0	0.0
UDC	24,001	0.2	0	0.0
PUDR-R-R-L	21,847	0.2	0	0.0
PȚR	21,588	0.2	0	0.0
PLLR	20,744	0.2	0	0.0
C-RUȘI LIPOVENI	17,974	0.1	1	0.3
PUCO	17,521	0.1	0	0.0
PSDI	17,484	0.1	0	0.0
PȚ	16,865	0.1	0	0.0
PUDM	16,863	0.1	0	0.0
PUD	16,354	0.1	0	0.0
U-UCRAINENI	16,179	0.1	1	0.3
PUCR	14,902	0.1	0	0.0
PEUA	12,739	0.1	0	0.0
PRPNS	12,305	0.1	0	0.0
PM	10,744	0.1	0	0.0
U-SÂRBI	9,095	0.1	1	0.3
GC“NR”	9,073	0.1	0	0.0
PRC	8,939	0.1	0	0.0
UDTM	8,600	0.1	1	0.3
PDCRR	7,939	0.1	0	0.0
PAPD	6,695	0.1	0	0.0
UD“ȚO”	6,215	0.1	0	0.0
PSDCR	6,194	0.1	0	0.0
FPRSN	5,208	0.0	0	0.0
U-ELENĂ	4,932	0.0	1	0.3
ULDRR	4,605	0.0	0	0.0
U-SLOVACI	4,584	0.0	1	0.3
PNR	3,983	0.0	0	0.0

**1990**年選挙  
前ページからの続き

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
UBB-ACBB	3,451	0.0	1	0.3
PRD	3,240	0.0	0	0.0
PPRND	3,223	0.0	0	0.0
PUR	2,693	0.0	0	0.0
PIM	2,578	0.0	0	0.0
MDM	2,488	0.0	0	0.0
DOM POLSKI	2,372	0.0	1	0.3
FDUNR	2,176	0.0	0	0.0
PMDSR	2,146	0.0	0	0.0
PVDP	2,091	0.0	0	0.0
PDS (ND) NVR	2,073	0.0	0	0.0
PR	1,610	0.0	0	0.0
PDP	1,495	0.0	0	0.0
AFDPVDR	1,404	0.0	0	0.0
PNP	1,116	0.0	0	0.0
PDCR	946	0.0	0	0.0
PPCERSN	891	0.0	0	0.0
PDC	425	0.0	0	0.0
UAR	399	0.0	1	0.3
PCRED	390	0.0	0	0.0
M "TD"	328	0.0	0	0.0
Independent	256,656	1.9	0	0.0
合計	13,707,159	100.0	396	100.0

**1992**年選挙  
(9月27日)

登録有権者	16,380,663
投票数	12,496,430
投票率	76.29
有効投票数	10,880,252

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
FDSN	3,015,708	27.7	117	34.3
CDR	2,177,144	20.1	82	24.1
FSN	1,108,500	10.2	43	12.6
PUNR	839,586	7.7	30	8.8
UDMR	811,290	7.5	27	7.9
PRM	424,061	3.9	16	4.7
PSM	330,378	3.0	13	3.8
PDAR	326,289	3.0	0	0.0
PNL	286,467	2.6	0	0.0
MER	245,194	2.3	0	0.0
PR	178,355	1.6	0	0.0
PSDR	95,041	0.9	0	0.0
SND	79,207	0.7	0	0.0
NPL	63,633	0.6	0	0.0
ULB	55,096	0.5	0	0.0
ROMII	52,704	0.5	1	0.3
PUSD	50,853	0.5	0	0.0
PNȚ	48,764	0.5	0	0.0
PLMR	39,062	0.4	0	0.0
CSS	35,641	0.3	0	0.0
FDGR	34,685	0.3	1	0.3
PDC	32,789	0.3	0	0.0
ULDRR	31,384	0.3	0	0.0
PNPLR	30,025	0.3	0	0.0
PPCERSN	26,182	0.2	0	0.0
PRUR	23,662	0.2	0	0.0
PUR	23,220	0.2	0	0.0
PDST	22,101	0.2	0	0.0



**1992**年選挙  
前ページからの続き

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
UGRR	22,071	0.2	0	0.0
PRCR	18,849	0.2	0	0.0
PLR	16,626	0.2	0	0.0
FDR	15,003	0.1	0	0.0
C-RUȘI LIPOVENI	14,975	0.1	1	0.3
PNȚCDI	14,963	0.1	0	0.0
PRIR	13,584	0.1	0	0.0
PL-R	13,523	0.1	0	0.0
MPR	12,936	0.1	0	0.0
PLS	12,456	0.1	0	0.0
PSDI	11,659	0.1	0	0.0
PNDC	11,647	0.1	0	0.0
PȚ	9,949	0.1	0	0.0
U-ELENĂ	9,134	0.1	1	0.3
CDU	8,972	0.1	0	0.0
U-UCRAINENI	7,717	0.1	1	0.3
U-TĂTARI	7,699	0.1	1	0.3
PSD“TP”	7,245	0.1	0	0.0
UAR	7,145	0.1	1	0.3
LNER	6,956	0.1	0	0.0
APDN	6,106	0.1	0	0.0
PDN	5,689	0.1	0	0.0
UDC	5,656	0.1	0	0.0
U-SĂRBI	5,328	0.1	1	0.3
PRPNS	5,305	0.1	0	0.0
PDI	5,257	0.1	0	0.0
U-SLOVACI	4,708	0.0	1	0.3
PA“JN”	4,698	0.0	0	0.0
PVDP	4,355	0.0	0	0.0
C-ITALIANĂ	4,188	0.0	1	0.3
PDMR	3,931	0.0	0	0.0
FDUNR	3,180	0.0	0	0.0
PDS (ND) NVR	3,114	0.0	0	0.0
DOM POLSKI	3,013	0.0	1	0.3
PVP	2,758	0.0	0	0.0
PDSDR	2,695	0.0	0	0.0
PM	2,623	0.0	0	0.0
U-TURCĂ	2,572	0.0	1	0.3
PDSR	2,572	0.0	0	0.0
PUDM	2,363	0.0	0	0.0
PNR	2,224	0.0	0	0.0
UBBR	1,906	0.0	1	0.3
PMR“SP”	1,744	0.0	0	0.0
MPIE	1,371	0.0	0	0.0
PUP	1,174	0.0	0	0.0
PRDPRR	1,144	0.0	0	0.0
PRCD	1,081	0.0	0	0.0
PMPLIR	651	0.0	0	0.0
U-CROAȚI	219	0.0	0	0.0
PUC	101	0.0	0	0.0
P“TR”	49	0.0	0	0.0
Independent	58,347	0.5	0	0.0
合計	10,880,252	100.0	341	100.0

**1996**年選挙  
(11月3日)

登録有権者	17,218,654
投票数	13,088,388
投票率	76.01
有効投票数	12,238,746

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
CDR	3,692,321	30.2	122	35.6
PDSR	2,633,860	21.5	91	26.5
USD	1,582,231	12.9	53	15.5
UDMR	812,628	6.6	25	7.3
PRM	546,430	4.5	19	5.5
PUNR	533,348	4.4	18	5.3
PS	280,364	2.3	0	0.0
PSM	262,563	2.2	0	0.0
PSMR	212,303	1.7	0	0.0
ANL	192,495	1.6	0	0.0
PPR	175,676	1.4	0	0.0
UNC	106,069	0.9	0	0.0
PNT	102,831	0.8	0	0.0
ANLE	96,412	0.8	0	0.0
ROMII	82,195	0.7	1	0.3
UR	71,020	0.6	0	0.0
PNDC	69,380	0.6	0	0.0
PNA	56,387	0.5	0	0.0
PMR	50,011	0.4	0	0.0
PNR	33,672	0.3	0	0.0
PL-R	29,576	0.2	0	0.0
PCER	27,544	0.2	0	0.0
PR-OD	25,620	0.2	0	0.0
FDGR	23,888	0.2	1	0.3
PFNDP	21,060	0.2	0	0.0
UDC	19,693	0.2	0	0.0
PPP	17,841	0.2	0	0.0
PR	17,190	0.1	0	0.0
PPSR	16,762	0.1	0	0.0
PMLDR	14,333	0.1	0	0.0
F-EVREI	12,746	0.1	1	0.3
PP-PSD	11,990	0.1	0	0.0
C-RUȘI LIPOVENI	11,902	0.1	1	0.3
UAR	11,543	0.1	1	0.3
C-ITALIANĂ	11,454	0.1	1	0.3
PLC	10,345	0.1	0	0.0
RO. AS. IT.	9,833	0.1	0	0.0
PSR	9,103	0.1	0	0.0
UCA	8,722	0.1	1	0.3
U-ELENĂ	8,463	0.1	1	0.3
PRROM Ion Mihalache	7,751	0.1	0	0.0
PRRO	7,340	0.1	0	0.0
U-UCRAINENI	7,165	0.1	1	0.3
U-SÂRBI	6,851	0.1	1	0.3
U-SLOVACI	6,531	0.1	1	0.3
U-TĂTARI	6,319	0.1	1	0.3
BRATSTVO	5,359	0.0	1	0.3
CERR	5,227	0.0	0	0.0
U-TURCĂ	4,326	0.0	1	0.3
UDUR	4,132	0.0	0	0.0
UBB	4,115	0.0	0	0.0
FTS	2,142	0.0	0	0.0
DOM POLSKI	1,842	0.0	1	0.3

**1996**年選挙  
前ページからの続き

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
FIR	1,711	0.0	0	0.0
UER-CEP	1,509	0.0	0	0.0
PSD	1,352	0.0	0	0.0
CIG	791	0.0	0	0.0
CIP	695	0.0	0	0.0
UGAEH	646	0.0	0	0.0
URJC	640	0.0	0	0.0
U-CROAȚI	486	0.0	0	0.0
ASCR	439	0.0	0	0.0
CIJP	437	0.0	0	0.0
FIR-CIOC	311	0.0	0	0.0
Independent	248,825	2.0	0	0.0
合計	12,238,746	100.0	343	100.0

**2000**年選挙  
(11月26日)

登録有権者	17,699,727
投票数	11,559,458
投票率	65.31
有効投票数	10,839,424

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
P. D. S. R.	3,968,464	36.6	155	44.9
PRM	2,112,027	19.5	84	24.4
PD	762,365	7.0	31	12.2
PNL	747,263	6.9	30	12.0
UDMR	736,863	6.8	27	7.4
CDR 2000	546,135	5.0	0	5.4
APR	441,228	4.1	0	0.0
PNL-Câmpeanu	151,518	1.4	0	0.0
PAR	149,525	1.4	0	0.0
PER	101,256	0.9	0	0.0
PSM	91,027	0.8	0	0.0
PPR	76,704	0.7	0	0.0
ROMII	71,786	0.7	1	0.3
PMR	68,718	0.6	0	0.0
PLDR	52,497	0.5	0	0.0
PNTȚ	48,435	0.5	0	0.0
PVR	46,129	0.4	0	0.0
PNDC	45,252	0.4	0	0.0
FDGR	40,844	0.4	1	0.3
PNDR	33,410	0.3	0	0.0
PLRSD	32,811	0.3	0	0.0
PRN	22,376	0.2	0	0.0
UAR	21,302	0.2	1	0.3
C-ITALIANĂ	21,263	0.2	1	0.3
PDPRD	21,062	0.2	0	0.0
UBBR	20,085	0.2	1	0.3
PNG	19,662	0.2	0	0.0
PSDCTP	17,730	0.2	0	0.0
PPP	16,991	0.2	0	0.0
LCIR	16,266	0.2	0	0.0
U-ELENĂ	15,007	0.1	1	0.3
PN	14,197	0.1	0	0.0
P"G2K"	13,455	0.1	0	0.0
F-EVREI	12,629	0.1	1	0.3
CCRR	12,171	0.1	0	0.0
PSR	11,916	0.1	0	0.0
C-RUȘI LIPOVENI	11,558	0.1	1	0.3
U-CROAȚI	11,084	0.1	1	0.3

**2000**年選挙  
前ページからの続き

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
PR	10,840	0.1	0	0.0
LAR	10,543	0.1	1	0.3
U-TĂTARI	10,380	0.1	1	0.3
U-UCRAINENI	9,404	0.1	1	0.3
AMSR	8,809	0.1	1	0.3
U-SÂRBI	8,748	0.1	1	0.3
A-BULGARI	8,092	0.1	0	0.0
UCAR	7,798	0.1	0	0.0
U-RUTENI	6,942	0.1	1	0.3
U-TURCĂ	6,675	0.1	1	0.3
BRATSTVO	5,923	0.1	0	0.0
UDUR	5,843	0.1	0	0.0
U-SLOVACI	5,686	0.1	1	0.3
UPR	5,055	0.0	1	0.3
CTR	3,953	0.0	0	0.0
ULB	3,760	0.0	0	0.0
PLDMR	3,510	0.0	0	0.0
PUPD	3,506	0.0	0	0.0
UDC	3,316	0.0	0	0.0
CE-IAȘI	2,072	0.0	0	0.0
CROAȚI	2,059	0.0	0	0.0
CEP	1,992	0.0	0	0.0
PPRO	1,623	0.0	0	0.0
DOM POLSKI	1,619	0.0	0	0.0
UCR	1,539	0.0	0	0.0
LDCR	1,329	0.0	0	0.0
UGAEHR	1,225	0.0	0	0.0
LIRB	516	0.0	0	0.0
UBPR	497	0.0	0	0.0
ELPIS	449	0.0	0	0.0
PP-PSD	401	0.0	0	0.0
Independent	137,561	1.3	0	0.0
合計	10,839,424	100.0	345	100.0

**2004**年選挙  
(11月28日)

登録有権者	18,449,344
投票数	10,794,653
投票率	58.51
有効投票数	10,188,106

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
PSD+PUR	3,730,352	36.6	132	39.8
D. A. PNL-PD	3,191,546	31.3	112	33.7
PRM	1,316,751	12.9	48	14.5
UDMR	628,125	6.2	22	6.6
PNG	227,443	2.2	0	0.0
PNȚCD	188,268	1.8	0	0.0
FDR	79,376	0.8	0	0.0
PER	73,001	0.7	0	0.0
ROMII	56,076	0.6	1	0.3
PUNR	53,222	0.5	0	0.0
AP	48,152	0.5	0	0.0
PSU	44,459	0.4	0	0.0
FDGR	36,166	0.4	1	0.3
PMR	35,278	0.3	0	0.0
URR	32,749	0.3	0	0.0
PAS	28,429	0.3	0	0.0
PSR	28,034	0.3	0	0.0
PNDC	27,650	0.3	0	0.0

**2004**年選挙  
前ページからの続き

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
PND	20,926	0.2	0	0.0
PSDCTP	20,318	0.2	0	0.0
APCD	18,594	0.2	0	0.0
PTD	16,271	0.2	0	0.0
UBBR	15,283	0.2	1	0.3
PM3	15,109	0.1	0	0.0
A-PROMI	15,041	0.1	0	0.0
PPP	14,882	0.1	0	0.0
U-UCRAINENI	10,888	0.1	1	0.3
C-RUȘI LIPOVENI	10,562	0.1	1	0.3
U-CROAȚI	10,331	0.1	1	0.3
UAR	9,810	0.0	1	0.3
AMR	9,750	0.0	1	0.3
AC-MACEDONENI	9,595	0.0	0	0.0
F-EVREI	8,449	0.0	1	0.3
CROAȚI	7,769	0.0	0	0.0
U-TURCĂ	7,715	0.0	1	0.3
A-TURCI	7,396	0.0	0	0.0
U-ELENĂ	7,161	0.0	1	0.3
U-SĂRBI	6,643	0.0	1	0.3
UTM	6,517	0.0	0	0.0
U-TĂTARI	6,452	0.0	1	0.3
AD-MACEDONENI	6,344	0.0	0	0.0
A-BULGARI	6,240	0.0	0	0.0
RO. AS. IT.	6,168	0.0	1	0.3
U-SLOVACI	5,950	0.0	1	0.3
DOM POLSKI	5,473	0.0	1	0.3
C-ITALIANĂ	5,181	0.0	0	0.0
A-POLONEZI	5,159	0.0	0	0.0
ALAR	5,011	0.0	1	0.3
BRATSTVO	4,065	0.0	0	0.0
U-RUTENI	2,871	0.0	1	0.3
PPR	2,336	0.0	0	0.0
FD	1,123	0.0	0	0.0
Independent	51,646	0.5	0	0.0
TOTAL	10,188,106	100.0	332	100.0

**2008**年選挙  
(11月30日)

登録有権者	18,464,274
投票数	7,238,871
投票率	39.2
有効投票数	6,886,794

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
PD-L	2,228,860	32.4	115	34.4
PSD+PC	2,279,449	33.1	114	34.1
PNL	1,279,063	18.6	65	19.5
UDMR	425,008	6.2	22	6.6
PRM	217,595	3.2	0	0.0
PNG	156,901	2.3	0	0.0
ROMII	440,37	0.6	1	0.3
FDGR	23,190	0.3	1	0.3
F-EVREI	22,393	0.3	1	0.3
PVE	18,279	0.3	0	0.0
U-SLOVACI	15,373	0.2	1	0.3
UBBR	14,039	0.2	1	0.3
UAR	13,829	0.2	1	0.3
U-TĂTARI	11,868	0.2	1	0.3
AMR	11,814	0.2	1	0.3

**2008**年選挙  
前ページからの続き

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
U-SÂRBI	10,878	0.2	1	0.3
RO. AS. IT.	9,567	0.1	1	0.3
U-TURCĂ	9,481	0.1	1	0.3
U-UCRAINENI	9,338	0.1	1	0.3
C-RUȘI LIPOVENI	9,203	0.1	1	0.3
U-CROAȚI	9,047	0.1	1	0.3
U-ELENĂ	8,875	0.1	1	0.3
ALAR	8,792	0.1	1	0.3
PPPS	8,388	0.1	0	0.0
DOM POLSKI	7,670	0.1	1	0.3
U-RUTENI	4,514	0.1	1	0.3
PSR	585	0.0	0	0.0
PNDC	316	0.0	0	0.0
PRE	87	0.0	0	0.0
Independent	28,355	0.4	0	0.0
合計	6,886,794	100.0	334	100.0

## ルーマニア上院選挙結果

**1990**年選挙  
(5月20日)

登録有権者	17,200,720
投票数	14,825,764
投票率	86.19
有効投票数	13,956,180

政党	議席数	議席率
FSN	91	76.5
UDMR	12	10.1
PNL	10	8.4
MER	1	0.8
PNȚCD	1	0.8
AUR	2	1.7
PDAR	0	0.0
PER	1	0.8
PSD	0	0.0
PSDR	0	0.0
GDC	0	0.0
PRN	0	0.0
PLS	0	0.0
PDM	0	0.0
ULB	0	0.0
PTLDR	0	0.0
PC	0	0.0
UDC	0	0.0
UDRR	0	0.0
FDG	0	0.0
PLLR	0	0.0
PDE	0	0.0
PUD	0	0.0
PUDM	0	0.0
PM	0	0.0
PRC	0	0.0
GC"NR"	0	0.0
PEUA	0	0.0
UDTM	0	0.0
U-UCRAINENI	0	0.0
PUCO	0	0.0



**1990**年選挙  
前ページからの続き

政党	議席数	議席率
UD"TO"	0	0.0
PUCR	0	0.0
PSDCR	0	0.0
PȚ	0	0.0
PDS(ND)NVR	0	0.0
PAPD	0	0.0
PMDSR	0	0.0
PRPNS	0	0.0
PȚR	0	0.0
PUR	0	0.0
PPRND	0	0.0
PDC	0	0.0
PRD	0	0.0
ULDRR	0	0.0
FPRSN	0	0.0
AFDPVDR	0	0.0
PUP	0	0.0
PDCR	0	0.0
PPCERSN	0	0.0
PNR	0	0.0
PVDP	0	0.0
PDP	0	0.0
DOM POLSKI	0	0.0
PR	0	0.0
AM"L"AA	0	0.0
PNP	0	0.0
PCRED	0	0.0
M"TD"	0	0.0
Antonie Iorgovan	1	0.3
Independent	0	0.0
合計	119	100.0

**1992**年選挙  
(9月27日)

登録有権者	16,380,663
投票数	12,496,430
投票率	76.29
有効投票数	10,964,818

政党	議席数	議席率
FDSN	49	34.3
CDR	34	23.8
FSN	18	12.6
PUNR	14	9.8
UDMR	12	8.4
PRM	6	4.1
PDAR	5	3.5
PSM	5	3.5
PNL	0	0.0
MER	0	0.0
PR	0	0.0
Others	0	0.0
Independent	0	0.0
合計	143	100.0

**1996**年選挙  
(11月3日)

登録有権者	17,218,654
投票数	13,088,388
投票率	76.01
有効投票数	12,287,671

政党	議席数	議席率
CDR	53	37.1
PDSR	41	28.7
USD	23	16.1
UDMR	11	7.7
PRM	8	5.6
PUNR	7	4.9
PS	0	0.0
PSM	0	0.0
ANL	0	0.0
PPR	0	0.0
PSMR	0	0.0
UNC	0	0.0
PNT	0	0.0
ANLE	0	0.0
ROMII	0	0.0
UR	0	0.0
PNDC	0	0.0
PNA	0	0.0
PMR	0	0.0
PL-R	0	0.0
PNR	0	0.0
PCER	0	0.0
PR-OD	0	0.0
UDC	0	0.0
PPP	0	0.0
PFNDP	0	0.0
PPSR	0	0.0
PR	0	0.0
PSR	0	0.0
PMLDR	0	0.0
PP-PSD	0	0.0
PRROM Ion Mihalache	0	0.0
CERR	0	0.0
PLC	0	0.0
PRRO	0	0.0
URJC	0	0.0
PSD	0	0.0
Independent	0	0.0
合計	143	100.0

**2000**年選挙  
(11月26日)

登録有権者	17,699,727
投票数	11,559,458
投票率	65.31
有効投票数	10,891,910

政党	議席数	議席率
P. D. S. R.	65	46.4
PRM	37	26.4
PD	13	9.3
PNL	13	9.3
UDMR	12	8.6
CDR 2000	0	0.0
APR	0	0.0

**2000**年選挙  
前ページからの続き

政党	議席数	議席率
PAR	0	0.0
PNL-Câmpeanu	0	0.0
PER	0	0.0
PSM	0	0.0
PPR	0	0.0
PMR	0	0.0
PLDR	0	0.0
PNȚ	0	0.0
PVR	0	0.0
PNDR	0	0.0
PLRSD	0	0.0
PRN	0	0.0
PNG	0	0.0
PDPRD	0	0.0
PSDCTP	0	0.0
P"G2K"	0	0.0
PN	0	0.0
PPP	0	0.0
PSR	0	0.0
PR	0	0.0
U-TĂTARI	0	0.0
ULB	0	0.0
PUPPD	0	0.0
UDC	0	0.0
PRR	0	0.0
CCRR	0	0.0
PP-PSDTR	0	0.0
PLDMR	0	0.0
LIR	0	0.0
Independent	0	0.0
合計	140	100.0

**2004**年選挙  
(11月28日)

登録有権者	18,449,344
投票数	10,794,653
投票率	58.5
有効投票数	10,231,476

政党	議席数	議席率
PSD-PUR	57	41.6
D. A. PNL-PD	49	35.8
PRM	21	15.3
UDMR	10	7.3
PNG	0	0.0
PNȚCD	0	0.0
FDR	0	0.0
PER	0	0.0
PSU	0	0.0
PUNR	0	0.0
AP	0	0.0
PSR	0	0.0
PMR	0	0.0
URR	0	0.0
PAS	0	0.0
PNDC	0	0.0
PSDCTP	0	0.0
PTD	0	0.0
APCD	0	0.0
PND	0	0.0

## 2004年選挙

前ページからの続き

政党	議席数	議席率
PM3	0	0.0
PPP	0	0.0
A-PROMI	0	0.0
PPR	0	0.0
FD	0	0.0
Independent	0	0.0
合計	137	100.0

## 2008年選挙 (11月30日)

登録有権者	18,464,274
投票数	7,238,871
投票率	39.2
有効投票数	6,888,055

政党	議席数	議席率
PD-L	51	37.2
PSD+PC	49	35.8
PNL	28	20.4
UDMR	9	6.6
PRM	0	0.0
PVE	0	0.0
PPPS	0	0.0
PNDC	0	0.0
PSR	0	0.0
Independent	0	0.0
合計	137	100.0

## ルーマニア大統領選挙結果

### 1990年選挙

#### ●第1回投票(1990年5月20日)

登録有権者	17,200,722
投票数	14,826,616
投票率	86.19
有効投票数	14,378,693

候補者名	有効投票数	得票率%	備考
Ion Iliescu	12,232,498	85.1	FSN
Radu Câmpeanu	1,529,188	10.6	PNL
Ion Rațiu	617,007	4.3	PNȚCD
合計	14,378,693	100.0	

☆第1回投票でIliescuが過半数の得票を獲得したため、当選が確定

### 1992年選挙

#### ●第1回投票(1992年9月27日)

登録有権者	16,380,663
投票数	12,496,430
投票率	76.28
有効投票数	11,898,856

候補者名	有効投票数	得票率%	備考
Ion Iliescu	5,633,456	47.3	FDSN
Emil Constantinescu	3,717,006	31.2	CDR
Gheorghe Funar	1,294,388	10.9	PUNR
Caius Traian Dragomir	564,655	4.7	FSN
Ion Mânzatu	362,485	3.1	PR
Mircea Druc	326,866	2.8	Independent
合計	11,898,856	100.0	

## 1992年選挙

### ●第2回投票(1992年10月11日)

登録有権者	16,597,508
投票数	12,153,810
投票率	73.22
有効投票数	12,034,636

候補者名	有効投票数	得票率%
Ion Iliescu	7,393,429	61.4
Emil Constantinescu	4,641,207	38.6
合計	12,034,636	100.0

## 1996年選挙

### ●第1回投票(1996年11月3日)

登録有権者	17,218,654
投票数	13,088,388
投票率	76.01
有効投票数	12,652,900

候補者名	有効投票数	得票率%	備考
Ion Iliescu	4,081,093	32.3	PDSR
Emil Constantinescu	3,569,941	28.2	CDR
Petre Roman	2,369,941	20.5	USD
György Frunda	761,411	6.0	UDMR
Corneliu Vadim Tudor	597,508	4.7	PRM
Gheorghe Funar	407,828	3.2	PUNR
Tudor Mohora	160,387	1.3	PS
Nicolae Manolescu	90,122	0.7	ANL
Adrian Păunescu	87,163	0.7	PSM
Ioan Pop de Popa	59,752	0.5	UNC
George Munteanu	54,218	0.4	PPR
Radu Câmpeanu	43,780	0.4	ANLE
Nuțu Anghelina	43,319	0.3	Independent
Constantin Mudava	38,477	0.3	Independent
Constantin Niculescu	30,045	0.2	PNA
Nicolae Militaru	28,311	0.2	Independent
合計	12,652,900	100.0	

## 1996年選挙

### ●第2回投票(1996年11月17日)

登録有権者	17,230,654
投票数	13,078,883
投票率	75.9
有効投票数	12,972,485

候補者名	有効投票数	得票率%
Emil Constantinescu	7,057,906	54.41
Ion Iliescu	5,914,579	45.59
合計		100

## 2000年選挙

### ●第1回投票(2000年11月26日)

登録有権者	17,699,727
投票数	11,559,458
投票率	65.3
有効投票数	11,212,974

候補者名	有効投票数	得票率%	備考
Ion Iliescu	4,076,273	36.4	P. D. S. R.
Corneliu Vadim Tudor	3,178,293	28.3	PRM
Theodor-Dumitru Stolojan	1,321,420	11.8	PNL

**2000**年選挙  
前ページからの続き

候補者名	有効投票数	得票率%	備考
Constantin Mugur Isărescu	1,069,463	9.5	CDR 2000
György Frunda	696,989	6.2	UDMR
Petre Roman	334,852	3.0	PD
Teodor Viorel Meleşcanu	214,642	1.9	APR
Gheorghe Eduard Manole	133,991	1.2	Independent
Graziela-Elena Bârlă	61,455	0.5	Independent
Paul-Philippe Hohenzollern	55,238	0.5	PRN
Ion Sasu	38,375	0.3	PSM
Niculae Cervenii	31,983	0.3	PLDR
合計	11,212,974	100.0	

**2000**年選挙

●第2回投票(2000年12月10日)

登録有権者	17,711,757
投票数	10,184,715
投票率	57.5
有効投票数	10,020,870

候補者名	有効投票数	得票率%
Ion Iliescu	6,696,623	66.8
Corneliu Vadim Tudor	3,324,247	33.2
合計	10,020,870	100.0

**2004**年選挙

●第1回投票(2004年11月28日)

登録有権者	18,449,344
投票数	10,794,653
投票率	58.5
有効投票数	10,452,205

候補者名	有効投票数	得票率%	備考
Adrian Năstase	4,278,864	40.94	PSD+PUR
Traian Băsesc	3,545,236	33.92	D.A.PNL-PD
Corneliu Vadim Tudor	1,313,714	12.57	PRM
Markó Béla	533,446	5.1	UDMR
Gheorghe Coriolan Ciuhandu	198,394	1.9	PNȚCD
George Becali	184,560	1.77	PNG
Petre Roman	140,702	1.35	FDR
Gheorghe Dinu	113,321	1.08	Independent
Marian Petre Miluț	43,378	0.42	AP
Ovidiu Tudorici	37,910	0.36	URR
Aurel Rădulescu	35,455	0.34	APCD
Alexandru Raj Tunaru	27,225	0.26	PTD
合計	10,452,205	100	

**2004**年選挙

●第2回投票(2004年12月12日)

登録集権者	18,316,104
投票数	10,112,262
投票率	55.2
有効投票数	10,008,314

候補者名	有効投票数	得票率%
Traian Băsesc	5,126,794	51.23
Adrian Năstase	4,881,520	48.77
合計	10,008,314	100



## 2009年選挙

### ●第1回投票(2009年11月22日)

登録有権者	18,293,277
投票数	9,946,748
投票率	54.4
有効投票数	9,718,840

候補者名	有効投票数	得票率%	備考
Traian Băsesc	3,153,640	32.44	PD-L
Mircea-Dan Geoană	3,027,838	31.15	PSD+PC
George-Crin-Laurențiu Antonescu	1,945,831	20.02	PNL
Corneliu Vadim-Tudor	540,380	5.56	PRM
Hunor Kelemen	372,764	3.83	UDMR
Sorin-Mircea Oprescu	309,764	3.18	Independent
George Becali	186,390	1.91	PNG
Remus-Florinel Cernea	60,539	0.62	PV
Constantin Rotaru	43,684	0.44	PAS
Gheorghe-Eduard Manole	34,189	0.35	Independent
Ovidiu-Cristian Iane	22,515	0.23	PER
Constantin-Ninel Potîrcă	21,306	0.21	Independent
合計	9,718,840	100	

## 2009年選挙

### ●第2回投票(2009年12月6日)

登録集権者	18,303,224
投票数	10,620,116
投票率	58
有効投票数	10,481,568

候補者名	有効投票数	得票率%
Traian Băsesc	5,275,808	50.33
Mircea-Dan Geoană	5,205,760	49.67
合計	10,481,568	100

## ルーマニア欧州議会選挙

## 2007年選挙

### ●第1回選挙(2007年11月25日)

登録有権者	18,224,597
投票数	5,370,171
投票率	29.46
有効投票数	5,122,226

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
PD	1,476,105	28.81	13	37.14
PSD	1,184,018	23.11	10	28.57
PNL	688,859	13.44	6	17.14
PLD	398,901	7.78	3	8.57
UDMR	282,929	5.52	2	5.71
PNG-CD	248,863	4.85	0	0.00
PRM	212,596	4.15	0	0.00
Tőkés László	176,533	3.44	1	2.86
PC	150,385	2.93	0	0.00
PIN	124,829	2.43	0	0.00
PNȚCD	71,001	1.38	0	0.00
PR-Pro Europa	58,903	1.14	0	0.00
PAS	28,484	0.55	0	0.00
PV	19,820	0.38	0	0.00
合計	5,122,226	100.00	35	100.00

## 2009年選挙

### ●第2回選挙(2009年6月7日)

登録有権者	18,197,316
投票数	5,035,299
投票率	27.67
有効投票数	5,035,299

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
PSD+PC	1,504,218	31.07	11	33.33
PD-L	1,438,000	29.71	10	30.30
PNL	702,974	14.52	5	15.15
UDMR	431,739	8.92	3	9.09
PRM	419,094	8.65	3	9.09
Elena Băsescu	204,280	4.22	1	3.03
PNTCD	70,428	1.45	0	0.00
Pavel Abraham	49,864	1.03	0	0.00
Forța Civică	19,436	0.40	0	0.00
合計	5,035,299	100.00	33	100.00

## データの出典

### 選挙結果

1990年下院	<a href="http://alegeri.referinte.transindex.ro/index.php3?ev=1990">http://alegeri.referinte.transindex.ro/index.php3?ev=1990</a>
1990年上院	同上
1992年下院	<a href="http://alegeri.referinte.transindex.ro/index.php3?ev=1992">http://alegeri.referinte.transindex.ro/index.php3?ev=1992</a>
1992年上院	同上
1996年下院	<a href="http://www.kappa.ro/guv/bec/">http://www.kappa.ro/guv/bec/</a>
1996年上院	同上
2000年下院	<a href="http://alegeri.referinte.transindex.ro/index.php3?ev=2000">http://alegeri.referinte.transindex.ro/index.php3?ev=2000</a>
2000年上院	同上
2004年下院	<a href="http://www.bec2004.ro/">http://www.bec2004.ro/</a>
2004年上院	同上
2008年下院	<a href="http://www.becparlamentare2008.ro/">http://www.becparlamentare2008.ro/</a>
2008年上院	同上

1990/92年選挙については、William Crowther, "Romania" in S. Berglund *et al*(eds.), *The Handbook of Political Change in Eastern Europe*. Cheltenham 1998も参照

1990年大統領	<a href="http://alegeri.referinte.transindex.ro/index.php3?eve=1990">http://alegeri.referinte.transindex.ro/index.php3?eve=1990</a>
1992年大統領	<a href="http://alegeri.referinte.transindex.ro/index.php3?ev=1992">http://alegeri.referinte.transindex.ro/index.php3?ev=1992</a>
1996年大統領	<a href="http://www.kappa.ro/guv/bec/">http://www.kappa.ro/guv/bec/</a>
2000年大統領	<a href="http://alegeri.referinte.transindex.ro/index.php3?ev=2000">http://alegeri.referinte.transindex.ro/index.php3?ev=2000</a>
2004年大統領	<a href="http://www.bec2004.ro/">http://www.bec2004.ro/</a>
2009年大統領	<a href="http://www.bec2009p.ro/">http://www.bec2009p.ro/</a>

2007年欧州議会	<a href="http://www.bec2007pe.ro/">http://www.bec2007pe.ro/</a>
2009年欧州議会	<a href="http://bec2009pe.ro/">http://bec2009pe.ro/</a>

政党概要(他にデータベース記載の政党ホームページを参照)

Stan Stoica *Dicționarul Partidelor Politice din România(1989 – 2001)* București, 2001  
 ブクレシュチ裁判所のホームページ <http://www.tmb.ro/>



## ロシア政党・選挙データ

### 1. 政治制度と選挙制度

- 1-1 議会制度と議会選挙
- 1-2 大統領選挙と大統領・議会関係

### 2. 主要政党の概要

- 2-1 АПР
- 2-2 ДВР – ОД
- 2-3 ЕДИНАЯ РОССИЯ
- 2-4 КПРФ
- 2-5 ЛДПР
- 2-6 НДР
- 2-7 ПАТРИОТЫ РОССИИ
- 2-8 ПРАВОЕ ДЕЛО
- 2-9 ПРЕС
- 2-10 ЯБЛОКО
- 2-11 СПРАВЕДЛИВАЯ РОССИЯ
- 2-12 СПС

### 3. 歴代大統領

### 4. 歴代内閣

### 5. 資料

# 1 政治制度と選挙制度

## 1-1 議会制度と議会選挙

### 議会制度のあらまし

ロシアの議会は、下院(国家会議: Государственная Дума)と上院(連邦会議: Совет Федерации)からなる二院制議会である。下院は定数450であり、任期は4年であったが、2008年末の憲法改正により2011年選挙から任期は5年になる。上院は、各連邦構成主体の立法府と行政府の代表1名ずつによって構成される(2011年1月から、上院議員となることができるのは、各連邦構成主体議会議員またはその連邦構成主体内の地方自治体議会議員に限定される)。連邦構成主体の数は、長らく89であったため、その間の上院の定数は178であったが、近年の連邦構成主体の統廃合により、上院議員数は減少している。任期は各立法府・行政府の任期によって決まる。選挙権は18歳以上、被選挙権は21歳以上である。

### 1993年選挙

大統領令に基づき実施された選挙で、憲法採択を問う国民投票と同時に行われた。下院は小選挙区225議席、比例区225議席の小選挙区・比例代表並立制。比例区は全国1区拘束名簿式、議席配分方式はヘア式であり、議席獲得には有効投票数の5%以上が必要とされた。この会期は、移行期であることに鑑み任期は2年とされた。同時に、上院選挙も多数代表制の下で実施され、下院と同様に任期2年の議員が選出された。上院議員の選出方法は様々に変化しているが、国民の直接選挙で選出されたのはこの時だけである。

### 1995年選挙

基本的な選挙制度は、1993年選挙と同様であるが、得票率は総投票数から算出されることになった(以降も同様)。そのため、議席獲得には、総投票数の5%以上が必要となった。また、これ以降2007年選挙まで、下院議員の任期は4年となった。

### 1999年選挙

基本的な選挙制度は、1995年選挙と同様であるが、最低得票要件(阻止条項)の例外規定として、以下の点が追加された。①得票率5%以上の選挙団体・選挙連合が2つ以上あるが、それらの合計得票率が50%以下である場合には、得票率3%以上の選挙団体・選挙連合にも、それらの合計得票率が50%に達するまで議席が配分される。②得票率5%以上の選挙団体・選挙連合が1つしかなく、その得票率が50%以上である場合には、得票率第2位の選挙団体・選挙連合にも議席が配分される。

### 2003年選挙

基本的な選挙制度は、1999年選挙と同様であるが、2000年の政党法制定に伴い、比例区の候補資格が、政党及び選挙連合(2つもしくは3つの政党の連合、又は2つ以下の全ロシア的社会团体と1つもしくは2つの政党の連合)となった。また、最低得票要件(阻止条項)の例外規定が以下のように変更された。①得票率5%以上の政党・選挙連合の合計得票率が50%以下である場合には、得票率5%未満の政党・選挙連合にも、それらの合計得票率が50%に達し、

議席を配分される政党・選挙連合の数が3つ以上になるまで議席が配分される。②得票率5%以上の政党・選挙連合が3つ未満で、それらの合計得票率が50%以上である場合には、得票率5%未満の政党・選挙連合にも、議席を配分される政党・選挙連合の数が3つ以上になるまで議席が配分される。

## 2007年選挙

この選挙から小選挙区が廃止され、選挙制度は、全国1区の完全比例代表制に変更された。また、議席獲得には7%以上の得票が必要となった。その例外規定は下記のとおりである。①得票率7%以上の政党の合計得票率が60%以下である場合には、得票率が7%未満の政党にも、合計得票率が60%に達するまで議席が配分される。②得票率7%以上の政党が1つしかなく、それが60%以上の得票率である場合には、得票率第2位の政党にも議席が配分される。

## 1-2 大統領選挙と大統領・議会関係

憲法は、国民の直接選挙によって大統領を選出することを定めているが、選出方法は連邦法で定めるとしているため、選挙のたびに法律が制定される。任期は1991年選挙の際には5年、その後は4年であったが、2008年末の憲法改正により2012年選挙から6年に延長される。選挙権を有するのは18歳以上の市民であり、被選挙権はロシア連邦に10年以上定住する35歳以上の市民に付与される。3選禁止。選挙形式は、2回投票制であり、第1回投票で選挙に参加した有権者の過半数の票を獲得した候補がいる場合には、その候補が当選となり、過半数を獲得した候補がいない場合、上位2名の候補による決選投票を実施する。

大統領は、国家元首であり、国家の内外政策の基本方向を定めるほか、国内及び国際関係において、ロシア連邦を代表する(憲法第80条)。その権限は主に外交及び軍事に関する面を中心とする(第86-88条)。議会との関係においては、大統領は下院の同意を得て首相を任命し、首相の提案に従い、政府の副首相、大臣を任免する。提案された首相候補者を下院が3度拒否した場合、大統領は首相を任命し、下院を解散し、新しい選挙を公示する(第111条)。また、下院は、議員総数の過半数によって、政府不信任を採択することができる。大統領はこれに対し、政府の総辞職を公示するか、下院の決定に同意しないことができる。下院が3か月以内に再び政府不信任を表明した場合には、大統領は政府の総辞職を公示するか、下院を解散する(第117条)。

大統領は法案発議権を有するほか、憲法及び連邦法に違反しない限り、大統領令及び命令を公布できる(第90条、第104条)。また、議会が採択した法案を大統領が拒否した場合(いわゆる拒否権)、議会はこれの再審議を行う。再審議において、法案が上院及び下院のそれぞれの議員総数の3分の2以上によって採択された場合には、7日以内に大統領が署名し、公布する(第107条)。

## 2 主要政党の概要

### 2-1 АПР (Аграрная партия России): ロシア農業党 (<http://www.agropart.ru/>)

ロシア農業同盟を中心に、いくつかの農業団体が結集して1993年2月に結成された。1993年選挙では37議席を獲得し、党幹部のリュプキン(Иван Петрович Рыбкин)が下院議長となった。1995年選挙では、ロシア農業党と「イワン・リュプキン・ブロック」(Блок Ивана Рыбкина)の2つから候補をたてるが、どちらも比例区では議席を獲得できなかった。ただし、ロシア連邦共産党と協調関係にあったため、共産党所属議員がロシア農業党会派に参加することで、会派形成に必要な35名は確保した。1999年選挙は、ロシア農業党としては候補を立てず、「祖国-全ロシア」やロシア連邦共産党から出馬した。党勢は徐々に衰退し、2003年選挙では小選挙区で2議席、2007年選挙では議席を完全に失った。コルホーズ指導部を中心とした支持基盤を持ち、農業部門の利益を代表してきたため、長らくロシア連邦共産党と共闘関係にあったが、2008年大統領選挙ではメドヴェージェフ(Дмитрий Анатольевич Медведев)を支持した。そして、2008年10月に「統一ロシア」に吸収され、ロシア農業党は解散した。

### 2-2 ДВР – ОД (Демократический выбор России – Объединенные демократы): ロシアの民主的選択-統一民主派(前身のВР(Выбор России): ロシアの選択を含む)

1993年当時エリツィン(Борис Николаевич Ельцин)大統領の側近であったガイダル(Егор Тимурович Гайдар)、ブルブリス(Геннадий Эдуардович Бурбулис)らが中心となって「ロシアの選択」を結成した。その他にも、チュバイス(Анатолий Борисович Чубайс)、コズイレフ(Андрей Владимирович Козырев)など、閣僚経験者を多く揃え、自由主義的で急進的な市場経済化を主張した。1993年下院選挙では、大統領支持政党として第1党となるのが期待されたが、比例区でロシア自由民主党に敗れて第2位となり、小選挙区で議席を集めかろうじて第1党となった(64議席(14.2%))。1994年に政党となり、名称を「ロシアの民主的選択」に変更した。しかし、翌年の下院選挙では、そこから離脱して他の政党・選挙連合から出馬する者が多かった。また、第1次チェチェン戦争をめぐってエリツィン大統領と対立した。そのため、1995年選挙では比例区で議席を得られずに大敗し、影響力を失った。その後、一部は右派勢力同盟に合流した。

### 2-3 ЕДИНАЯ РОССИЯ: 統一ロシア(前身の Межрегиональное движение “Единство” (“МЕДВЕДЬ”): 地域間運動「統一」(「メドヴェージ(熊)」)、ОВР(ОТЕЧЕСТВО - ВСЯ РОССИЯ): 祖国-全ロシアの説明を含む) (<http://www.edinros.ru/>)

1999年下院選挙前の時期には、議会における大統領の支持基盤である「我々の家 - ロシア」は影響力を失っていた上に、エリツィン大統領自身も健康問題を抱え、支持率が低迷していた。そのような状況で、ルシコフ(Юрий Михайлович Лужков)モスクワ市長ら連邦構成主体首長を中心に「祖国」が結成され、中道左派勢力の結集を目指した。「祖国」は、1999年5月に首相を解任されたプリマコフ(Евгений Максимович Примаков)が結成した「全ロシア」と合同して、「祖国-全ロシア」を結成した。「祖国-全ロシア」には、ロシア農業党からの参加者もい



た。クレムリンは、シヨイグ(Сергей Кужугетович Шойгу)非常事態相を党首として急きょ「統一」を組織し、これに対抗した。選挙では、両党はそれぞれ約70議席を獲得したが、会派形成過程で「統一」が勢力を拡張した。公式には関与していなかったが、「統一」の躍進は、第2次チェチェン戦争の指揮によって国民から強い支持を得たプーチン(Владимир Владимирович Путин)に依るところが大きいと言われている。このような情勢の中で、「統一」と「祖国-全ロシア」は協力関係を築くようになり、2001年12月に「統一と祖国-統一ロシア」を結党した(2003年12月に、現在の名称に変更)。また、2008年11月には、ロシア農業党を吸収し、勢力を一層拡大した。結党以来、議会で過半数を確保し、プーチン・メドヴェージェフ両政権を支えている。2003年下院選挙では、比例区での得票率は37.4%、獲得議席は223議席(49.6%)であったが、会派形成過程で無所属議員を取り込み、「統一ロシア」会派は306議席(68%)になった。完全比例代表制に移行した2007年選挙では、64.3%の得票率で、315議席(70%)を獲得した。そのため、憲法改正に必要な300議席を上回る圧倒的勢力を形成している。政策的には中道を唱え、基本的には大統領の政策に沿った主張をしている。2009年11月の党大会では、党のイデオロギーは「安定と発展」を重視する「ロシアの保守主義」であるとされた。

## 2-4

### КПРФ(Коммунистическая партия Российской Федерации):

ロシア連邦共産党 <<http://kprf.ru/>>

ソ連時代の1990年6月に結成されたロシア共和国共産党は、1991年8月に起きた保守派によるクーデター未遂事件以降活動停止となっていたが、1993年2月、その再建大会において、ロシア連邦共産党として新たに組織された。1993年下院選挙の42議席(9.3%)から、1995年選挙時には157議席(34.9%)にまで議席を伸ばし、第1党となった。この頃は、ロシア農業党との協力関係もあり、当選議員を農業党の会派に所属させることで、左派勢力として2つの会派を確保しており、下院議長にセレズニョフ(Геннадий Николаевич Селезнев)を送り込むことにも成功した。しかし、1999年選挙以降議席を減らしている。セレズニョフをはじめとして、離党して新党を立ち上げる者もあり、「統一ロシア」結成後は同党に大きく差を付けられた状態で、第2党に甘んじている。党首のジュガーノフ(Геннадий Андреевич Зюганов)は、1996年、2000年、2008年の3度の大統領選挙に出馬した。ソ連共産党、ロシア共和国共産党の後継政党であることを自認し、「刷新された社会主義の建設」を党の戦略的な目標としている。他方で、特に1990年代においては、愛国主義的な主張を掲げることで人気を得ていた側面もある。

## 2-5

### ЛДПР(Либерально-демократическая партия России): ロシア自由民主党

<<http://www.ldpr.ru/>>

ソ連時代の1990年に創設されたソ連自由民主党を源流とする(政党登録は1991年)。ロシア自由民主党としては1992年に政党登録された。党首ジリノフスキー(Владимир Вольфович Жириновский)の過激な言動で知られ、そのカリスマ性によって支持を得た。特に1993年選挙では、比例区での得票率が22.9%に達し、他の政党を押さえて第1位となった(合計では64議席で「ロシアの選択」に次ぐ第2党)。1995年選挙では51議席、1999年選挙(ジリノフスキー・ブロックとして参加)では17議席と衰退傾向にあったが、2003年選挙では36議席(得票率11.5%)、2007年選挙では40議席(同8.1%)を獲得している。ジリノフスキーは2004年を除くすべての大統領選挙に出馬している。過激で民族主義的な主張をする極右政党として知られ

ているが、議会内では大統領・政府の政策を支持することが多い。

## 2-6 НДР(Наш Дом – Россия): 我々の家—ロシア

1995年下院選挙前に、チェルノムイルジン (Виктор Степанович Черномырдин) 首相を党首として組織された。「ロシアの民主的選択」、ロシアの統一と合意党、ロシア民主党 (ДПР (Демократическая партия России)) から参加する者もあり、中道右派政党として、エリツィン大統領を支持する「権力党」の役割を期待された(この選挙では、下院議長を務めていたリュプキンを中心に、中道左派勢力として「イワン・リュプキン・ブロック」も形成され、二大政党制の誕生が目指された)。また、1993年選挙での「ロシアの選択」の失敗を受け、より穏健なイデオロギー色の弱い政党が志向された。しかし、比例区での得票率が10.1% (45議席)にとどまり、小選挙区と合わせても55議席しか獲得できず、第1党のロシア連邦共産党と100議席以上差を付けられた。その後、1998年のチェルノムイルジン首相退陣により、党の影響力は一層低下し、1999年選挙では比例区で議席を失い、小選挙区で得た7議席のみとなったため、「統一ロシア」に吸収されていった。

## 2-7 ПАТРИОТЫ РОССИИ: ロシアの愛国者

〈<http://www.patriot-rus.ru/>〉

ロシア連邦共産党内部の権力闘争に敗れ、同党を除名になったセミギン (Геннадий Юрьевич Семигин) が、2004年10月に結成した(創設大会、政党登録は2005年)。セレズニョフ元下院議長が率いるロシア復興党 (Партия Возрождения России) とともに2007年下院選挙に出るが、得票率0.9%で議席は獲得できなかった。2008年11月には、ロシア平和統一党 (ПМЕ (Российская политическая партия Мира и Единства)) との連合を発表した。

## 2-8 ПРАВОЕ ДЕЛО: 右派活動

〈<http://pravoedelo.ru/>〉

2008年11月に、右派勢力同盟、「市民勢力」(Гражданская Сила)、ロシア民主党の3党の合同により成立し、2009年3月に政党登録が認可された。人権や市民的自由のような民主主義価値の尊重や、自由競争の下での市場の発展を掲げ、自らを「中流階級の政党」と称する。他方で、右派勢力同盟の元党首であったネムツォフ (Борис Ефимович Немцов) が、右派活動はクレムリンに接近しすぎているとして、党の創設を批判するなど、その活動の「官製野党」化を懸念する声もある。

## 2-9 ПРЕС(Партия Российского Единства и Согласия): ロシアの統一と合意党

エリツィン政権で副首相を務めていたシャフライ (Сергей Михайлович Шахрай) とシヨヒン (Александр Николаевич Шохин) が中心となって創設し、1993年下院選挙に参加した。「ロシアの選択」と同じく、多くの閣僚経験者を揃えており、エリツィン大統領を支持する立場を

とっていたが、「ロシアの選択」より穏健な改革路線を志向した。また、天然ガス独占企業ガスピロムなどから資金提供を受けていた。1993年選挙では、比例区で18議席(6.7%)、小選挙区で3議席を確保した。1995年選挙では、同じく穏健な改革路線を唱える「我々の家 - ロシア」が創設されたこともあり、得票率は大幅に減少し(0.4%)、小選挙区で1議席を得たのみであった。そのため、これ以降影響力を失った。また、選挙前に離脱して、「我々の家 - ロシア」から出馬する者もいた。

2-10

**ЯБЛОКО (Российская объединенная демократическая партия «ЯБЛОКО»):**  
**ロシア統一民主党「ヤブロコ」** 〈<http://www.yabloko.ru/>〉

1993年選挙の際に、ヤプリンスキー(Григорий Алексеевич Явлинский)、ボルドイレフ(Юрий Юрьевич Болдырев)、ルキン(Владимир Петрович Лукин)という3名が中心となって創設し、ロシア連邦共和党(РПРФ(Республиканская партия Российской Федерации))、ロシア社会民主党(Социал-демократическая партия России)、ロシアキリスト教民主同盟(Российский Христианско-демократический союз)が加わった。創設者3名の頭文字をとり、ロシア語で「リンゴ」を意味するヤブロコが政党名となった(ただし、ボルドイレフは結成直後に離脱)。一貫して政権に批判的な立場をとり、市民的自由や西欧的民主主義を掲げるリベラル派政党である。また、チェチェン戦争に関しても、政権を批判し続けた。長らく党首を務めていたヤプリンスキーは、1996年、2000年の2度、大統領選挙に出馬した。1993年下院選挙では27議席(「ブロック: ヤプリンスキー・ボルドイレフ・ルキン」という名称で参加)、1995年選挙では45議席、1999年選挙では20議席を獲得。2003年選挙は比例区で議席を獲得できず、小選挙区で当選した4議席にとどまり、さらに2007年選挙では1.59%の得票率で議席を完全に失った。この選挙の前には、同じくリベラル派政党である右派勢力同盟との連合形成交渉も行われたが、両党の溝は埋まらず失敗に終わった。

2-11

**СПРАВЕДЛИВАЯ РОССИЯ: 公正ロシア(前身のРодина: 祖国(ロージナ)の説明を含む)**  
〈<http://www.spravedlivo.ru/>〉

1998年に創設(2002年に政党登録)したロシア地域党(Партия Российских регионов)、民族復興党「人民の意志」(Партия Национального Возрождения «Народная Воля»)、ロシア社会主義統一党(Социалистическая единая партия России)の3党が、2003年下院選挙前に「祖国(ロージナ)」という選挙連合を設立し、比例区で9.0%を得票し、小選挙区と合計して29議席を確保した。ロシア地域党は、2004年2月に「祖国(ロージナ)」へと党名を変更し、2004年大統領選挙に際しては、プーチン大統領の再選を支持した。2006年10月の統一地方選挙での、ロシア生活党(РПЖ(Российская партия жизни))の躍進を受けて、同党、「祖国(ロージナ)」、ロシア年金生活者党(РПП(Российская партия пенсионеров))は、中道左派政党として「公正ロシア: 祖国(ロージナ)/年金生活者/生活」を結成した(後に「公正ロシア」へと党名を変更)。2007年にはロシア連邦人民党(НПРФ(НАРОДНАЯ ПАРТИЯ Российской Федерации))など4党がさらに加入した。ロシア生活党の党首であったミロノフ(Сергей Михайлович Миронов)上院議長が党首を務める。2007年下院選挙では38議席(7.7%)を獲得し、第4党となった。政権を左派的立場から批判するが、クレムリンの影響下にある「官製野党」とも言われ、2008年大統領選挙では、「統一ロシア」等とともにメドヴェージェフを支持した。

〈<http://www.sps.ru/>〉

「ロシアの民主的選択」を源流とし、そこにイリーナ・ハカマダ(Ирина Муцуовна Хакамада)率いる「共同事業」(Общее дело)、ネムツォフ(Борис Ефимович Немцов)率いる「若きロシア」(Россия молодая)、経済自由党(ПЭС(Партия экономической свободы))などリベラル・民主派勢力が結集して1999年に成立した。1999年選挙に参加したのち、2001年に政党登録された。1999年選挙では、29議席を獲得し、ロシア連邦共産党、「統一」、「祖国－全ロシア」に次ぐ第4党となった。しかし、プーチン政権と対立する一方で、「ヤブロコ」等他のリベラル勢力との連合は成功せず、国民の支持を徐々に失い、党勢も衰えた。2003年選挙では比例区で議席を奪えずわずか3議席にとどまり、2007年選挙では完全に議席を失った。そのため、2008年11月に解党し、「市民勢力」、ロシア民主党とともに新党「右派活動」を立ち上げた。

### 3 歴代大統領

1991年7月10日～1999年12月31日(任期途中で辞任)

- ボリス・ニコラエヴィチ・エリツィン(Борис Николаевич Ельцин)

(1996年7月5日～7月6日までは、エリツィンの心臓手術のため、ヴィクトル・ステパノヴィチ・チェルノムイルジン(Виктор Степанович Черномырдин)が大統領代行)

1999年12月31日～2008年5月7日

(1999年12月31日～2000年5月7日までは大統領代行)

- ウラジミル・ウラジミロヴィチ・プーチン(Владимир Владимирович Путин)

2008年5月7日～

- ドミトリー・アナトリエヴィチ・メドヴェージェフ(Дмитрий Анатольевич Медведев)

### 4 1992年12月以降の歴代内閣

1992年12月14日～1998年3月23日

- ヴィクトル・ステパノヴィチ・チェルノムイルジン(Виктор Степанович Черномырдин)内閣

1998年3月23日～1998年8月23日

- セルゲイ・ウラジレノヴィチ・キリエンコ(Сергей Владиленович Кириенко)内閣

1998年8月23日～1998年9月11日

- ヴィクトル・チェルノムイルジン首相代行

1998年9月11日～1999年5月12日

- エヴゲニー・マクシモヴィチ・プリマコフ(Евгений Максимович Примаков)内閣

1999年5月12日～1999年8月9日

- セルゲイ・ワディモヴィチ・ステパシン(Сергей Вадимович Степашин)内閣

1999年8月9日～2000年5月7日

- ウラジミール・ウラジミロヴィチ・プーチン(Владимир Владимирович Путин)内閣

2000年5月7日～2004年2月24日

- ミハイル・ミハイロヴィチ・カシヤノフ(Михаил Михайлович Касьянов)内閣

2004年2月24日～2004年3月5日

- ヴィクトル・ポリソヴィチ・フリステンコ(Виктор Борисович Христенко)首相代行

2004年3月5日～2007年9月14日

- ミハイル・エフィモヴィチ・フラトコフ(Михаил Ефимович Фрадков)内閣

2007年9月14日～2008年5月8日

- ヴィクトル・アレクセエヴィチ・ズブコフ(Виктор Алексеевич Зубков)内閣

2008年5月8日～

- 第二次ウラジミール・プーチン内閣

## 5 資料

### ロシア下院 (国家会議) 選挙結果

**1993**年選挙  
(12月11日)

登録有権者	106,170,835
投票用紙配布数	58,187,755
投票率	54.81
投票数	
有効投票数	53,751,696

政党 (選挙連合)	比例区			小選挙区	合計
	得票数	得票率	議席	議席	
LDPR	12,318,562	22.92	59	5	64
VR	8,339,345	15.51	40	25	65
KPRF	6,666,402	12.40	32	10	42
Женщины России	4,369,918	8.13	21	2	23
AGR	4,292,518	7.99	21	16	37
Блок: Явлинский - Болдырев - Лукин	4,223,219	7.86	20	7	27
PRRS	3,620,035	6.73	18	3	21
DRP	2,969,533	5.52	14	1	15
RDR	2,191,505	4.08	0	5	5
Гражданский союз	1,038,193	1.93	0	5	5
Будущее России - Новые Имена	672,283	1.25	0	1	1
Кедр	406,789	0.76	0	0	0
Достоинство и милосердие	375,431	0.70	0	3	3
無所属				136	136
選挙不成立				6	6
すべての名簿に反対	2,267,963	4.22			
合計	53,751,696		225	225	450

会派	議席数	議席率
Фракция VR	71	15.8
“Новая региональная политика”	64	14.2
Фракция LDPR	60	13.3
Фракция AGR	54	12.0
Фракция KPRF	46	10.2
Фракция PRRS	33	7.3
Фракция “ЯБЛОКО”	27	6.0
Фракция “Женщины России”	22	4.9
“Либерально-демократический союз 12 декабря”	22	4.9
Фракция DRP	15	3.3
その他未登録会派・無所属	36	8.0
合計	450	



**1995** 年選挙  
(12月17日)

登録有権者	107,496,558
投票用紙配布数	69,614,839
投票率	64.76
投票数	69,204,819
有効投票数	67,884,200

政党 (選挙連合)	比例区			小選挙区	合計
	得票数	得票率	議席	議席	
КПРФ	15,432,963	22.30	99	58	157
ЛДПР	7,737,431	11.18	50	1	51
НДР	7,009,291	10.13	45	10	55
ЯБЛОКО	4,767,384	6.89	31	14	45
Женщины России	3,188,813	4.61	0	3	3
Коммунисты -- Трудовая Россия -- За Советский Союз	3,137,406	4.53	0	1	1
КРО	2,980,137	4.31	0	5	5
ПСТ	2,756,954	3.98	0	1	1
ДВР - ОД	2,674,084	3.86	0	9	9
АПР	2,613,127	3.78	0	20	20
Социал-патриотическое движение "Держава"	1,781,233	2.57	0	0	0
Впред, Россия!	1,343,428	1.94	0	3	3
Власть -- народу!	1,112,873	1.61	0	9	9
Памфилова--Гуров--Владимир Лысенко	1,106,812	1.60	0	2	2
Профсоюзы и промышленники России -- Союз Труда	1,076,072	1.55	0	1	1
Кедр	962,195	1.39	0	0	0
Блок Ивана Рыбкина	769,259	1.11	0	3	3
БЛОК СТАНИСЛАВА ГОВОРУХИНА	688,496	0.99	0	1	1
Мое Отечество	496,276	0.72	0	1	1
Общее дело	472,615	0.68	0	1	1
Партия любителей пива	428,727	0.62	0	0	0
Общероссийское мусульманское общественное движение "Нур" ("Свет")	393,513	0.57	0	0	0
Преображение Отечества	339,654	0.49	0	1	1
Национально - республиканская партия России (НРПР)	331,700	0.48	0	0	0
Предвыборный блок, включающий руководителей Партии защиты пенсионеров и ветеранов, Партии искоренения преступности -- законности и порядка, Партии защиты молодежи, Объединения свободных профсоюзов, Партии справедливости, Партии охраны природы	323,232	0.47	0	0	0
ПРЕС	245,977	0.36	0	1	1
Ассоциация адвокатов России	242,966	0.35	0	0	0
За Родину!	194,254	0.28	0	0	0
Политическая партия Христианско-Демократический Союз -- Христиане России	191,446	0.28	0	0	0
Предвыборный блок, включающий руководителей Партии защиты детей (Мира, Добра и Счастья), Партии "Русские женщины", Партии православных (Веры, Надежды, Любви), Народной христианско-монархической партии, Партии за Союз славянских народов, Партии сельских тружеников "Земля-матушка", Партии пострадавших от властей и обездоленных	145,704	0.21	0	0	0
Партия "Народный Союз"	130,728	0.19	0	0	0
Тихонов--Туполев--Тихонов	102,039	0.15	0	0	0
Союз работников жилищно-коммунального хозяйства России	97,274	0.14	0	0	0
Социал-демократы	88,642	0.13	0	0	0
ПЭС	88,416	0.13	0	1	1
Российское общенародное движение	86,422	0.12	0	0	0
Блок независимых	83,742	0.12	0	1	1
Федерально - демократическое движение	82,948	0.12	0	0	0
Общественно-политическое движение "Стабильная Россия"	81,285	0.12	0	0	0
Общественно-политическое движение "Дума-96"	55,897	0.08	0	0	0
ПОКОЛЕНИЯ РУБЕЖА	44,202	0.06	0	0	0



政党（選挙連合）	比例区			小選挙区	合計
	得票数	得票率	議席	議席	
89	40,840	0.06	0	1	1
Международный союз	39,592	0.06	0	0	0
無所属				77	77
すべての連邦候補者名簿に反対	1,918,151	2.77			
無効票	1,320,619	1.91			
合計	6,9204,819		225	225	450

会派	議席数	議席率
Фракция КПРФ	146	32.4
Фракция НДР	66	14.7
Фракция ЛДПР	51	11.3
Фракция “ЯБЛОКО”	46	10.2
Депутатская группа “Российские регионы”	43	9.6
Депутатская группа “Народовластие”	38	8.4
Аграрная депутатская группа	36	8.0
無所属	24	5.3
合計	450	

**1999**年選挙  
(12月19日)

登録有権者	108,073,956
投票用紙配布数	66,840,638
投票率	61.85
投票数	66,667,682
有効投票数	65,370,690

政党（選挙連合）	比例区			小選挙区	合計
	得票数	得票率	議席	議席	
КПРФ	16,196,024	24.29	67	46	113
Единство	15,549,182	23.32	64	9	73
ОВР	8,886,753	13.33	37	31	68
СПС	5,677,247	8.52	24	5	29
БЛОК ЖИРИНОВСКОГО	3,990,038	5.98	17	0	17
ЯБЛОКО	3,955,611	5.93	16	4	20
Коммунисты, трудящиеся России	1,481,890	2.22	0	0	0
Женщины России	1,359,042	2.04	0	0	0
ПП	1,298,971	1.95	0	1	1
НДР	790,983	1.19	0	7	7
Российская партия защиты женщин	536,022	0.80	0	0	0
КРО и Движение Юрия Болдырева	405,298	0.61	0	1	1
Сталинский блок - за СССР	404,274	0.61	0	0	0
За гражданское достоинство	402,754	0.60	0	0	0
В поддержку армии	384,404	0.58	0	2	2
Мир. Труд. Май	383,332	0.57	0	0	0
Блок генерала Андрея Николаева, академика Святослава Федорова	371,938	0.56	0	1	1
ПМЕ	247,041	0.37	0	0	0
РОС	245,266	0.37	0	2	2
РСРП	156,709	0.24	0	1	1
Русское Дело	111,802	0.17	0	0	0
Консервативное движение России	87,658	0.13	0	0	0
Всероссийская политическая партия народа	69,695	0.10	0	0	0
Духовное наследие	67,417	0.10	0	1	1
Социалистическая партия России	61,689	0.09	0	0	0
Социал-демократы	50,948	0.08	0	0	0
無所属				114	114
すべての連邦候補者名簿に反対	2,198,702	3.30			
無効票	1,296,992	1.95			
合計	6,6667,682		225	225	450

会派	議席数	議席率
Фракция КПРФ	87	19.33
Фракция "Единство"	84	18.67
Депутатская группа "Народный депутат"	62	13.78
Фракция ОВР	44	9.78
Депутатская группа "Регионы России" (Союз независимых депутатов)	44	9.78
Агропромышленная депутатская группа	42	9.33
Фракция СПС	32	7.11
Фракция "ЯБЛОКО"	19	4.22
Фракция ЛДПР	16	3.56
無所属	15	3.33
不明	5	
合計	450	

**2003**年選挙  
(12月7日)

登録有権者数	108,906,244
投票用紙配布数	60,712,299
投票率	55.75
投票数	60,633,179
有効投票数	59,684,742

政党 (選挙連合)	比例区			小選挙区	合計
	得票数	得票率	議席	議席	
ЕДИНАЯ РОССИЯ	22,776,294	37.56	120	103	223
КПРФ	7,647,820	12.61	40	12	52
ЛДПР	6,944,322	11.45	36	0	36
Родина	5,470,429	9.02	29	8	37
ЯБЛОКО	2,610,087	4.30	0	4	4
СПС	2,408,535	3.97	0	3	3
АПР	2,205,850	3.64	0	2	2
РПП и ПСС	1,874,973	3.09	0	0	0
ПВР - РПЖ	1,140,413	1.88	0	3	3
НПРФ	714,705	1.18	0	17	17
ЕДИНЕНИЕ	710,721	1.17	0	0	0
Новый курс- Автомобильная Россия	509,302	0.84	0	1	1
За Русь Святую	298,826	0.49	0	0	0
Зеленые	253,985	0.42	0	0	0
Развитие предпринимательства	212,827	0.35	0	1	1
Великая Россия - Евразийский Союз	170,796	0.28	0	1	1
Истинные патриоты России	149,151	0.25	0	0	0
ПМЕ	148,954	0.25	0	0	0
Объединенная Российская партия "Русь"	147,441	0.24	0	0	0
ДПР	136,295	0.22	0	0	0
Российская Конституционно-демократическая партия	113,190	0.19	0	0	0
СЛОН	107,448	0.18	0	0	0
Народно-республиканская партия России	80,420	0.13	0	0	0
無所属				67	67
選挙不成立				3	3
すべての連邦候補者名簿に反対	2,851,958	4.70			
無効票	948,435	1.56			
合計	60,633,177		225	225	450

会派	議席数	議席率
Фракция "Единая Россия"	306	68.00
Фракция КПРФ	52	11.56
Фракция "Родина"	38	8.44
Фракция ЛДПР	36	8.00
無所属	15	3.33
不明	3	
合計	450	

**2007**年選挙  
(12月2日)

登録有権者数	109,145,517
投票用紙配布数	69,609,446
投票率	63.78
投票数	69,537,065
有効投票数	68,777,136

政党 (選挙連合)	比例区		
	得票数	得票率	議席
ЕДИНАЯ РОССИЯ	44,714,241	64.30	315
КПРФ	8,046,886	11.57	57
ЛДПР	5,660,823	8.14	40
Справедливая Россия	5,383,639	7.74	38
АПР	1,600,234	2.30	0
ЯБЛОКО	1,108,985	1.59	0
Гражданская Сила	733,604	1.05	0
СПС	669,444	0.96	0
ПАТРИОТЫ РОССИИ	615,417	0.89	0
ПСС	154,083	0.22	0
ДПР	89,780	0.13	0
無効票	759,929	1.09	
合計	69,537,065		450

会派	議席数	議席率
Фракция "Единая Россия"	315	70.00
Фракция КПРФ	57	12.67
Фракция ЛДПР	40	8.89
Фракция "Справедливая Россия"	38	8.44
合計	450	

## ロシア大統領選挙結果

**1991**年選挙

●第1回投票(7月12日)

登録有権者数	106,484,518
投票用紙配布数	
投票数	79,498,240
投票率	74.66
有効投票数	

候補者名	賛成票	賛成票率	反対票	反対票率	備考
Ельцин, Борис Николаевич	45,552,041	57.30	32,229,442	40.54	
Рыжков, Николай Иванович	13,395,335	16.85	64,386,148	80.99	
Жириновский, Владимир Вольфович	6,211,007	7.81	71,570,476	90.03	
Тулеев, Аман-Гельды Молдагазыевич	5,417,464	6.81	72,364,019	91.03	
Макашов, Альберт Михайлович	2,969,511	3.74	74,811,972	94.10	
Бакатин, Вадим Викторвич	2,719,757	3.42	75,061,726	94.42	
すべての候補者を削除	1,525,410	1.92			
無効票	1,716,757	2.16			
合計					

☆第1回投票でЕльцинが過半数の得票を獲得したため、当選が確定

## 1996年選挙

### ●第1回投票(6月16日)

登録有権者数	108,495,023
投票用紙配布数	
投票数	75,587,139
投票率	69.67
有効投票数	74,515,019

候補者名	得票数	得票率	備考
Ельцин, Борис Николаевич	26,665,495	35.28	
Зюганов, Геннадий Андреевич	24,211,686	32.03	
Лебедь, Александр Иванович	10,974,736	14.52	
Явлинский, Григорий Алексеевич	5,550,752	7.34	
Жириновский, Владимир Вольфович	4,311,479	5.70	
Федоров, Святослав Николаевич	699,158	0.92	
Горбачев, Михаил Сергеевич	386,069	0.51	
Шаккум, Мартин Люцианович	277,068	0.37	
Власов, Юрий Петрович	151,282	0.20	
Брынцалов, Владимир Алексеевич	123,065	0.16	
Тулеев, Аман-Гельды Молдагазыевич	308	0.00	立候補を取り下げたが、期日前投票で投じられ、地区選挙委員会が確定した票数
すべての候補者に反対	1,163,921	1.54	
無効票	1,072,120	1.42	
合計	75,587,139		

### ●第2回投票(7月3日)

登録有権者数	
投票用紙配布数	
投票数	74,706,645
投票率	
有効投票数	73,926,240

候補者名	得票数	得票率
Ельцин, Борис Николаевич	40,208,384	53.82
Зюганов, Геннадий Андреевич	30,113,306	40.31
すべての候補者に反対	3,604,550	4.82
無効票	780,405	1.04
合計	74,706,645	

## 2000年選挙

### ●第1回投票(3月26日)

登録有権者数	109,372,046
投票用紙配布数	75,181,071
投票率	68.74
投票数	75,070,776
有効投票数	74,369,773

候補者名	得票数	得票率	備考
Путин, Владимир Владимирович	39,740,434	52.94	
Зюганов, Геннадий Андреевич	21,928,471	29.21	
Явлинский, Григорий Алексеевич	4,351,452	5.80	
Тулеев, Аман-Гельды Молдагазыевич	2,217,361	2.95	
Жириновский, Владимир Вольфович	2,026,513	2.70	
Титов, Константин Алексеевич	1,107,269	1.47	
Памфилова, Элла Александровна	758,966	1.01	
Говорухин, Станислав Сергеевич	328,723	0.44	
Скуратов, Юрий Ильич	319,263	0.43	
Подберезкин, Алексей Иванович	98,175	0.13	
Джабраилов, Умар Алиевич	78,498	0.10	
すべての候補者に反対	1,414,648	1.88	
無効票	701,003	0.93	
合計	75,070,776		

☆第1回投票でプーチンが過半数の得票を獲得したため、当選が確定

**2004**年選挙

## ●第1回投票(3月14日)

登録有権者数	108,064,281
投票用紙配布数	69,581,761
投票率	64.39
投票数	69,504,609
有効投票数	68,925,785

候補者名	得票数	得票率	備考
プーチン, Владимир Владимирович	49,565,238	71.31	
Харитонов, Николай Михайлович	9,513,313	13.69	КПРФ
Глазьев, Сергей Юрьевич	2,850,063	4.10	
Хакамада, Ирина Муцуовна	2,671,313	3.84	
Малышкин, Олег Александрович	1,405,315	2.02	ЛДПР
Миронов, Сергей Михайлович	524,324	0.75	РПЖ
すべての候補者に反対	2,396,219	3.45	
無効票	578,824	0.83	
合計	6,9504,609		

☆第1回投票でプーチンが過半数の得票を獲得したため、当選が確定

**2008**年選挙

## ●第1回投票(3月2日)

登録有権者数	107222016
投票用紙配布数	74849264
投票率	69.81
投票数	74746649
有効投票数	73731116

候補者名	得票数	得票率	備考
Медведев, Дмитрий Анатольевич	52,530,712	70.28	ЕДИНАЯ РОССИЯ
Зюганов, Геннадий Андреевич	13,243,550	17.72	КПРФ
Жириновский, Владимир Вольфович	6,988,510	9.35	ЛДПР
Богданов, Андрей Владимирович	968,344	1.30	
無効票	1,015,533	1.36	
合計	74,746,649		

☆第1回投票でプーチンが過半数の得票を獲得したため、当選が確定

## データの出典

### 選挙結果

- 1993年 Бюллетень Центральной избирательной комиссии Российской Федерации. №1(12) 1994. С.67.  
Пятая Российская Государственная Дума. М. 1994. С.133-154, 176-197.
- 1995年 Бюллетень Центральной избирательной комиссии Российской Федерации. №1 1996. С.48-51.  
Государственная Дума Федерального Собрания Российской Федерации второго созыва.  
Издание Государственной Думы. М. 1996. С.9-14, 213-241.
- 1999年 Вестник Центральной избирательной комиссии №23(89) 1999. С.96-106; №14(104) 2000.  
С.11-14.  
Государственная Дума Федерального Собрания Российской Федерации третьего созыва.  
Издание Государственной Думы. М. 2000. С.50-52, 241-274.
- 2003年 Вестник Центральной избирательной комиссии №5(167) 2004. С.15-20; №8(187) С.215-219.  
<http://gd2003.cikrf.ru/>  
<http://www.vybory.izbirkom.ru/region/izbirkom?action=show&global=1&vm=100100095619&region=0&prver=0&pronetvd=0>  
<http://wbase.duma.gov.ru:8080/law?d&nd=981601069&mark=c>
- 2007年 [http://www.cikrf.ru/elect\\_duma/npa/index.jsp](http://www.cikrf.ru/elect_duma/npa/index.jsp)  
[http://www.vybory.izbirkom.ru/region/region/izbirkom?action=show&root=1&tvd=100100021960186&vm=100100021960181&region=0&global=1&sub\\_region=0&prver=0&pronetvd=null&vibid=100100021960186&type=242](http://www.vybory.izbirkom.ru/region/region/izbirkom?action=show&root=1&tvd=100100021960186&vm=100100021960181&region=0&global=1&sub_region=0&prver=0&pronetvd=null&vibid=100100021960186&type=242)

### 大統領選挙

- 1991年 Советская Россия, 20 июня 1991. С.1.
- 1996年 Вестник Центральной избирательной комиссии Российской Федерации. №15(35) 1996. С.40-41.  
Вестник Центральной избирательной комиссии Российской Федерации. №17(37) 1996. С.8-9.
- 2000年 Вестник Центральной избирательной комиссии №13(103) 2000. С.63-67.
- 2004年 Вестник Центральной избирательной комиссии №7(169) 2004. С.111-113.  
<http://pr2004.cikrf.ru/>
- 2008年 [http://www.cikrf.ru/elect\\_president/npa/index.jsp](http://www.cikrf.ru/elect_president/npa/index.jsp)

### 政党概要

Государственная Дума России : энциклопедия в 2-х томах : 1906-2006 / [редакционная коллегия, В.В. Шелохаев (отв. редактор) ...*et al.*], М. 2006.

Кто есть что : политическая Москва / [Гельбрас В.Г. составитель, научный редактор ; авторский коллектив Гельбрас В.Г. ... и др.], М. 1993.

CIAS Discussion Paper No.18

**ポスト社会主義諸国 政党・選挙ハンドブックⅢ**

発行 2010年12月

編集 ポスト社会主義諸国の政党・選挙データベース作成研究会

発行者 京都大学地域研究統合情報センター  
京都市左京区吉田下阿達町46 〒606-8501  
電話: 075-753-9603  
FAX: 075-753-9602  
E-mail: [ciasjimu@cias.kyoto-u.ac.jp](mailto:ciasjimu@cias.kyoto-u.ac.jp)  
<http://www.cias.kyoto-u.ac.jp>